

構 造 特 記 仕 様 書2023年度版

§1 一般事項

選択項目は◎印を適用し、◎印が無い場合は＊印を適用する。
○印が複数有る場合は、共に適用する。

1-1使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。

1-2設計図書の優先順位は下記による。

1)本特記仕様書

2)設計図

3)標準図

◎鉄筋コンクリート構造配筋標準図

●鉄骨工作標準図

●鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図

◎高強度せん断補強筋施工仕様書

◎鉄筋コンクリート壁式標準配筋図

4)仕様書(◎公共建築協会＊日本建築協会)

5)日本建築学会標準仕様書、JASS5、JASS6

1-3各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承認を得る。

1-4構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。

第三者機関による検査・試験費用は工事に(＊含む＊含まない)

1-5設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承認を得る。

1-6梁貫通位置、径、及び箇所数は(＊意匠図◎構造図◎設備図)による。

1-7その他

§2 構造計算ルート

2-1

方 向

構造計算ルート

X

●ルート1●ルート2◎ルート3●

Y

●ルート1●ルート2◎ルート3●

2-2鉄筋の継手

構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ

＊建築基準法施行令第73条(政令第73条第2項)による仕様規定

●日本建築学会JASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説

●日本建築学会RC標準2018

X・Y同方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、政令第73条の仕様規定によらずJASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC標準2018とすることができる。

§3 仮設工事、土工事

3-1山留め、根切り

3-2埋戻し土、盛土、残土処分

埋戻し土＊根切り土の中の良土●搬入良土

盛土＊根切り土の中の良土●搬入良土

残土処分●場内地均し＊場外搬出処分(＊自由◎指定場所)

§4 地業工事※図示による

4-1基礎及びスラブ下地業(単位mm)

場 所

※(1)捨てコンクリート厚さ

A：砕石

B：割栗石

厚 さ

基 礎

独立、布

＊50＊60＊100

＊A＊B

＊60＊100＊150＊

ベ タ

＊50＊60＊100

＊A＊B

＊60＊100＊150＊

地 中 梁

＊50＊60＊100

＊A＊B

＊60＊100＊150＊

構造スラブ

＊50＊60＊100

＊A＊B

＊60＊100＊150＊

土間スラブ

屋内

＊50＊60＊100

＊A＊B

＊60＊100＊150＊

屋 外

＊50＊60＊100

＊A＊B

＊60＊100＊150＊

注(1)アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。

(2)端部aは100以上とする。



4-2設計地耐力

長期kN/㎡短期kN/㎡終局kN/㎡

地耐力載荷試験●行う(箇所、長期設計耐力の3倍を確認する)＊行わない

4-3地盤改良

●無筋コンクリート地業●締固め工法●ソイルセメント杭

●セメント系固化材投拌●圧密排水工法●テノコラム工法(技審証第2001号)

[●載荷試験●一軸圧縮試験]●行う(箇所)＊行わない

[●六面クロム溶出試験]●行う＊行わない

4-4既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭

1)杭種

●鋼管杭●●●●

2)工法

●打撃工法●油圧ハンマー●ディーゼルハンマー

●埋込み工法●プレボーリングセメントミルク注入工法

●プレボーリング拡大根固め工法(認定工法)

杭周固定液＊あり＊なし

●中掘拡大根固め工法(認定工法)

●回転埋設根固め工法(認定工法)

3)杭径、設計耐力、本数表

杭 径 (括底部)mm	長期 kN	短期 kN	終局 kN	本数	備 考
()					
()					
()					
()					

4)杭の構成は設計図による。

5)杭頭補強

●かご筋●スタッド溶接●杭外周溶接

4-5場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭

1)工法

●アースドリル工法●拡底アースドリル工法

●リバース工法◎オールケーシング工法(●ベノト工法◎全周回転式)

●BH工法●

2)杭径、設計耐力、本数表(括底部は施工径を示す)※図示による

杭 径 (括底部)mm	管厚 mm	長期 kN	短期 kN	終局 kN	本数	備 考
()						
()						
()						
()						
()						

3)杭先端深さGL-11.75～14.35m

4)孔壁測定(2方向)

＊行う(●全数●%)◎行わない

5)使用材料コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。

コンクリートFc24(●普通ポルトランドセメント：JIS R5210◎高炉セメントB種：JIS R5211)※高炉セメントB種の水セメント比は混合物の10分の3を除いた部分をその質量として用いるものとする。

鉄筋◎D16以下SD295◎D19以上D25以下SD345

◎D29以上SD390

鋼管(リブ付)●SKK400◎SKK490

4-6杭打地業共通事項

1)[◎杭長決定用先行杭●試験掘]◎行う(本)●行わない

2)載荷試験●行う(箇所、長期設計耐力の3倍を確認する)＊行わない

3)SL塗布●行う＊行わない

§5 鉄筋工事

5-1材種

種 類	径	継 手
◎SD295	D16以下	＊重ね継手＊スパイラル＊工場溶接
◎SD345	D19以上	●重ね継手＊溶接継手＊機械継手(級)
◎SD390	D29以上	＊溶接継手＊機械継手(級)
●SD490	D以上	＊溶接継手＊機械継手(級)
◎溶接金剛		◎重ね継手
◎高強度せん断補強筋	●12.75級P●7.85級K SS785(国土交通大臣認定品)●6.85級UDUR	●重ね継手＊スパイラル◎工場溶接

溶接継手＊ガス圧接＊突き合せ溶接(D16以下は重ねアーク溶接でも可)

溶接部の検査(第三者機関による)

●抜取り検査

●引張り試験(JIS S3120)

1検査ロットにつき＊3本●原則柱・梁の径毎に3本

◎超音波探傷試験(JIS Z3062)●熱間押抜き試験

1検査ロットにつき●箇所●

○不合格となった溶接部は切り取って再溶接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。

1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した溶接面数の数量で200箇所以内

5-3梁貫通補強

補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。

5-4その他

基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として◎①一般●②地反力を受けるとする。

鉄筋の組立は適切な位置にスプレーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。

コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。

コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§6 コンクリート工事

6-1設計基準強度(N/mm²)

1)セメント

＊普通ポルトランドセメントJIS R5210●高炉セメントB種JIS R5211

●低熱ポルトランドセメントJIS R5210●

2)粗骨材◎砂利◎砕石●高炉スラグ骨材●人工軽量骨材●再生骨材

最大径(mm)＊20＊25●40

3)躯体

◎普通コンクリート

●Fc18●Fc21◎Fc24◎Fc27◎Fc30◎Fc33◎Fc36

●軽量コンクリート(＊1種＊2種気乾単位容積質量＊18.5●)

●Lfc18●Lfc21●Lfc24●Lfc27●Lfc30●Lfc

4)土間コンクリート◎Fc21(ただし柱、壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする)

5)捨てコンクリート◎Fc18

6)防水押さえコンクリート●Fc●Lfc(気乾単位容積質量＊18.5●)

7)かさ上げコンクリート●Fc●Lfc(気乾単位容積質量＊18.5●)

6-2混和材◎AE減水剤◎高性能AE減水剤●躯体防水材●膨張材

6-3

箇 所	基礎、地中梁	一 般	一 般	備 考
ス ラ ン プ c m				図示による
水セメント比 %				図示による
単 位 水 量 k g / m ³				18.5以下
単位セメント量 k g / m ³				270以上
空 気 量 %				4%～6%

6-4試験(躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)

1)骨材[◎堆分含有量◎アルカリシリカ反応性]＊行う●行わない

2)フレッシュコンクリート[◎スランプ◎空気量]＊行う●行わない

3)躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験＊行う●行わない

4)コンクリートコア抜き取り圧縮試験●行う＊行わない

5)マスコンクリートのひび割れ調査(温度応力解析)●行う＊行わない

6-5調査(補正値は工事費に含む)

計画供用期間の級()は耐久設計基準強度F_d

●短期(18)●標準(24)●長期(30)●超長期(36)

調査管理強度F_m=Max (F_c、F_d)+S S=3～6

材齢28日の調査強度Fは下記の両式を満足するものとする。

F≥F_m+1.73σ F≥0.85F_m+3σ

6-6せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)

	基礎、梁側、柱、壁	スラブ下	梁 下
コンクリート	15℃以上3日	17日	
の材料による	5℃以上5日	25日	28日
場合	0℃以上8日	28日	
圧縮試験による場合	5N/mm ²	0.85F _c または12N/mm ²	圧縮強度が設計強度以上であり、かつ施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全である事が確認されるまで

6-7住宅性能表示

劣化等級●等級2◎等級3

劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)2-7かぶり厚さが変わる場合があるので注意すること。

6-8Fc60を超える高強度コンクリートは別記特記仕様書による。

§7 鉄骨工事

7-1材種及び使用箇所

規 格 名 称	鋼 材 名	柱	垂し	内ダイヤ	大梁	ブレス	小梁、世
一般構造用圧延鋼材	●SS400●						
溶接構造用圧延鋼材	●SM400A●SM490A						
	●SN400A●						
建築構造用圧延鋼材	●SN400B●SN490B						
	●SN400C●SN490C						
一般構造用角形鋼管	●STKR400●STKR490						
冷間成形角形鋼管	●BCR295●						
	●BCP235●BCP325						
熱間成形角形鋼管	●SHC400B●SHC400C						
	●SHC490B●SHC490C						
一般構造用炭素鋼管	●STK400●STK490						
一般構造用軽量形鋼	●SSC400●						
建築構造用圧延棒鋼	●SNR400						

7-2高力ボルト

高 力 ボ ル ト の 種 類	使 用 箇 所
トルシア形高力ボルト	＊S10T全般
JIS形高力ボルト	●F10Tトルシア形が使用できない部分
溶融亜鉛メッキ高力ボルト	●F8T母材が亜鉛メッキされている部分
超高力ボルト	●S14T屋内環境

7-3普通ボルト、アンカーボルト

1)材質●SS400●SS490(M以上)●ABR400●ABR490●ABM400●ABM490(ABMはM24以上)

2)大臣認定柱脚(メーカー仕様による)●使用する●使用しない

7-4圧付きスタッド

径	長 さ (mm)	使 用 箇 所
16φ	●80●100●120●150●	
19φ	●80●100●120●150●	
22φ	●100●120●150●●	

7-5溶接材料

1)アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に相当したものを選定する。

2)ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相当したものである。

7-6スカラー形状●スカラー工法●ノンスカラー工法

7-7継手

	柱	梁
フランジ	●高力ボルト●現場溶接	●高力ボルト●現場溶接
ウェブ	●高力ボルト●現場溶接	●高力ボルト●現場溶接

7-8溶接手法及び管理

使用する溶接ワイヤー、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。

7-9デッキプレート(単位mm)Q_Lデッキ合成スラブ設計・施工標準による

1)床用高さ●板厚●

2)合成スラブ用高さ●板厚●

3)型枠用高さ●板厚●形版タイプ

4)防錆処理●プライマー●亜鉛メッキ●Z12●Z27

7-10錆止め塗装(工場塗●2回●1回、現場タッチアップ程度とする)

1)素地こしらえ●ケレン●プラスト

2)錆止めの塗料

適用	塗 料	種 別	標準膜厚
室外、室内	鉛、クロムフリー錆び止め	JISK5674	30μm
＊	●一般用錆止めペイント	JISK5621	●1種●2種35μm
●	●ジンクリッチプライマー	JISK5552	●1種●2種15μm
●	●シアナミド鉛錆止めペイント	JISK5625	●1種●2種35μm

3)溶融亜鉛メッキ●行う●行わない

7-11溶接部の検査(受入検査)＊行う●行わない

1)受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。

2)第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるC1V検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。

3)受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。

4)外観検査の合格判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6鉄骨工事2007付則6、鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。

5)超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規程・同解説」2008により、合格判定は7.2.1疲労を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。

6)溶接箇所数の数え方は「JASS6鉄骨工事2007」表5.1溶接箇所数の数え方による。

7)受入検査の振取り方法及び振取り率は以下による。

a)工場溶接の場合

ⅰ.検査ロットは各部、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。

ⅱ.振取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。

ⅲ.サンプリングの結果、不合格率が5%以内の場合はロットを合格とし、不合格率が5%を超えた場合は更に同一ロットの中から30箇所をサンプリングし、合計60箇所の不合格率が5%以内の場合を合格とする。不合格率が5%を超えた場合は残り全数の検査を行う。

b)現場溶接の場合

ⅰ.全数検査とする。

8)検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。

9)ずれ・食い違いの補修方法は、独立行政法人建築研究所監修「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」等を参考にする。

7-12鉄骨製作工場

国土交通大臣認定(グレード)					
S	H	(M)	R	J	

§8 外壁工事

8-1軽量気泡コンクリートパネル

外壁取付構法及び厚さmm●t=150●t=60

方 向	構 法	使 用 箇 所	備 考
縦	●ロッキング構法		
横	●金具留め工法		

§9 令第129条の2の4の事項

9-1建築物に設ける建築設備にあつては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

選択項目は■印を適用する。

■建築設備(昇降機を除く)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。

□屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。

□煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は、鉄製の支柱を設けたものを除き、90cm以下とすること。

□煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は、厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。

■建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、

■風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

■建築物の部分を通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。

■管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可換継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。

■管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

□法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものにあつては、建設省告示代1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

構造担当	
(有)真建築設計事務所	
一級建築士登録第321669号	
構造設計一級建築士登録第9073号	
越野敦仁	

図面番号

S-1

工 事 名

島根県営住宅(松江市浜北台団地新1号棟)建設(建築)工事

図 面 種 別

構造特記仕様書

縮 尺

n o n

設計・年月

R 6 . 3

課 長

課 長 補 佐

担 当 者

島 根 県 総 務 部 営 繕 課

設 計 者

一級建築士登録第315752号 松田 啓

一級建築士事務所登録 1150号

有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所

島根県松江市桂賀町215 TEL 0852-26-7600 (代)

FAX 0852-26-7602

一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎

鉄筋コンクリート構造標準図(1)

1. 一般事項

1.1 適用範囲

この配筋標準図は、建設大臣官庁官庁審議院「公共建築工事標準仕様書」(令和4年版)を適用する鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造等の鉄筋工事に適用する。

1.2 基本要項品質

(a) 鉄筋工事に用いる材料は、所定のものであること。

(b) 組立てられた鉄筋は、所定の形状及び寸法を有し、所定の位置に保持されていること。又、鉄筋の表面は、所要の状態であること。

(c) 鉄筋の継手及び定着部は、作用する力を伝達できるものであること。

1.3 配筋検査

主要構造部材の配筋は、コンクリート打ちに先立ち、監督員の検査を受ける。

2. 材料

2.1 鉄筋

鉄筋は次表により、種類の記号は特記による。

規格番号	規格名称	種類の記号
JIS G3112	鉄筋コンクリート用棒鉄筋	DSR235 DSR295 ■SD295 ■SD345 ■SD390

2.2 溶接金網

溶接金網は JIS G 3535 (溶接金網)により、網目の形状、寸法及び鉄筋の径は特記による。

2.3 材料試験

(a) 鉄筋の品質を試験により証明する場合は、次による。

(1) 試験の項目及び方法は、適用せよとする JIS の規程による。

(2) 試験の回数とは、種類、製造ロット及び径の異なる毎に、質量 20 t 以下は 1 回、20 t を超える場合は 20 t 毎及びその総数につき 1 回とし、機械的性質の試験は 1 回の試験につき 1 体とする。

(3) 試験の項目及び方法は、適用せよとする JIS の規程による。

(4) 鉄筋が軽質な場合においては、監督員の承認を受けて、試験の項目を機械的性質のうち引張試験による降伏点、引張強さ、伸びとすることができ。

(5) それぞれ質量 2 t 未満の場合は、監督員の承認を受けて、試験を省略することができる。

(b) 鉄筋を溶接する場合は、次により試験を行う。

(1) 試験数は、種類、製造ロット及び径の異なる毎に、実測と同じ条件で 3 体製作する。

(2) 試験は、引張試験とする。

(3) 全ての試験体が必要材料破断した場合を合格とする。

3. 加工及び組立て

3.1 一般事項

(a) 鉄筋は、設計図書に指定された寸法及び形状に合わせ、常温で正しく加工する。

(b) 異形鉄筋の径(図・表において「d」で示す)は、呼び名に用いた数値とする。

設計図書での鉄筋の表示記号は下記による。

異形記号	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
	・	X	⊘	⊗	○	⊙	⊗	⊙

(c) 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手、機械式継手又は溶接継手とし、適用は特記による。

特記がなければ、鉄筋の継手に応じた継手工法は、次表による。

種類の記号	適用範囲	適用範囲
SD295 SD345 SD390	重ね継手	ガス圧接継手

(d) 有害な曲がり、ひび割れ、ささくれ等の損傷のある鉄筋は、使用しない。

(e) バイコイルの鉄筋は、直線状態にしてから使用する。

(f) 鉄筋の切断は、シーカッター又はのこぎりによって行う。但し、現場でやむを得ない場合は、ガス切断とすることができる。

(g) 鉄筋には、点(付)溶接、アークストライクを行わない。

(h) 鉄筋の仮付け溶接は、建築工事共通仕様書「鉄筋工事の溶接溶接」による。

(i) 鉄筋の溶接は、アーク溶接とし、同じによる。又、溶接技術者は、同じに準じ、工事に相応した技能を有する者とする。

(j) 鉄筋の束端部には、次の場合にフックを付ける。

(1) 柱の隅角にある主筋(下の●印)で、重ね継手の場合及び地上柱の柱頭にある場合。

(2) 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下隅の隅角(下の●印)にある場合。但し、基礎を除く。

柱

注1

注2

注1

注2

(3) 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)

(4) 杭基礎のベース筋。

(5) フープ、スタラップ及び幅止め筋。

(k) 鉄筋の折曲げは、次表による。

束端部

曲げ角度	折曲げ図	SD295, SD345, SD390			使用箇所
		D16以下	D19-D25	D29-D32	
90°以下		D	3d以上	4d以上	スタラップ フープ スバイラル筋
90°		D	4d以上	6d以上	その他の鉄筋

注) 1. Dは、曲げ内径を示す。

(1) 重ね継手の長さは次による。尚、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

(2) 主筋及び耐力壁の鉄筋重ね継手長さは特記による。特記がなければ 40d (軽量コンクリートの場合は 50d) と下記表の重ね長さのうち大きい値とする。

■重ね継手の長さ表

鉄筋の種類	コンクリート設計基準強度 (N/mm2)	L1 (フックなし)		L1h (フックあり)		備考
		SD295	SD345	SD295	SD345	
SD295	18	45d	35d			
	21	40d	30d			
	24, 27, 30, 33, 36	35d	25d			
	18	50d	35d			
SD345	21	45d	30d			
	24, 27	40d	30d			
	30, 33, 36	35d	25d			
	21	50d	35d			
SD390	24, 27	45d	35d			
	30, 33, 36	40d	30d			

注) 1. L1, L1h: 重ね継手長さ及びフックあり重ね継手長さ

2. フックありの場合の L1h は下記の図に示すようにフック部分 L を含まない。

3. 軽量コンクリートの場合は表の値に 5d を加えたものとする。

4. フックがある場合の L1・L2・L3 は、下記に示すようにフック部分 L を含まない。

(2) 隣合う継手の位置は、次図による。ただし、スラブ及び梁の場合で D16 以下は除く。尚、先組み工法等で、柱、梁の主筋の重ね継手を同一箇所に出せる場合は、特記による。

フックのある場合	フックのない場合	圧接継手の場合
a=L1h/2	a=L1h/2	a=L1h/2

(m) 鉄筋定着の長さは次による。

(1) 柱に取付けた引張る引張る鉄筋の定着長さは特記による。特記がなければ 40d (軽量コンクリートの場合は 50d) と下記表の定着長さのうち大きい値とする。

■定着の長さ表

鉄筋の種類	コンクリート設計基準強度 (N/mm2)	フックなし		フックあり		備考
		L1	L2	L3	L3h	
SD295	18	45d	40d	10d	30d	
	21	40d	35d	10d	25d	
	24, 27, 30, 33, 36	35d	30d	10d	20d	
	18	50d	40d	10d	25d	
SD345	21	45d	35d	20d	25d	
	24, 27	40d	35d	20d	25d	
	30, 33, 36	35d	30d	20d	25d	
	21	50d	40d	20d	25d	
SD390	24, 27	45d	40d	20d	25d	
	30, 33, 36	40d	35d	20d	25d	

注) 1. L1, L1h: 注2以外の直接定着長さ及びフックあり定着長さ

2. L2, L2h: 鉄筋の曲げ半径 R の 1/4 倍の長さ及びフックあり定着長さ

3. L3: 小梁及びスラブの下端部直接定着長さ。ただし、基礎固定スラブ及びこれを受ける小梁を除く。

4. L3h: 小梁の下端部のフックあり定着長さ

5. フックあり定着の場合は重ね継手間隔にフック部分 L を含まない。

6. 軽量コンクリートの場合は表の値に 5d を加えたものとする。

直接定着	折曲げ定着 (L2h ※を確保できない場合)
L1, L2 または L3	L1h, L2h または L3h

注) 1. L1, L2, L3: 定着起点

2. L1h, L2h: 定着起点

3. L1h, L2h: 定着起点

4. L1h, L2h: 定着起点

5. L1h, L2h: 定着起点

6. L1h, L2h: 定着起点

7. L1h, L2h: 定着起点

8. L1h, L2h: 定着起点

9. L1h, L2h: 定着起点

10. L1h, L2h: 定着起点

11. L1h, L2h: 定着起点

12. L1h, L2h: 定着起点

13. L1h, L2h: 定着起点

14. L1h, L2h: 定着起点

15. L1h, L2h: 定着起点

16. L1h, L2h: 定着起点

17. L1h, L2h: 定着起点

18. L1h, L2h: 定着起点

19. L1h, L2h: 定着起点

20. L1h, L2h: 定着起点

21. L1h, L2h: 定着起点

22. L1h, L2h: 定着起点

23. L1h, L2h: 定着起点

24. L1h, L2h: 定着起点

25. L1h, L2h: 定着起点

26. L1h, L2h: 定着起点

27. L1h, L2h: 定着起点

28. L1h, L2h: 定着起点

29. L1h, L2h: 定着起点

30. L1h, L2h: 定着起点

31. L1h, L2h: 定着起点

32. L1h, L2h: 定着起点

33. L1h, L2h: 定着起点

34. L1h, L2h: 定着起点

35. L1h, L2h: 定着起点

36. L1h, L2h: 定着起点

37. L1h, L2h: 定着起点

38. L1h, L2h: 定着起点

39. L1h, L2h: 定着起点

40. L1h, L2h: 定着起点

41. L1h, L2h: 定着起点

42. L1h, L2h: 定着起点

43. L1h, L2h: 定着起点

44. L1h, L2h: 定着起点

45. L1h, L2h: 定着起点

46. L1h, L2h: 定着起点

47. L1h, L2h: 定着起点

48. L1h, L2h: 定着起点

49. L1h, L2h: 定着起点

50. L1h, L2h: 定着起点

51. L1h, L2h: 定着起点

52. L1h, L2h: 定着起点

53. L1h, L2h: 定着起点

54. L1h, L2h: 定着起点

55. L1h, L2h: 定着起点

56. L1h, L2h: 定着起点

57. L1h, L2h: 定着起点

58. L1h, L2h: 定着起点

59. L1h, L2h: 定着起点

60. L1h, L2h: 定着起点

61. L1h, L2h: 定着起点

62. L1h, L2h: 定着起点

63. L1h, L2h: 定着起点

64. L1h, L2h: 定着起点

65. L1h, L2h: 定着起点

66. L1h, L2h: 定着起点

67. L1h, L2h: 定着起点

68. L1h, L2h: 定着起点

69. L1h, L2h: 定着起点

70. L1h, L2h: 定着起点

71. L1h, L2h: 定着起点

72. L1h, L2h: 定着起点

73. L1h, L2h: 定着起点

74. L1h, L2h: 定着起点

75. L1h, L2h: 定着起点

76. L1h, L2h: 定着起点

77. L1h, L2h: 定着起点

78. L1h, L2h: 定着起点

79. L1h, L2h: 定着起点

80. L1h, L2h: 定着起点

81. L1h, L2h: 定着起点

82. L1h, L2h: 定着起点

83. L1h, L2h: 定着起点

84. L1h, L2h: 定着起点

85. L1h, L2h: 定着起点

86. L1h, L2h: 定着起点

87. L1h, L2h: 定着起点

88. L1h, L2h: 定着起点

89. L1h, L2h: 定着起点

90. L1h, L2h: 定着起点

91. L1h, L2h: 定着起点

92. L1h, L2h: 定着起点

93. L1h, L2h: 定着起点

94. L1h, L2h: 定着起点

95. L1h, L2h: 定着起点

96. L1h, L2h: 定着起点

97. L1h, L2h: 定着起点

98. L1h, L2h: 定着起点

99. L1h, L2h: 定着起点

100. L1h, L2h: 定着起点

101. L1h, L2h: 定着起点

102. L1h, L2h: 定着起点

103. L1h, L2h: 定着起点

104. L1h, L2h: 定着起点

105. L1h, L2h: 定着起点

106. L1h, L2h: 定着起点

107. L1h, L2h: 定着起点

108. L1h, L2h: 定着起点

109. L1h, L2h: 定着起点

110. L1h, L2h: 定着起点

111. L1h, L2h: 定着起点

112. L1h, L2h: 定着起点

113. L1h, L2h: 定着起点

114. L1h, L2h: 定着起点

115. L1h, L2h: 定着起点

116. L1h, L2h: 定着起点

117. L1h, L2h: 定着起点

118. L1h, L2h: 定着起点

119. L1h, L2h: 定着起点

120. L1h, L2h: 定着起点

121. L1h, L2h: 定着起点

122. L1h, L2h: 定着起点

123. L1h, L2h: 定着起点

124. L1h, L2h: 定着起点

125. L1h, L2h: 定着起点

126. L1h, L2h: 定着起点

127. L1h, L2h: 定着起点

128. L1h, L2h: 定着起点

129. L1h, L2h: 定着起点

130. L1h, L2h: 定着起点

131. L1h, L2h: 定着起点

132. L1h, L2h: 定着起点

133. L1h, L2h: 定着起点

134. L1h, L2h: 定着起点

135. L1h, L2h: 定着起点

136. L1h, L2h: 定着起点

137. L1h, L2h: 定着起点

138. L1h, L2h: 定着起点

139. L1h, L2h: 定着起点

140. L1h, L2h: 定着起点

141. L1h, L2h: 定着起点

142. L1h, L2h: 定着起点

143. L1h, L2h: 定着起点

144. L1h, L2h: 定着起点

145. L1h, L2h: 定着起点

146. L1h, L2h: 定着起点

147. L1h, L2h: 定着起点

148. L1h, L2h: 定着起点

149. L1h, L2h: 定着起点

150. L1h, L2h: 定着起点

151. L1h, L2h: 定着起点

152. L1h, L2h: 定着起点

153. L1h, L2h: 定着起点

154. L1h, L2h: 定着起点

155. L1h, L2h: 定着起点

156. L1h, L2h: 定着起点

157. L1h, L2h: 定着起点

158. L1h, L2h: 定着起点

159. L1h, L2h: 定着起点

160. L1h, L2h: 定着起点

161. L1h, L2h: 定着起点

162. L1h, L2h: 定着起点

163. L1h, L2h: 定着起点

164. L1h, L2h: 定着起点

165. L1h, L2h: 定着起点

166. L1h, L2h: 定着起点

167. L1h, L2h: 定着起点

168. L1h, L2h: 定着起点

169. L1h, L2h: 定着起点

170. L1h, L2h: 定着起点

171. L1h, L2h: 定着起点

172. L1h, L2h: 定着起点

173. L1h, L2h: 定着起点

174. L1h, L2h: 定着起点

175. L1h, L2h: 定着起点

176. L1h, L2h: 定着起点

177. L1h, L2h: 定着起点

178. L1h, L2h: 定着起点

179. L1h, L2h: 定着起点

180. L1h, L2h: 定着起点

181. L1h, L2h: 定着起点

182. L1h, L2h: 定着起点

183. L1h, L2h: 定着起点

184. L1h, L2h: 定着起点

185. L1h, L2h: 定着起点

186. L1h, L2h: 定着起点

187. L1h, L2h: 定着起点

188. L1h, L2h: 定着起点

189. L1h, L2h: 定着起点

190. L1h, L2h: 定着起点

191. L1h, L2h: 定着起点

192. L1h, L2h: 定着起点

193. L1h, L2h: 定着起点

194. L1h, L2h: 定着起点

195. L1h, L2h: 定着起点

196. L1h, L2h: 定着起点

197. L1h, L2h: 定着起点

198. L1h, L2h: 定着起点

199. L1h, L2h: 定着起点

200. L1h, L2h: 定着起点

201. L1h, L2h: 定着起点

202. L1h, L2h: 定着起点

203. L1h, L2h: 定着起点

204. L1h, L2h: 定着起点

205. L1h, L2h: 定着起点

206. L1h, L2h: 定着起点

207. L1h, L2h: 定着起点

208. L1h, L2h: 定着起点

209. L1h, L2h: 定着起点

210. L1h, L2h: 定着起点

211. L1h, L2h: 定着起点

212. L1h, L2h: 定着起点

213. L1h, L2h: 定着起点

214. L1h, L2h: 定着起点

215. L1h, L2h: 定着起点

216. L1h, L2h: 定着起点

217. L1h, L2h: 定着起点

218. L1h, L2h: 定着起点

219. L1h, L2h: 定着起点

220. L1h, L2h: 定着起点

221. L1h, L2h: 定着起点

222. L1h, L2h: 定着起点

223. L1h, L2h: 定着起点

224. L1h, L2h: 定着起点

225. L1h, L2h: 定着起点

226. L1h, L2h: 定着起点

227. L1h, L2h: 定着起点

228. L1h, L2h: 定着起点

229. L1h, L2h: 定着起点

230. L1h, L2h: 定着起点

231. L1h, L2h: 定着起点

232. L1h, L2h: 定着起点

233. L1h, L2h: 定着起点

234. L1h, L2h: 定着起点

235. L1h, L2h: 定着起点

236. L1h, L2h: 定着起点

237. L1h, L2h: 定着起点

238. L1h, L2h: 定着起点

239. L1h, L2h: 定着起点

240. L1h, L2h: 定着起点

241. L1h, L2h: 定着起点

242. L1h, L2h: 定着起点

243. L1h, L2h: 定着起点

244. L1h, L2h: 定着起点

245. L1h, L2h: 定着起点

246. L1h, L2h: 定着起点

247. L1h, L2h: 定着起点

248. L1h, L2h: 定着起点

249. L1h, L2h: 定着起点

250. L1h, L2h: 定着起点

251. L1h, L2h: 定着起点

252. L1h, L2h: 定着起点

253. L1h, L2h: 定着起点

254. L1h, L2h: 定着起点

255. L1h, L2h: 定着起点

256. L1h, L2h: 定着起点

257. L1h, L2h: 定着起点

258. L1h, L2h: 定着起点

259. L1h, L2h: 定着起点

260. L1h, L2h: 定着起点

261. L1h, L2h: 定着起点

262. L1h, L2h: 定着起点

263. L1h, L2h: 定着起点

264. L1h, L2h: 定着起点

265. L1h, L2h: 定着起点

266. L1h, L2h: 定着起点

267. L1h, L2h: 定着起点

268. L1h, L2h: 定着起点

269. L1h, L2h: 定着起点

270. L1h, L2h: 定着起点

271. L1h, L2h: 定着起点

272. L1h, L2h: 定着起点

273. L1h, L2h: 定着起点

274. L1h, L2h: 定着起点

275. L1h, L2h: 定着起点

276. L1h, L2h: 定着起点

277. L1h, L2h: 定着起点

278. L1h, L2h: 定着起点

279. L1h, L2h: 定着起点

280. L1h, L2h: 定着起点

281. L1h, L2h: 定着起点

282. L1h, L2h: 定着起点

283. L1h, L2h: 定着起点

284. L1h, L2h: 定着起点

285. L1h, L2h: 定着起点

286. L1h, L2h: 定着起点

287. L1h, L2h: 定着起点

288. L1h, L2h: 定着起点

289. L1h, L2h: 定着起点

290. L1h, L2h: 定着起点

291. L1h, L2h: 定着起点

292. L1h, L2h: 定着起点

293. L1h, L2h: 定着起点

294. L1h, L2h: 定着起点

295. L1h, L2h: 定着起点

296. L1h, L2h: 定着起点

297. L1h, L2h: 定着起点

298. L1h, L2h: 定着起点

299. L1h, L2h: 定着起点

300. L1h, L2h: 定着起点

301. L1h, L2h: 定着起点

302. L1h, L2h: 定着起点

303. L1h, L2h: 定着起点

304. L1h, L2h: 定着起点

305. L1h, L2h: 定着起点

306. L1h, L2h: 定着起点

307. L1h, L2h: 定着起点

308. L1h, L2h: 定着起点

309. L1h, L2h: 定着起点

310. L1h, L2h: 定着起点

311. L1h, L2h: 定着起点

312. L1h, L2h: 定着起点

313. L1h, L2h: 定着起点

314. L1h, L2h: 定着起点

315. L1h, L2h: 定着起点

316. L1h, L2h: 定着起点

317. L1h, L2h: 定着起点

318. L1h, L2h: 定着起点

319. L1h, L2h: 定着起点

320. L1h, L2h: 定着起点

321. L1h, L2h: 定着起点

322. L1h, L2h: 定着起点

323. L1h, L2h: 定着起点

324. L1h, L2h: 定着起点

325. L1h, L2h: 定着起点

326. L1h, L2h: 定着起点

327. L1h, L2h: 定着起点

328. L1h, L2h: 定着起点

329. L1h, L2h: 定着起点

330. L1h, L2h: 定着起点

331. L1h, L2h: 定着起点

332. L1h, L2h: 定着起点

333. L1h, L2h: 定着起点

334. L1h, L2h: 定着起点

335. L1h, L2h: 定着起点

336. L1h, L2h: 定着起点

337. L1h, L2h: 定着起点

338. L1h, L2h: 定着起点

339. L1h, L2h: 定着起点

340. L1h, L2h: 定着起点

341. L1h, L2h: 定着起点

342. L1h, L2h: 定着起点

343. L1h, L2h: 定着起点

344. L1h, L2h: 定着起点

345. L1h, L2h: 定着起点

346. L1h, L2h: 定着起点

347. L1h, L2h: 定着起点

348. L1h, L2h: 定着起点

349. L1h, L2h: 定着起点

350. L1h, L2h: 定着起点

351. L1h, L2h: 定着起点

352. L1h, L2h: 定着起点

353. L1h, L2h: 定着起点

354. L1h, L2h: 定着起点

355. L1h, L2h: 定着起点

356. L1h, L2h: 定着起点

357. L1h, L2h: 定着起点

358. L1h, L2h: 定着起点

359. L1h, L2h: 定着起点

360. L1h, L2h: 定着起点

361. L1h, L2h: 定着起点

362. L1h, L2h: 定着起点

363. L1h, L2h: 定着起点

364. L1h, L2h: 定着起点

365. L1h, L2h: 定着起点

366. L1h, L2h: 定着起点

367. L1h, L2h: 定着起点

368. L1h, L2h: 定着起点

369. L1h, L2h: 定着起点

370. L1h, L2h: 定着起点

371. L1h, L2h: 定着起点

372. L1h, L2h: 定着起点

373. L1h, L2h: 定着起点

374. L1h, L2h: 定着起点

375. L1h, L2h: 定着起点

376. L1h, L2h: 定着起点

377. L1h, L2h: 定着起点

378. L1h, L2h: 定着起点

379. L1h, L2h: 定着起点

380. L1h, L2h: 定着起点

381. L1h, L2h: 定着起点

382. L1h, L2h: 定着起点

383. L1h, L2h: 定着起点

384. L1h, L2h: 定着起点

385. L1h, L2h: 定着起点

386. L1h, L2h: 定着起点

387. L1h, L2h: 定着起点

388. L1h, L2h: 定着起点

389. L1h, L2h: 定着起点

390. L1h, L2h: 定着起点

391. L1h, L2h: 定着起点

392. L1h, L2h: 定着起点

393. L1h, L2h: 定着起点

394. L1h, L2h: 定着起点

395. L1h, L2h: 定着起点

396. L1h, L2h: 定着起点

397. L1h, L2h: 定着起点

398. L1h, L2h: 定着起点

399. L1h, L2h: 定着起点

400. L1h, L2h: 定着起点

401. L1h, L2h: 定着起点

402. L1h, L2h: 定着起点

403. L1h, L2h: 定着起点

404. L1h, L2h: 定着起点

405. L1h, L2h: 定着起点

406. L1h, L2h: 定着起点

407. L1h, L2h: 定着起点

408. L1h, L2h: 定着起点

409. L1h, L2h: 定着起点

410. L1h

梁貫通孔補強材 ダイアレックス設計・施工標準仕様書

(一財) 日本建築センター B C J 評定-RC0124-08

1. 一般事項

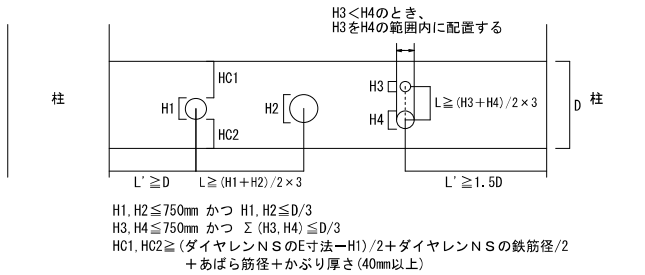
- (1) 本仕様書は、ダイアレックスの標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。
- (2) 本設計仕様に記載のない事項については、建築基準法・同施行令、(一財)日本建築センター及び(一社)日本建築学会の関連する諸指針や諸標準、ダイアレックス技術マニュアルによる。

2. 使用材料の適用範囲

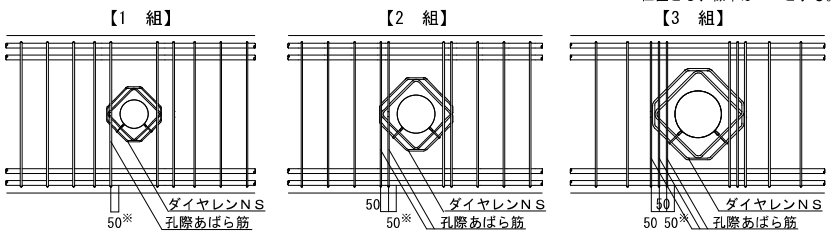
- (1) コンクリート
 $F_c=21\sim100N/mm^2$
- (2) 鉄筋
- 主筋 : 基準強度295～490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え685N/mm²以下の大径認定品
 - あばら筋 : 基準強度295～490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え1275N/mm²以下の大径認定品
 - ダイアレックス : KSS785-K (MSRB-0004)、MK785 (MSRB-0067)

3. 貫通孔適用範囲

- (1) 開口の形状は円形または多角形とし、多角形の場合はその外接円を開口とみなす。
- (2) 開口径(H)は開口外径とし、750mm以下かつ梁せいの1/3以下とする。ただし、上下に複数の開口を設ける場合は、当該複数孔の開口径の合計は梁せいの1/3以下とする。
- (3) 隣接する開口の水平及び鉛直方向中心間距離(L)は開口径の3倍以上とし、隣接する開口の径が異なる場合は、両開口径の平均値の3倍以上とする。また、上下に複数の開口を設ける場合には、最大径の範囲内にその他の開口を配置することとする。
- (4) ヘリあき(HC1, HC2)の最小寸法は下式による。
ヘリあき $\geq$ (ダイアレックスのE寸法-開口径H)/2+ダイアレックスの鉄筋径/2
+あばら筋径+かぶり厚さ(40mm以上)
- ただし、ダイアレックスをあばら筋の内側に施工することとする。
- (5) 水平方向の開口位置は、柱際から開口中心までの距離(L')を梁せい以上とする。
- (6) 上下に複数の開口を設ける場合の水平方向の開口位置は、L'を梁せいの1.5倍以上とする。



4. 開口部あばら筋の配筋要領

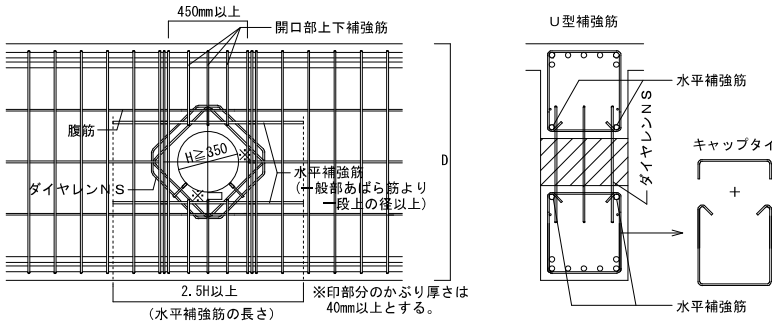


- (1) 開口部あばら筋の組数は、開口が無いとした場合に配置されるあばら筋組数以上とする。
- (2) 孔際あばら筋の組数は、下表の標準組数以上とする。

【開口に対して片側に配置する孔際あばら筋の標準組数】		
開口径	一般部あばら筋比 (p _a)	
	1%未満	1%以上
H<150	1組	2組
150≤H<300	2組	3組
300≤H	3組	3組

5. 開口部上下補強要領 (350φ以上の場合)

- (1) 開口の左右に配筋する1組目の孔際あばら筋の間隔が梁せいの1/2以上または450mm以上(開口径で350mm以上)になる場合は、開口部上下補強筋と水平補強筋により主筋を拘束するための補強を行う。
- (2) 開口部上下補強筋は、一般部あばら筋と同径以上かつ同鋼種とし、一般部あばら筋のピッチ以下となるように配筋する。(丸鋼及びインデントは不可)
- (3) 梁幅が400mm未満もしくはコ型補強筋の梁主筋側重ね長さが25d(dは鉄筋の呼び径)以下の場合は、U型またはT型の形状で補強を行う。
- (4) 水平補強筋は、一般部あばら筋より1段上の径以上とし(SD295A程度)、開口径の2.5倍以上の長さとする。



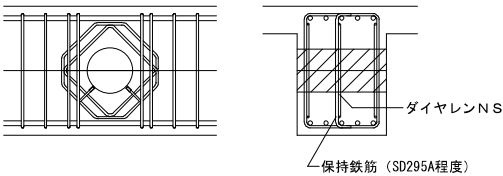
開口上下部分の補強要領 (U型補強筋で補強する場合の例)

6. 施工要領例

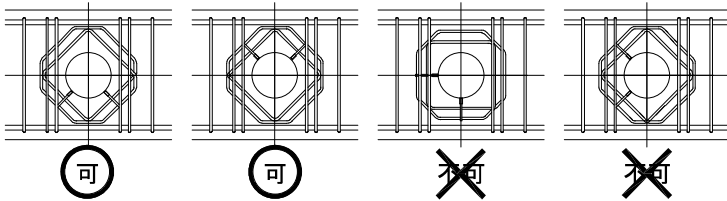
- (1) 型枠上に開口の位置と開口径等を墨出しする。
- (2) 補強設計に必要な孔際あばら筋と一般部あばら筋を配筋する。孔際あばら筋は、1組目は必要なかぶり厚さを確保した所定の位置に配置し、2組目以降はそれぞれ50mmピッチで配筋する。孔際あばら筋と一般部あばら筋の間隔は、設計ピッチ以下とする。
- (3) ダイアレックスを左右の孔際あばら筋の間から挿入し、孔際あばら筋等に4か所以上結束する。
- (4) スリーブをダイアレックスのスリーブ受け筋にセットし、針金等で固定する。
- (5) 孔際あばら筋を配筋するのが困難な場合は、束ね配筋にすることができる。(束ね配筋は、2組までは束ねることができるが、3組以上は束ねてはならない。)
- (6) 開口部周囲のそれぞれの鉄筋のかぶり厚さが適正に確保されていることを確認する。

7. 施工における注意事項

- (1) 補強設計によってダイアレックスが3枚以上になった場合で中子筋が無い場合は下図のように保持鉄筋等に結束する。



- (2) ダイアレックスはあばら筋に対して斜め45度の傾きをもって必要な耐力が期待できるため、下図の「可」のように施工すること。



8. ダイアレックス標準製品寸法表

スリーブ径 (対応径)		型	サイズ	寸 法						(特記外単位: mm)	
				A	B	C	D	E	F	形状	重量 (kgf/枚)
100φ (H≤115)	I	6	205	115	127	45	289	45	①	0.55	204
	II	8	205	115	127	45	289	45	①	0.85	205
	III	10	205	95	155	55	289	45	②	1.14	206
	IV	13	210	80	183	65	296	48	②	2.01	211
	V	16	230	100	183	65	325	55	③	3.46	227
	V-3R	16	230	154	237	65	455	57	⑤	6.14	292
125φ (H≤141)	I	6	230	140	127	45	325	45	①	0.60	222
	II	8	230	140	127	45	325	45	①	0.94	223
	III	10	235	125	155	55	332	48	②	1.27	227
	IV	13	240	110	183	65	339	50	②	2.26	232
	V	16	240	110	183	65	339	50	③	3.57	234
	V-3R	16	240	164	237	65	469	49	⑤	6.31	299
150φ (H≤166)	I	6	255	165	127	45	360	45	①	0.66	239
	II	8	255	165	127	45	360	45	①	1.03	240
	III	10	260	150	155	55	367	47	②	1.38	245
	IV	13	260	130	183	65	367	47	②	2.41	246
	V	16	265	135	183	65	374	50	③	3.88	251
	V-3R	16	265	189	237	65	504	49	⑤	6.78	316
175φ (H≤191)	I	6	280	190	127	45	395	45	①	0.71	257
	II	8	280	190	127	45	395	45	①	1.12	258
	III	10	285	175	155	55	403	47	②	1.50	263
	IV	13	285	155	183	65	403	47	②	2.61	264
	V	16	290	160	183	65	410	50	③	4.19	269
	V-3R	16	290	214	237	65	540	49	⑤	7.25	334
200φ (H≤216)	I	6	305	215	127	45	431	45	①	0.77	275
	II	8	305	215	127	45	431	45	①	1.20	276
	III	10	310	200	155	55	438	47	②	1.61	280
	IV	13	310	180	183	65	438	47	②	2.81	282
	V	16	320	190	183	65	452	50	③	4.57	290
	V-3R	16	320	244	237	65	582	52	⑤	7.82	355
250φ (H≤270)	I	6	360	270	127	45	509	45	①	0.89	314
	II	8	360	270	127	45	509	45	①	1.40	315
	III	10	360	250	155	55	509	45	②	1.83	316
	IV	13	370	240	183	65	523	50	②	3.29	324
	V	16	370	210	226	80	523	50	②	5.31	326
	V-3R	16	370	276	292	80	683	50	④	9.11	406
300φ (H≤320)	I	6	410	320	127	45	579	45	①	1.01	349
	II	8	410	320	127	45	579	45	①	1.57	350
	III	10	410	300	155	55	579	45	②	2.05	351
	IV	13	420	290	183	65	593	50	②	3.69	359
	V	16	420	260	226	80	593	50	②	5.93	361
	V-3R	16	420	326	292	80	753	50	④	10.04	441
350φ (H≤370)	I	6	460	370	127	45	650	45	①	1.12	384
	II	8	460	370	127	45	650	45	①	1.75	385
	III	10	460	350	155	55	650	45	②	2.28	386
	IV	13	470	340	183	65	664	50	②	4.09	395
	V	16	470	310	226	80	664	50	②	6.55	396
	V-3R	16	470	376	292	80	824	50	④	10.98	476
400φ (H≤420)	I	8	510	420	127	45	721	45	①	1.92	421
	II	10	510	400	155	55	721	45	②	2.50	422
	III	13	520	390	183	65	735	50	②	4.48	430
	IV	16	530	370	226	80	749	55	②	7.31	439
	IV-3R	16	530	436	292	80	909	55	④	12.11	519
	I	8	560	470	127	45	791	45	①	2.10	456
450φ (H≤470)	II	10	560	450	155	55	791	45	②	2.73	457
	III	13	570	440	183	65	806	50	②	4.88	466
	IV	16	580	420	226	80	820	55	②	7.94	474
	IV-3R	16	580	486	292	80	980	55	④	13.04	554
	II	10	610	500	155	55	862	45	②	2.95	492
	III	13	620	490	183	65	876	50	②	5.28	501
500φ (H≤520)	IV	16	630	470	226	80	890	55	②	8.56	509
	IV-3R	16	630	536	292	80	1050	55	④	13.98	589
550φ (H≤570)	II	10	660	550	155	55	933	45	②	3.17	528
	III	13	670	540	183	65	947	50	②	5.68	536
	IV	16	680	520	226	80	961	55	②	9.18	545
	IV-3R	16	680	586	292	80	1121	55	④	14.92	625
	II	10	720	610	155	55	1018	45	②	3.44	570
	III	13	730	600	183	65	1032	50	②	6.16	579
600φ (H≤630)	IV	16	750	590	226	80	1060	60	②	10.07	594
	IV-3R	16	750	656	292	80	1220	60	④	16.24	674
650φ (H≤680)	II	10	770	660	155	55	1088	45	②	3.67	605
	III	13	780	650	183	65	1103	50	②	6.55	614
	IV	16	800	640	226	80	1131	60	②	10.69	630
	IV-3R	16	800	706	292	80	1291	60	④	17.17	710
	II	10	820	710	155	55	1159	45	②	3.89	641
	III	13	830	700	183	65	1173	50	②	6.95	649
700φ (H≤730)	IV	16	850	690	226	80	1202	60	②	11.32	665
	IV-3R	16	850	756	292	80	1362	60	④	18.11	745
750φ (H≤750)	II	10	870	760	155	55	1230	45	②	4.11	676
	III	13	880	750	183	65	1244	50	②	7.35	685
	IV	16	900	740	226	80	1272	60	②	11.94	700
	IV-3R	16	900	806	292	80	1432	60	④	19.05	780

※対応径は、スリーブ面とダイアレックス内リング筋の内側面までのかぶり

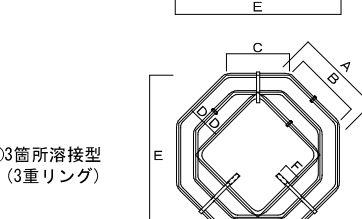
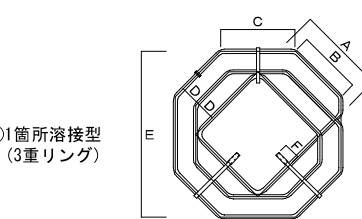
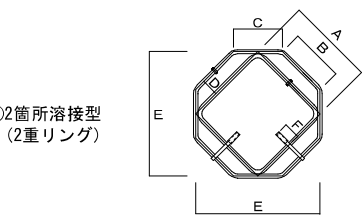
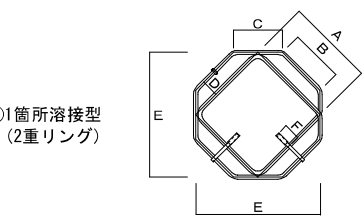
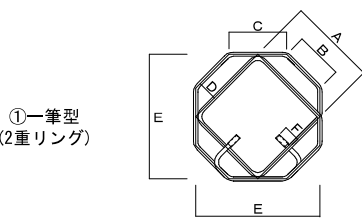
厚さを40mmとした場合の開口外径

※表中Hoは、かぶり厚さ40mm、あばら筋16mmとした場合のコンクリート面から

開口中心までの距離

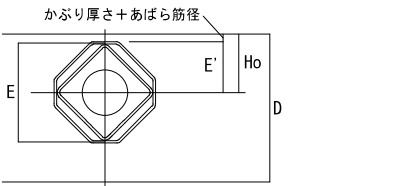
※寸法は、鉄筋の芯-芯間とする

【ダイアレックス標準形状】



※ヘリあきの最小寸法

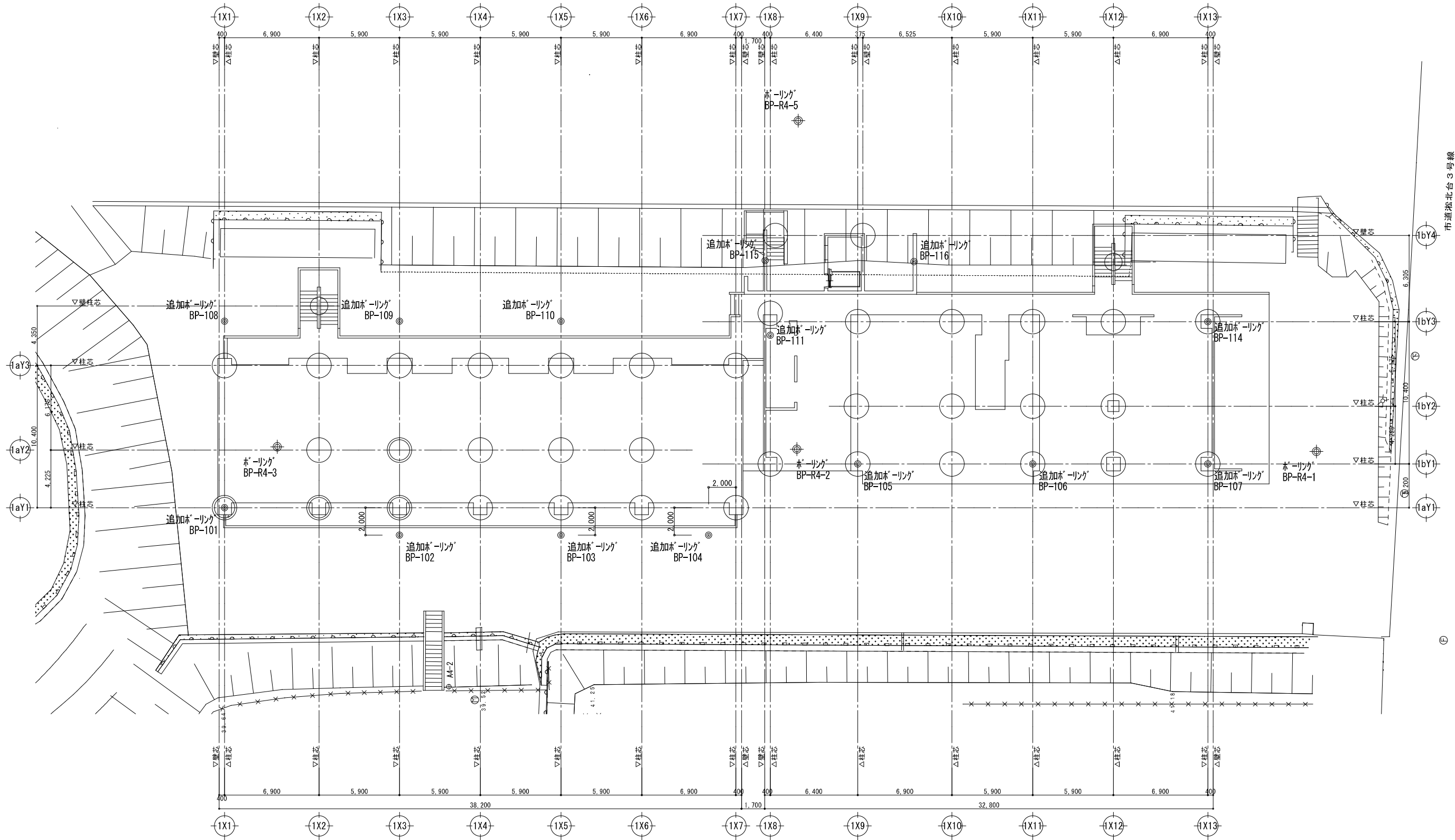
ダイアレックスを使用した場合のコンクリート面から開口中心までの距離(Ho)を左表に示す。
(かぶり厚さ40mm、あばら筋径を16mmと仮定した数値)



構造担当

(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号
S-5	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	梁貫通補強材 標準仕様書 （参考図）	n o n	R 6 . 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一郎

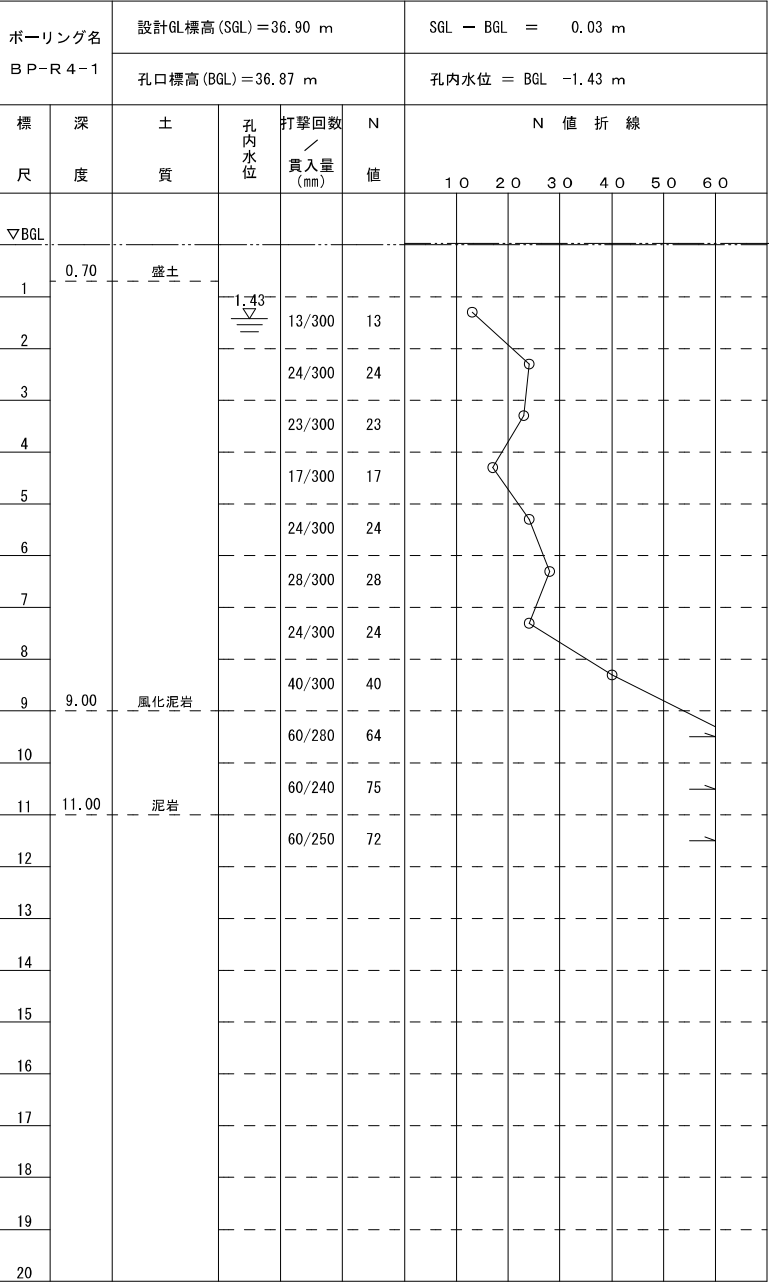


ボーリング位置図 1 : 200

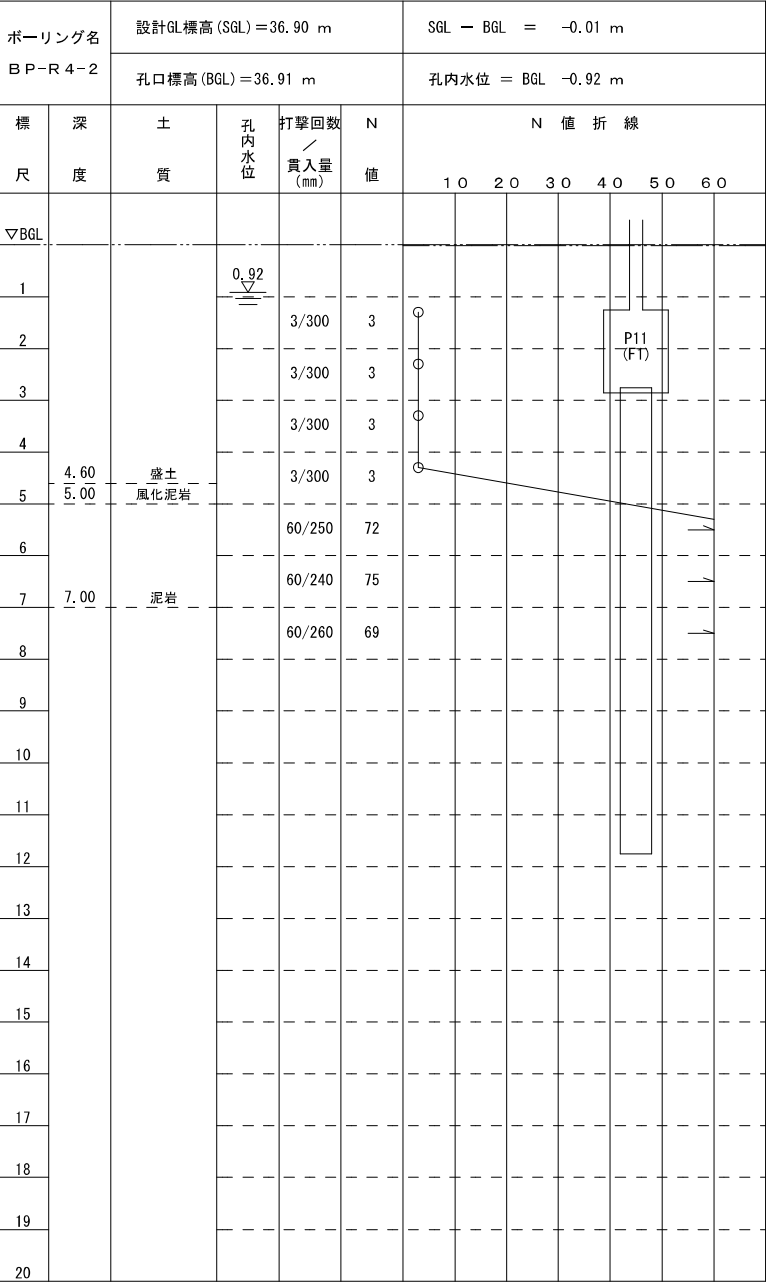
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号 有限会社 真建築設計事務所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋雄一郎
								設計者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	
S-6	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	棒-リンク位置図	1 : 200	R 6 . 3						

構造担当
(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

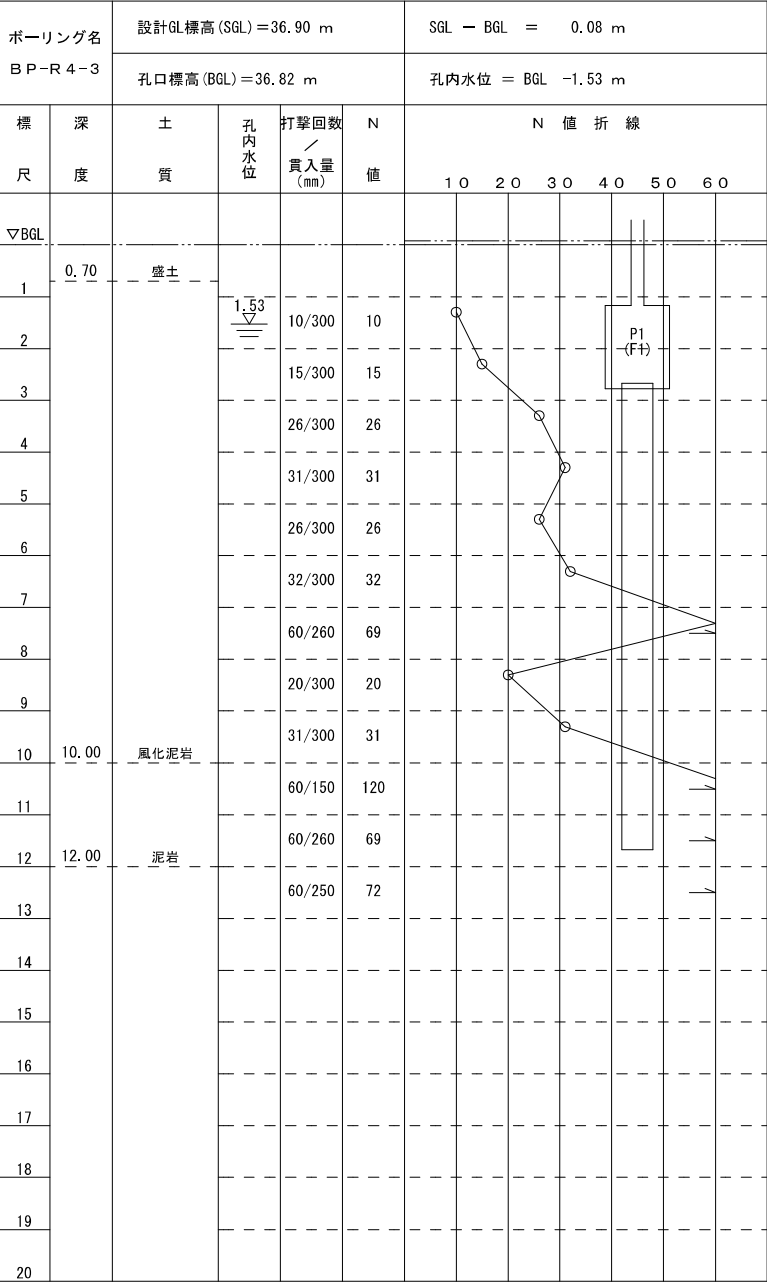
BP-R4-1



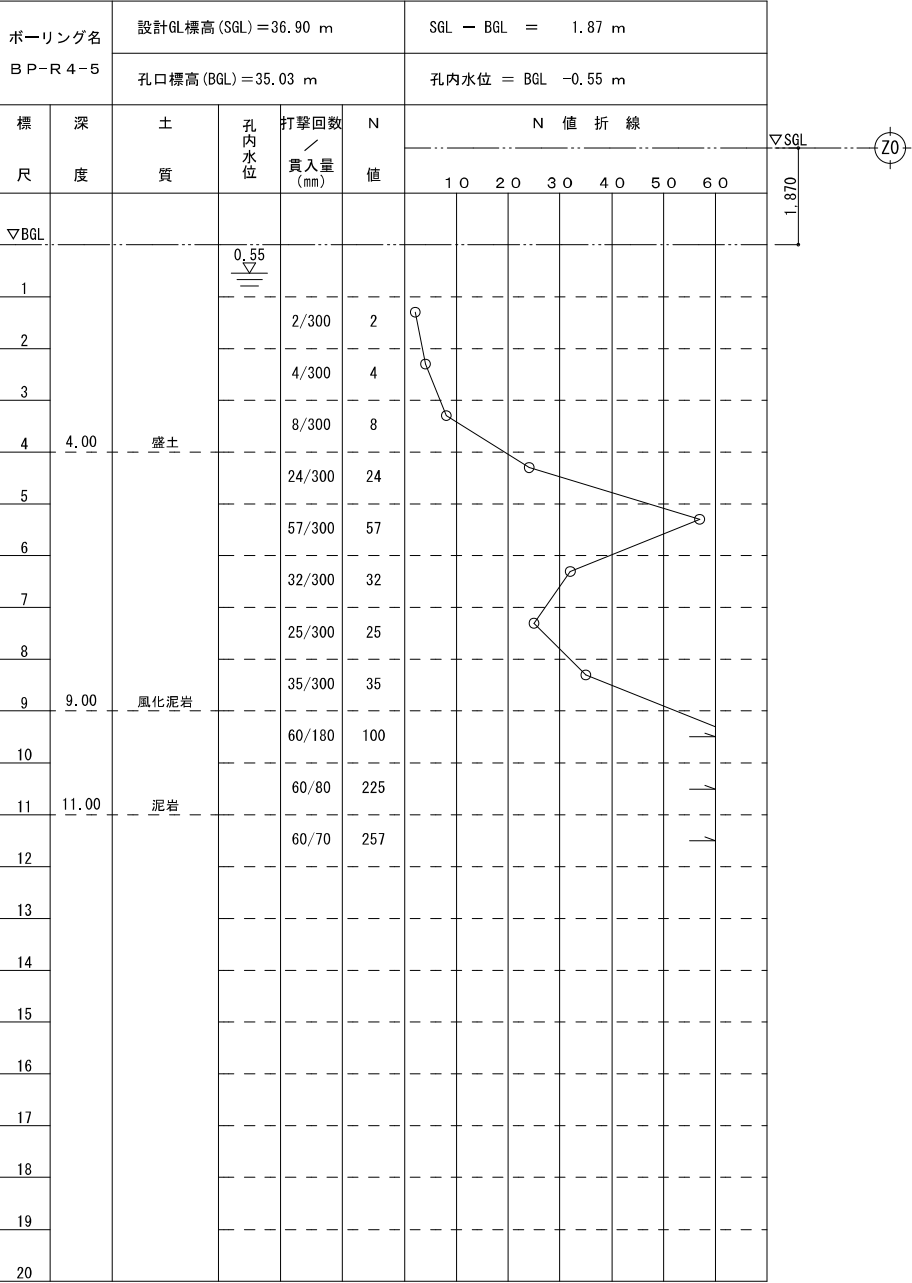
BP-R4-2



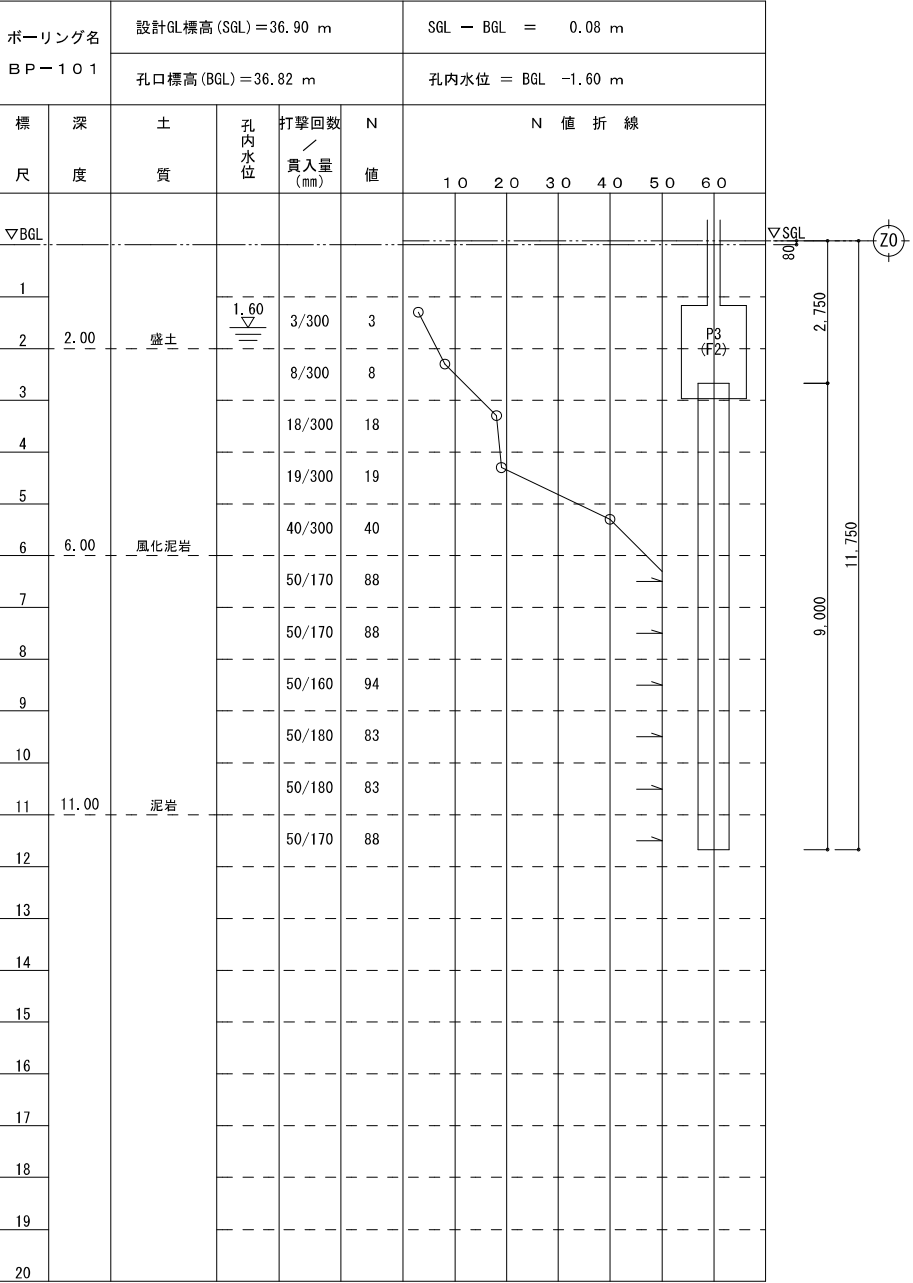
BP-R4-3



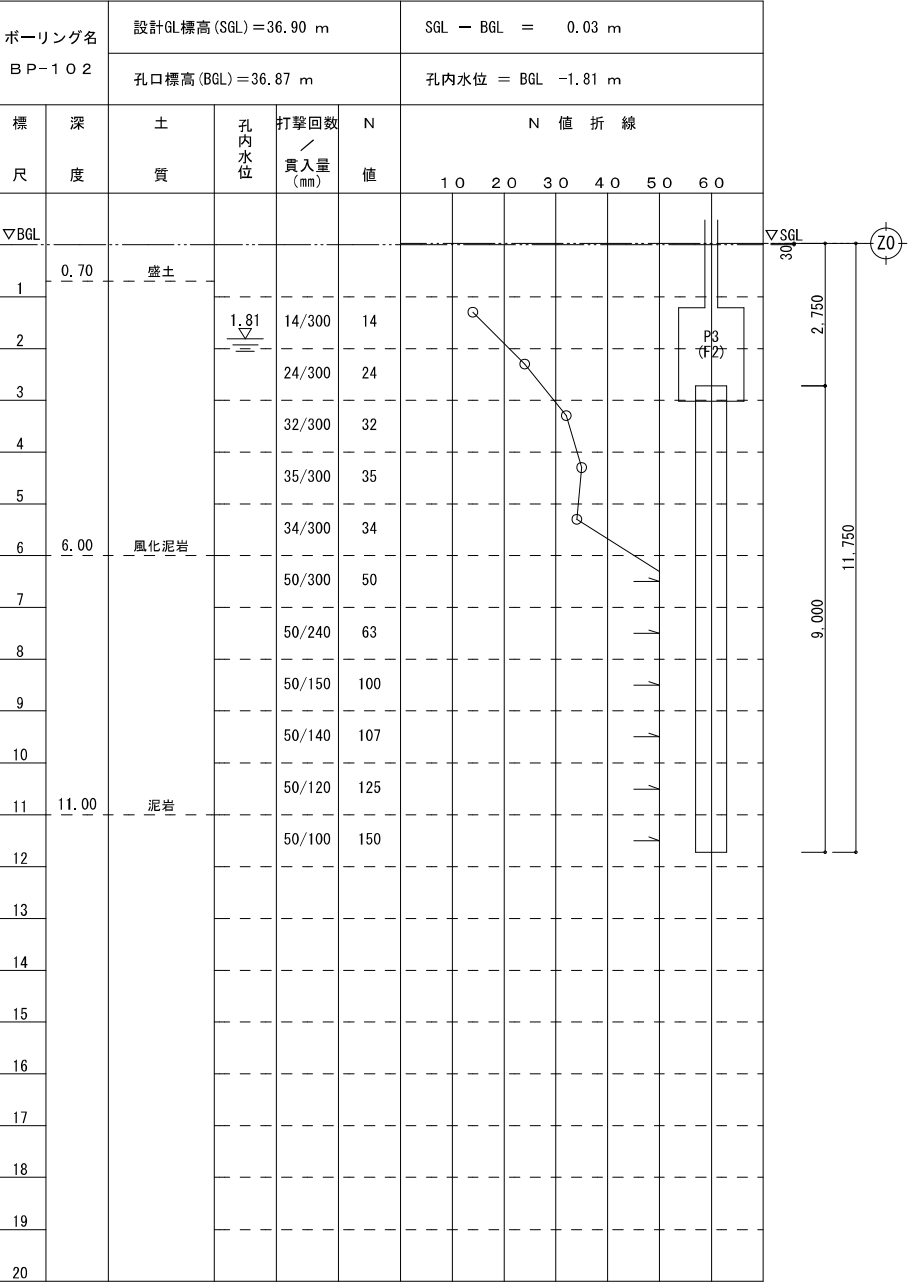
BP-R4-5



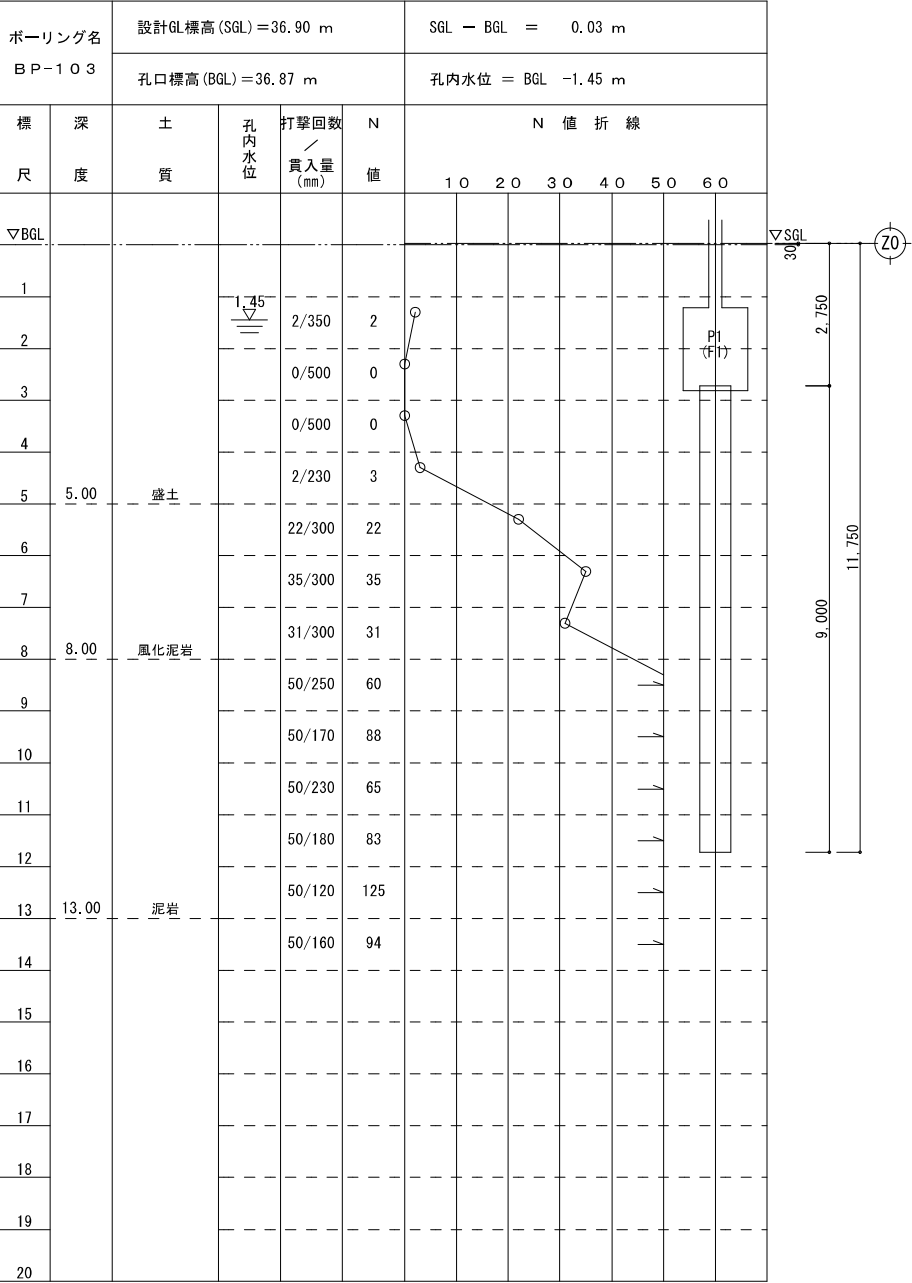
BP-101



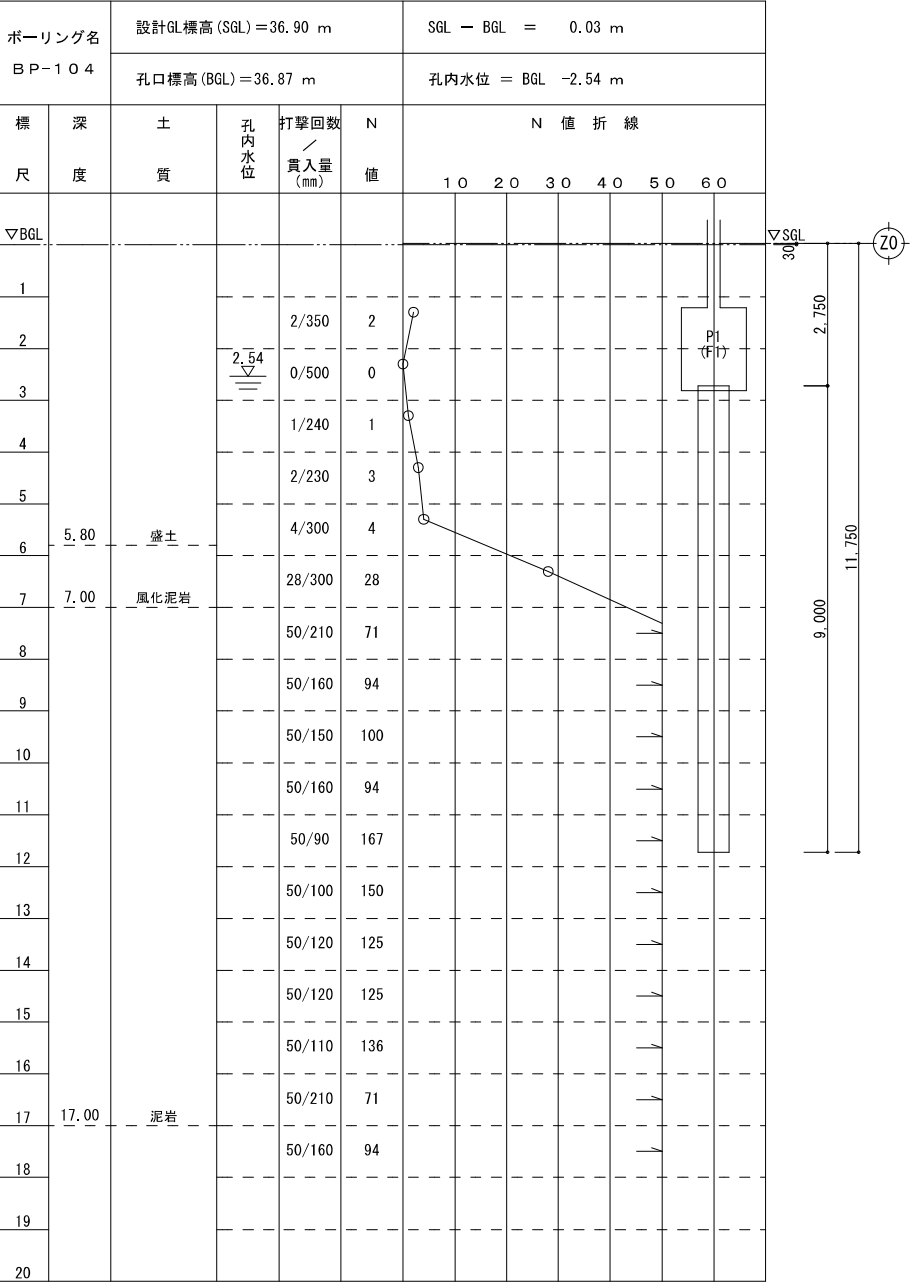
BP-102



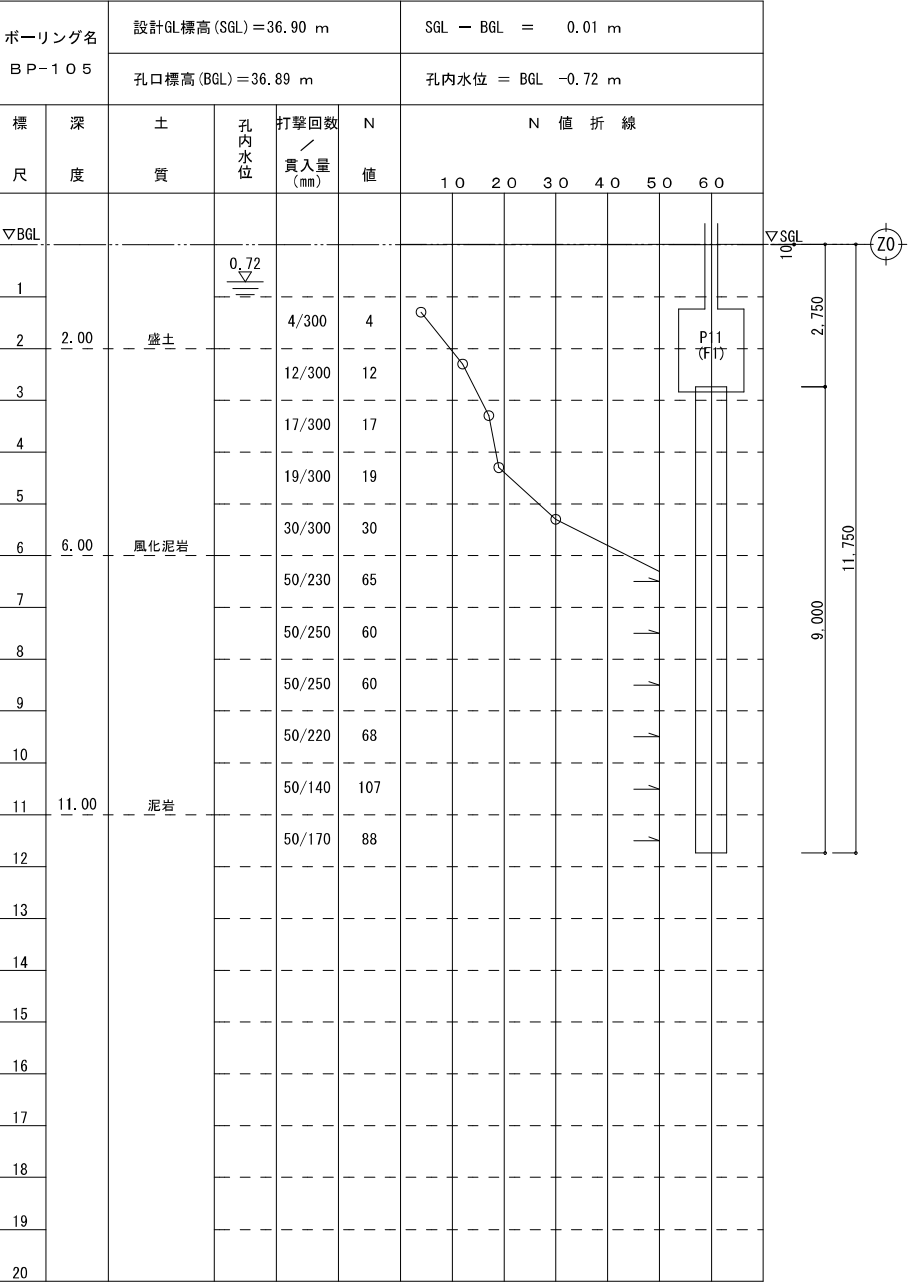
BP-103



BP-104

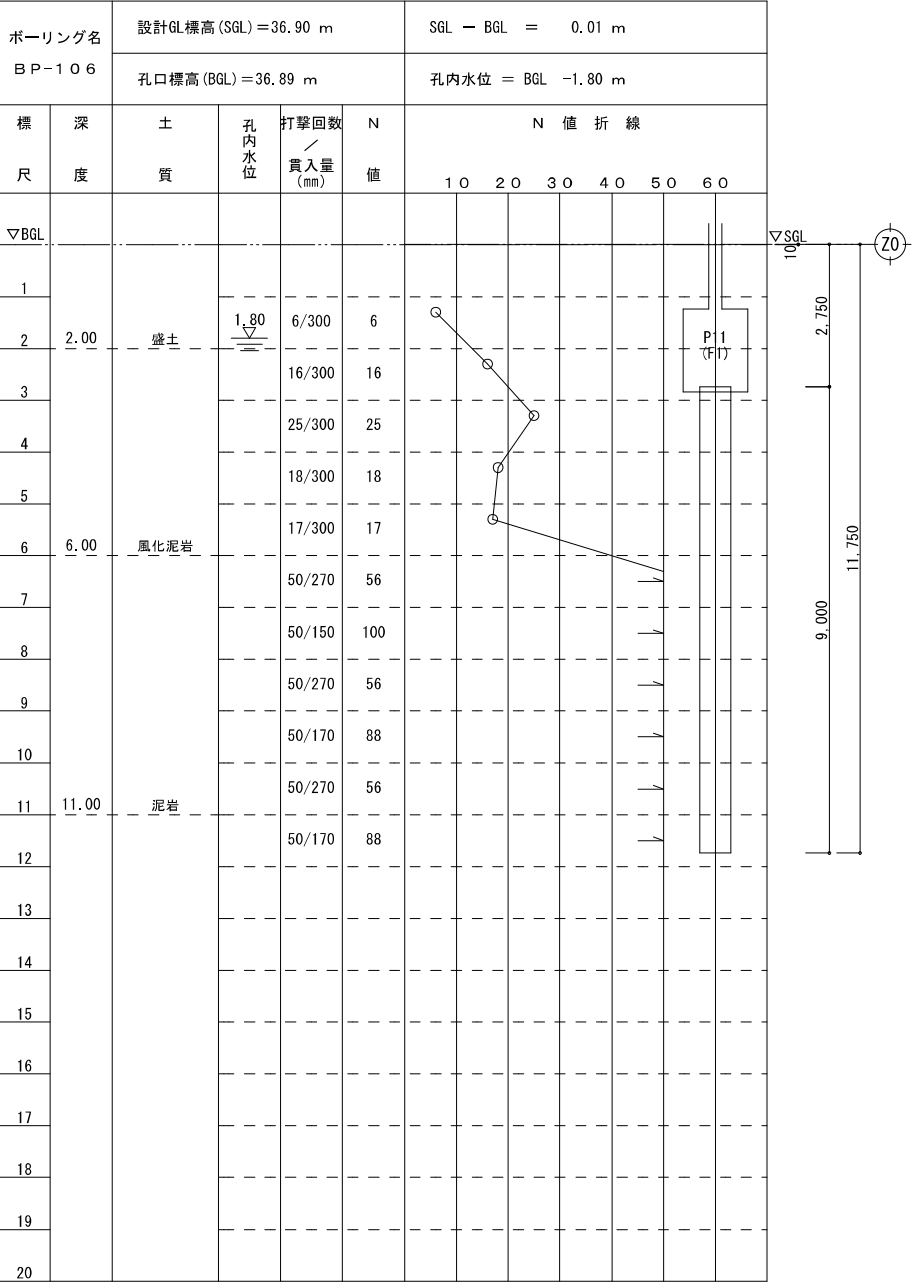


BP-105

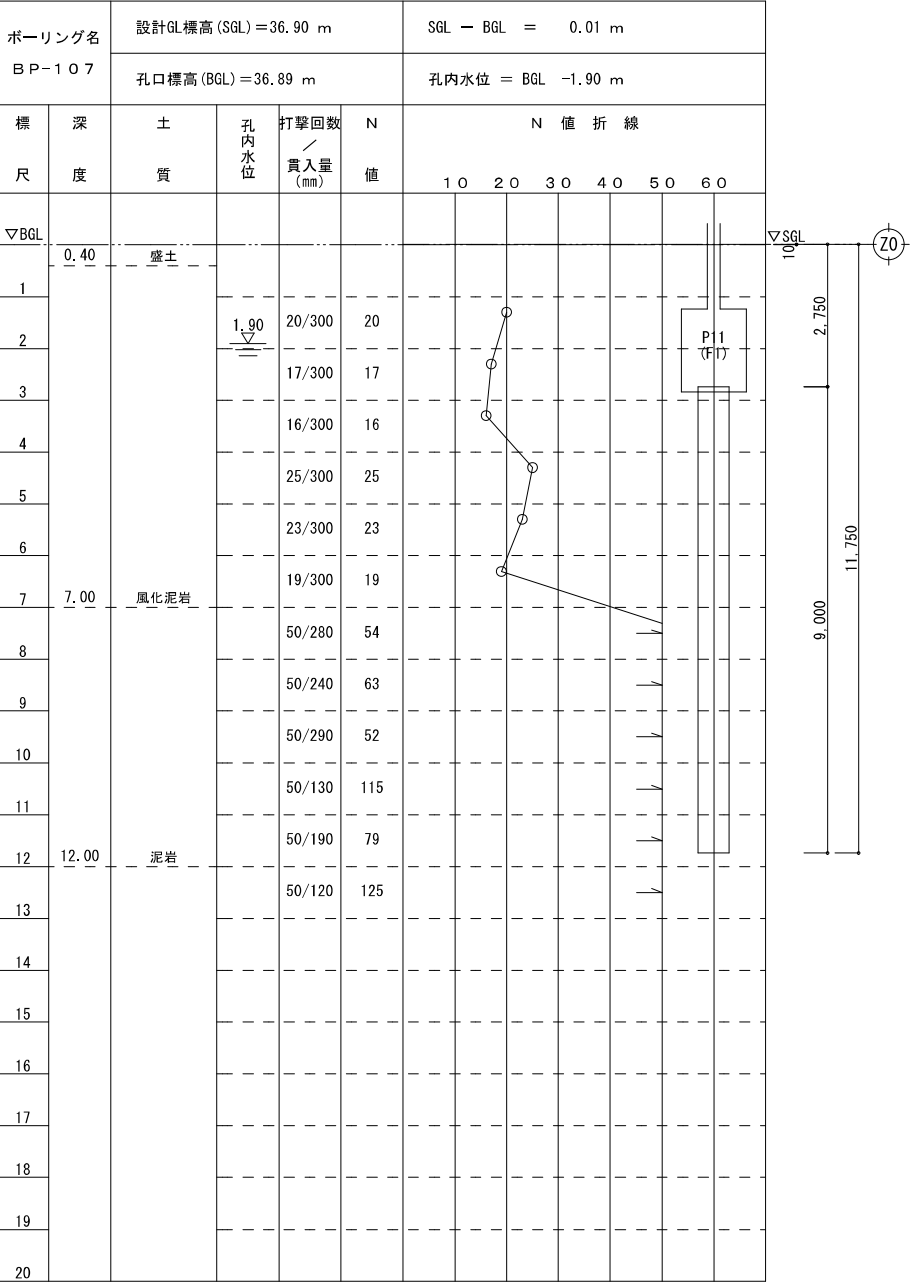


										構造担当	
										(有) 真建築設計事務所 一級建築士登録 第321669号 構造設計一級建築士登録第9073号 越野敬仁	
図面番号	工 事 名		図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎
S-9	島根県営住宅（松江市湊北台団地新1号棟）建設（建築）工事		ホ-リング柱状図(3)	1 : 100	R 6. 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	

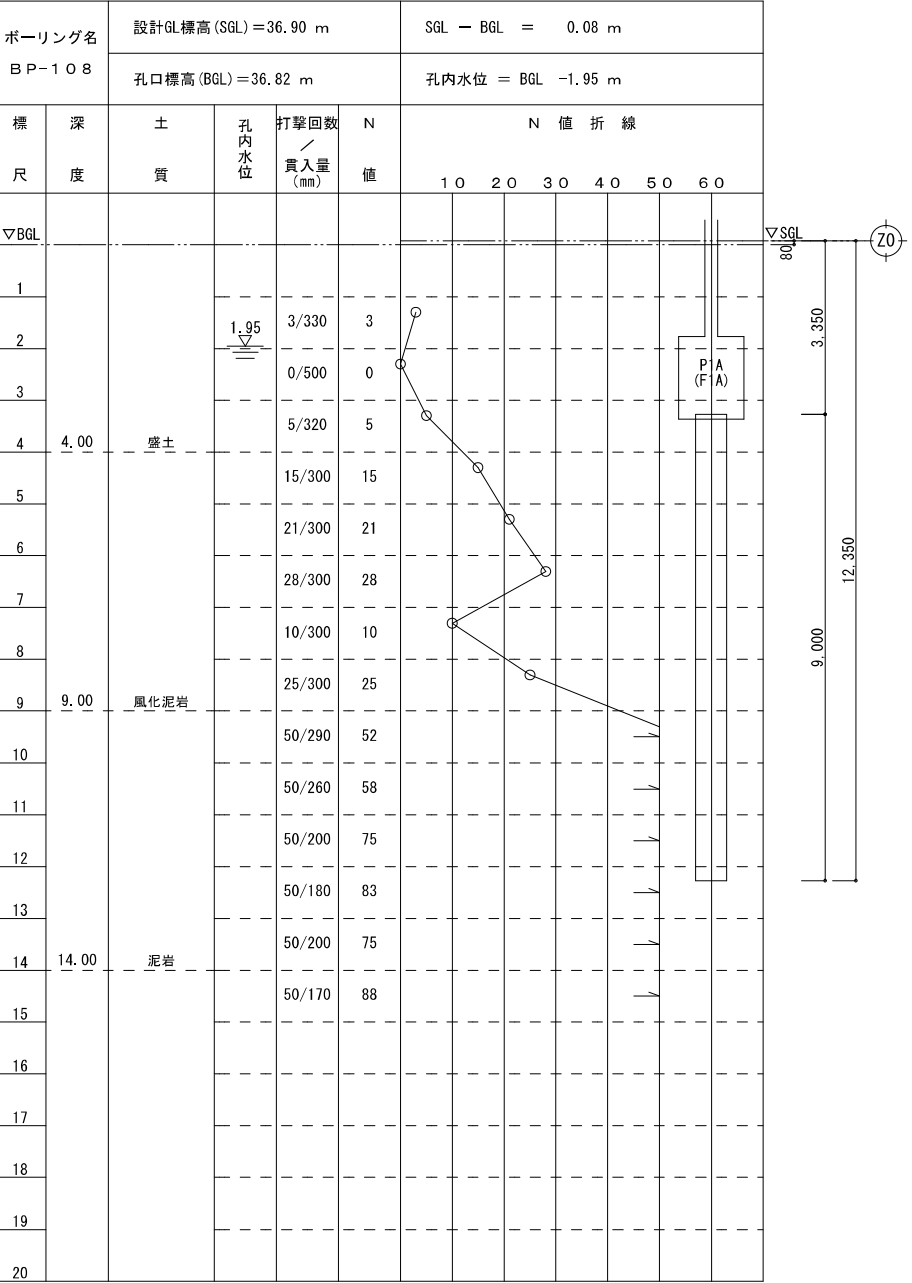
BP-106



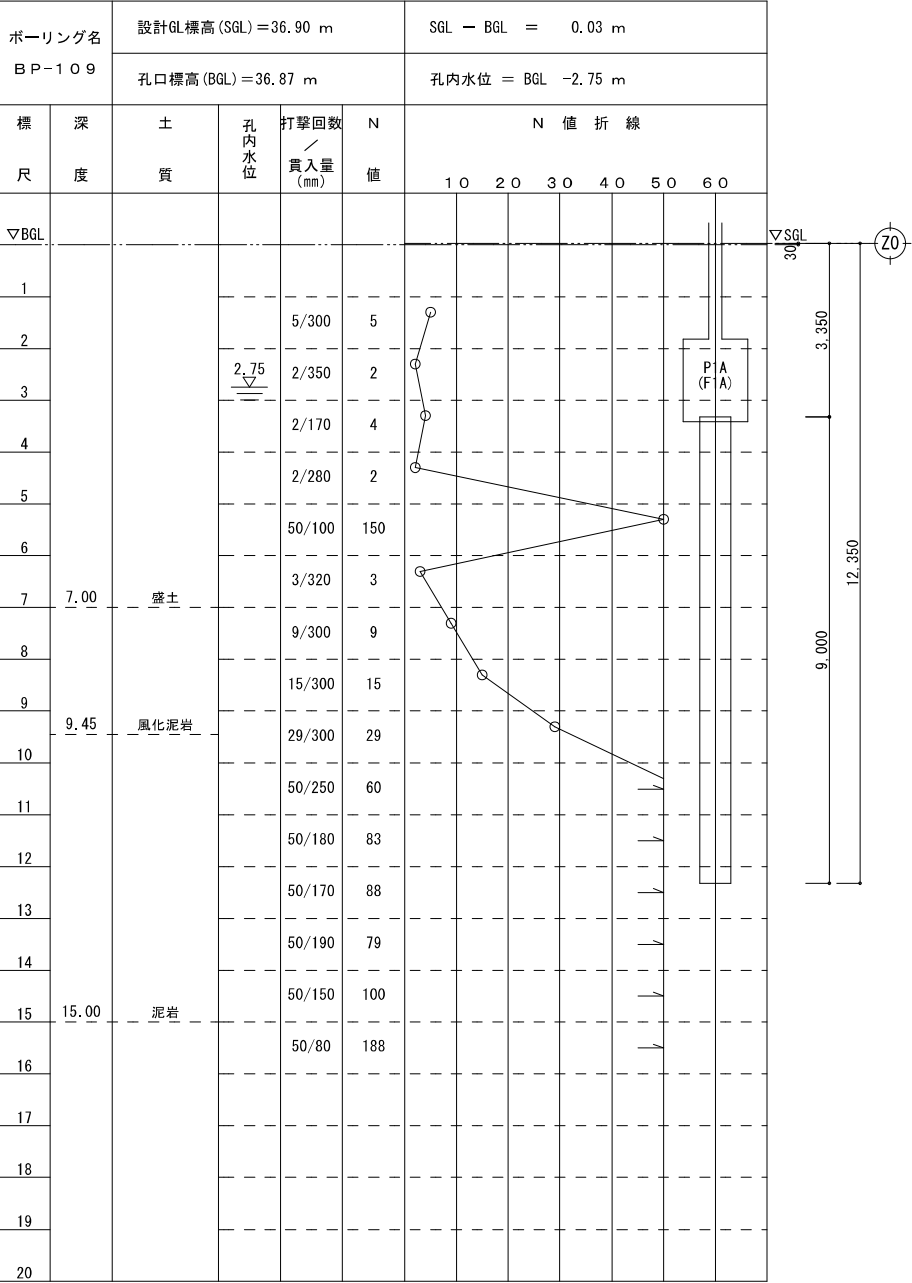
BP-107



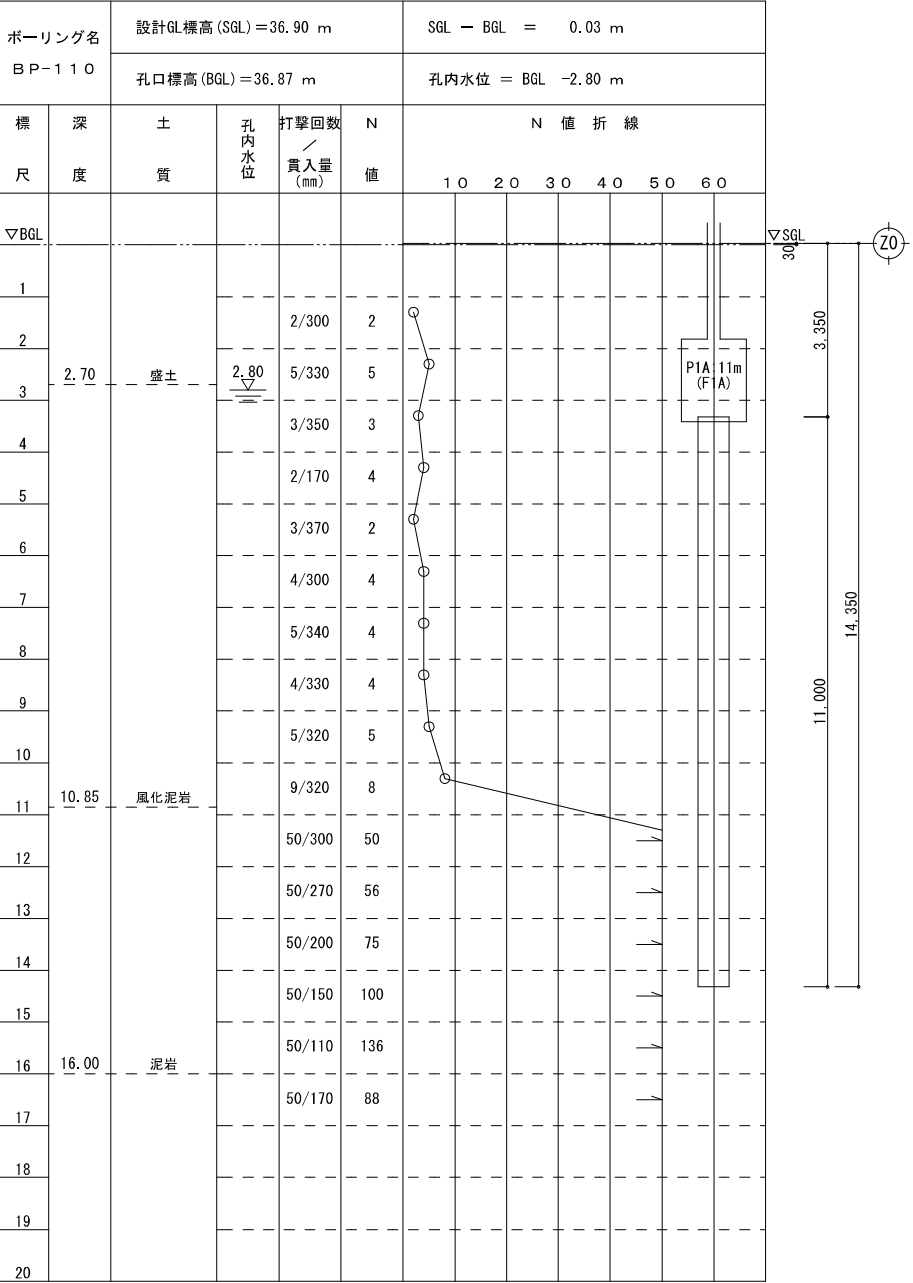
BP-108



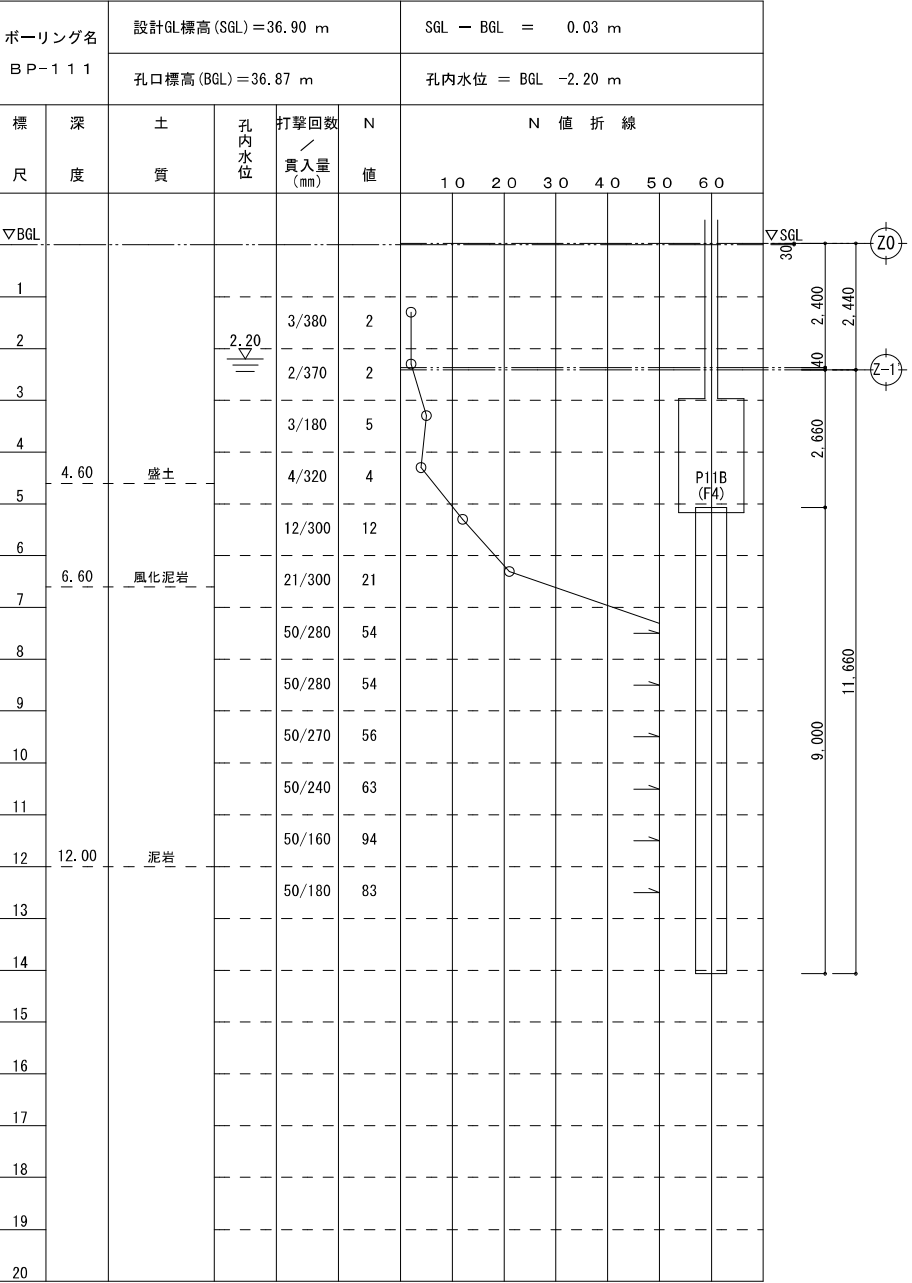
BP-109



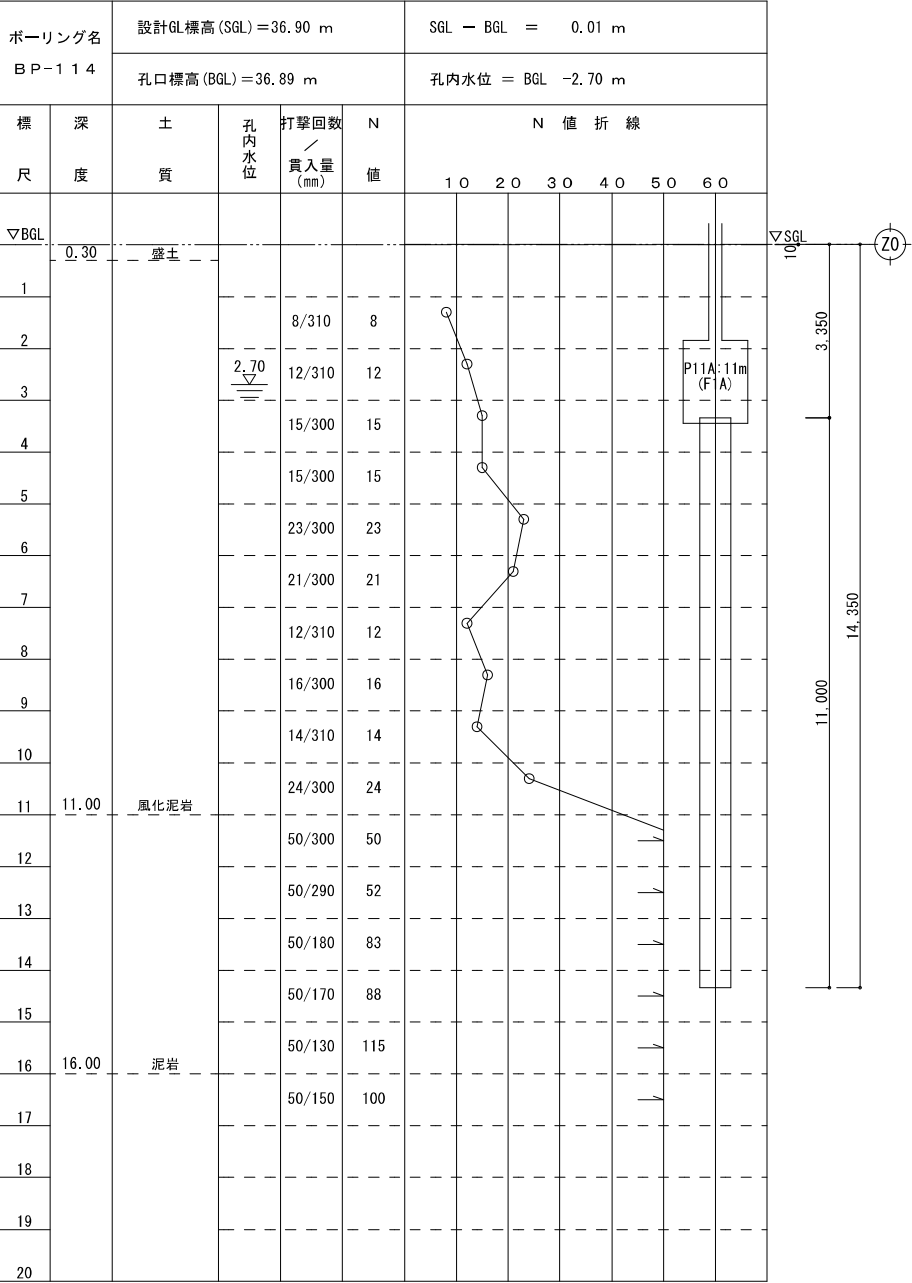
BP-110



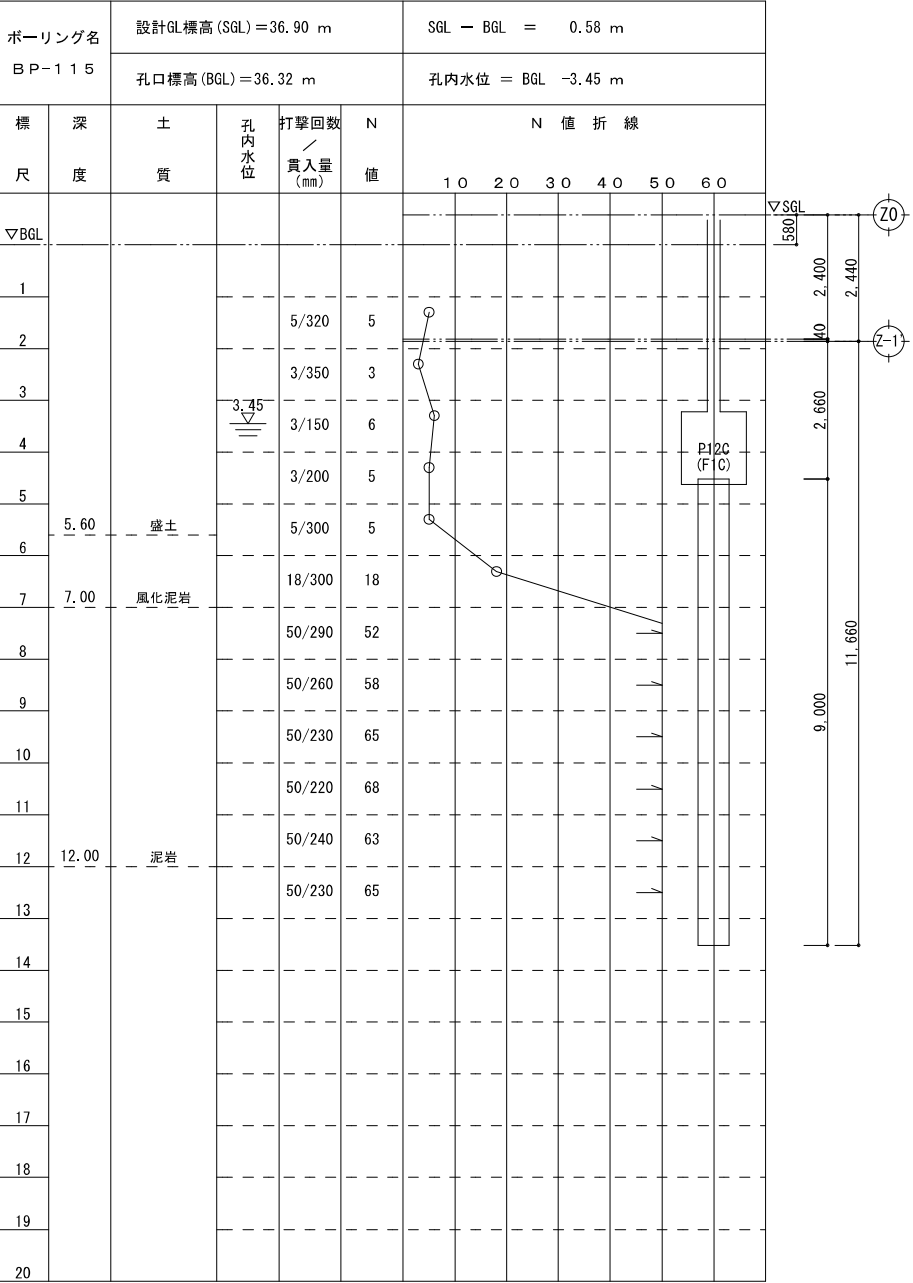
BP-111



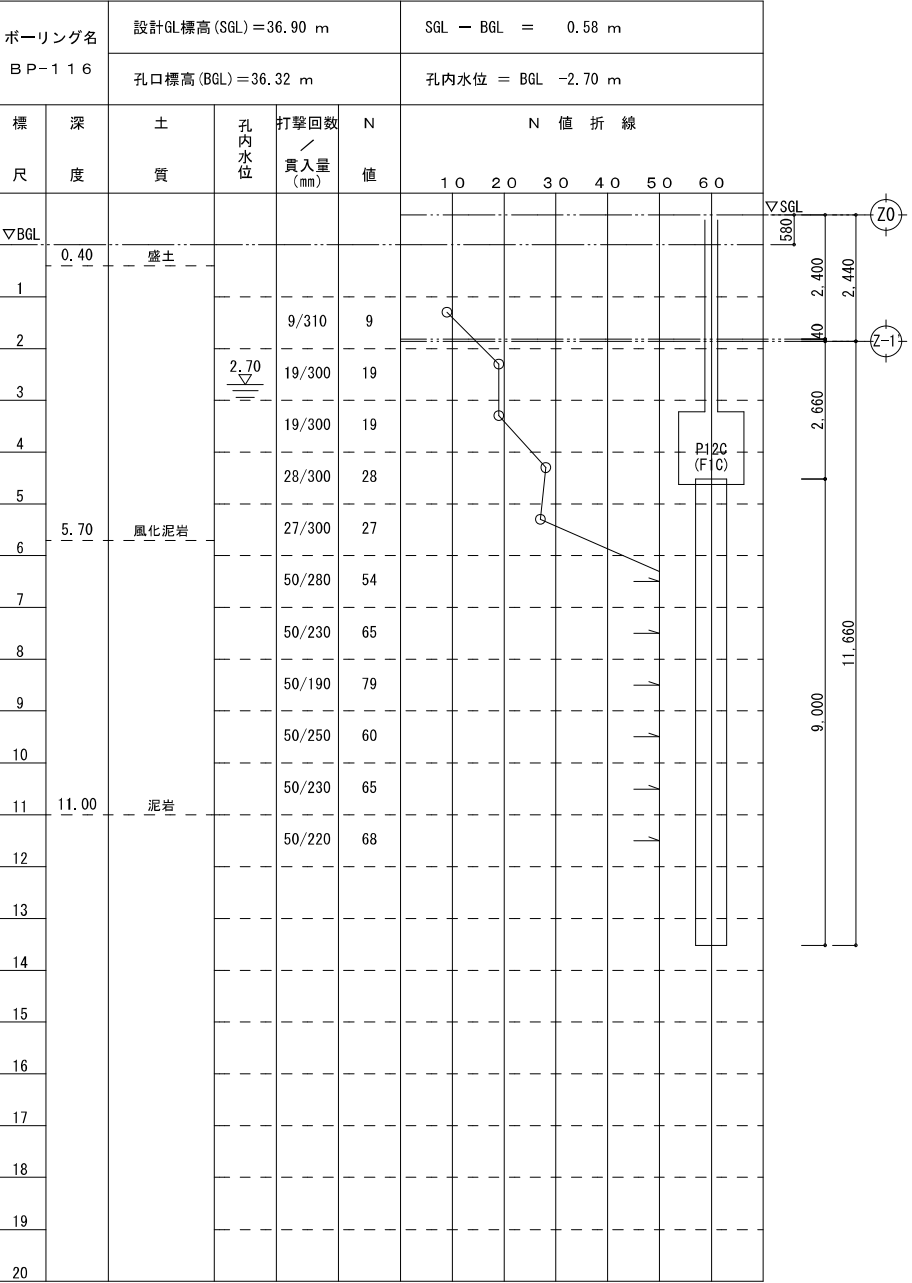
BP-114



BP-115



BP-116

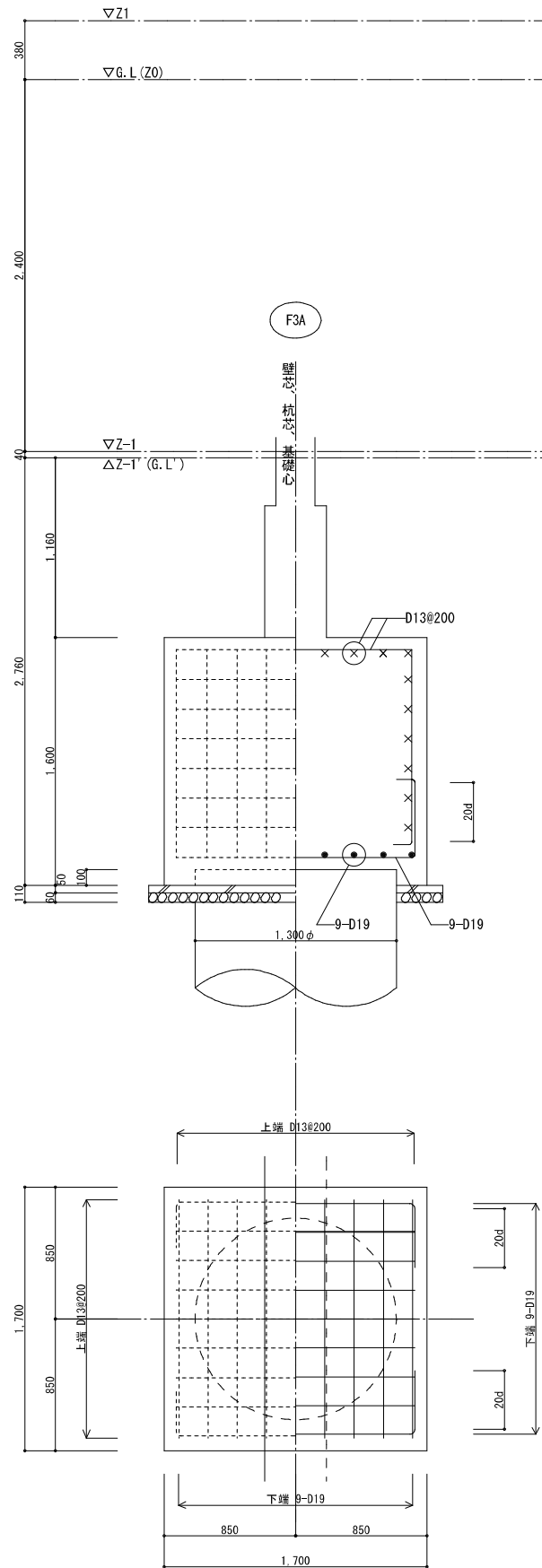
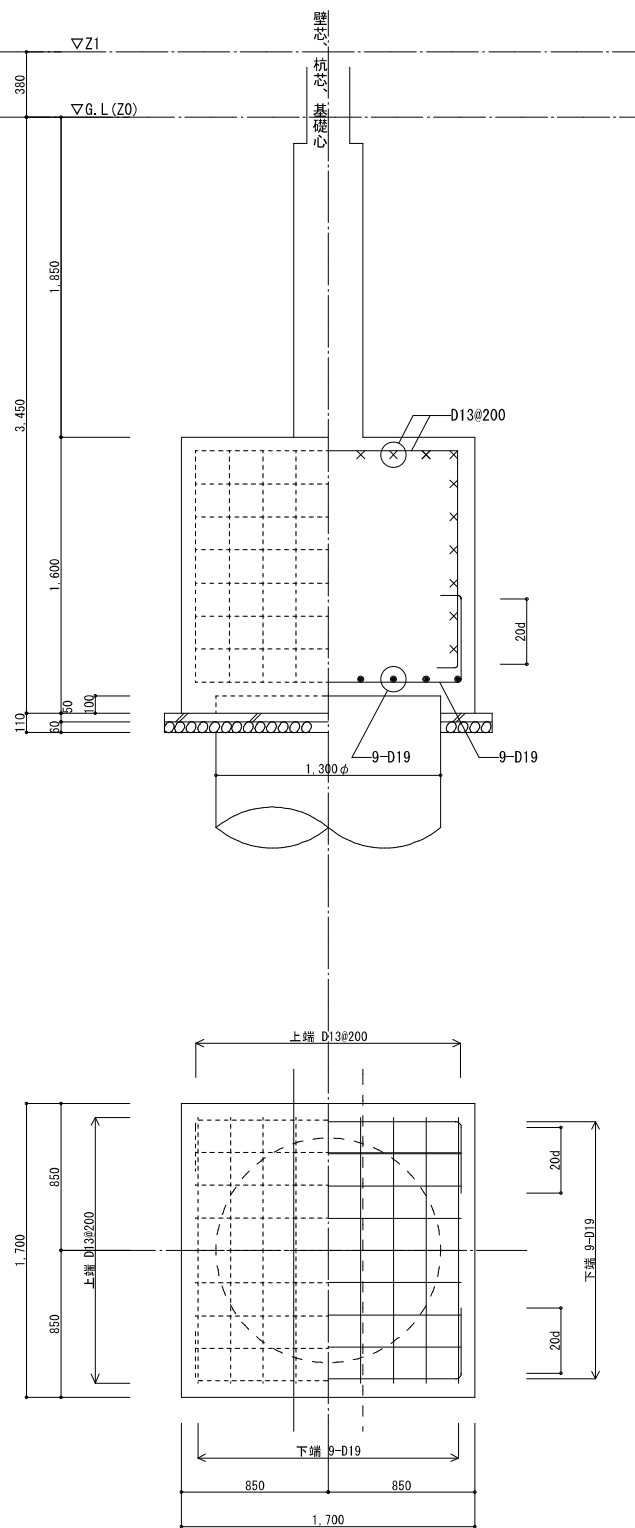
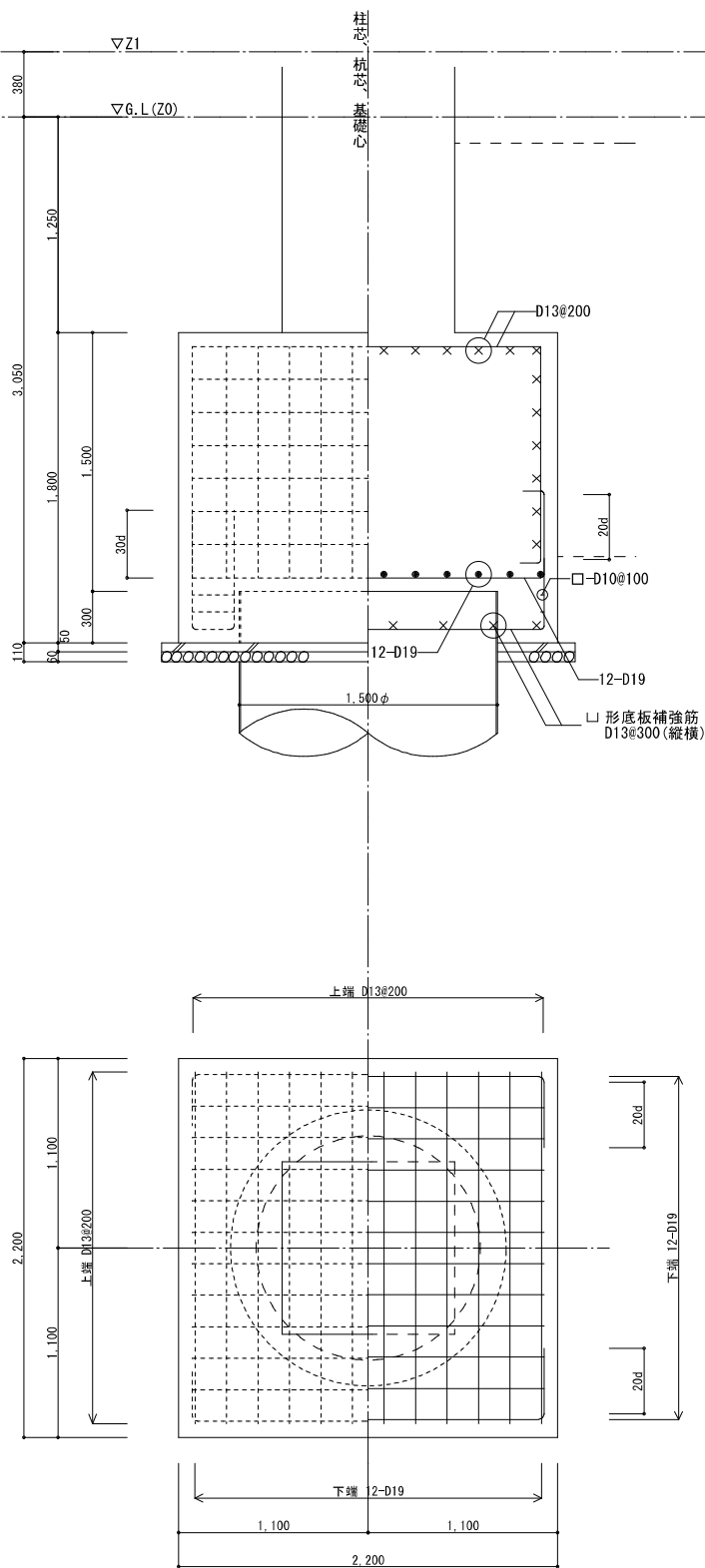
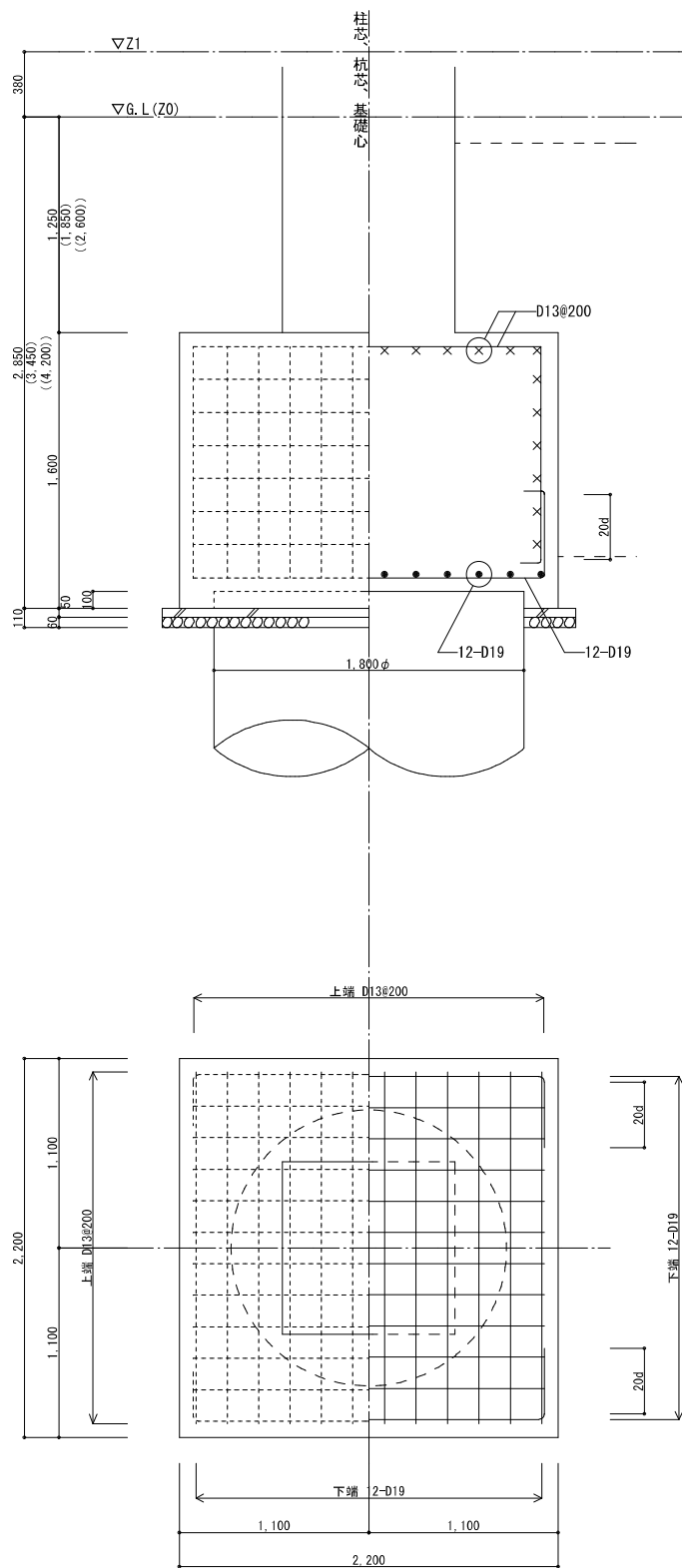


F1
F1A ()はF1Aを示す
F1AA (())はF1AAを示す

F2

F3

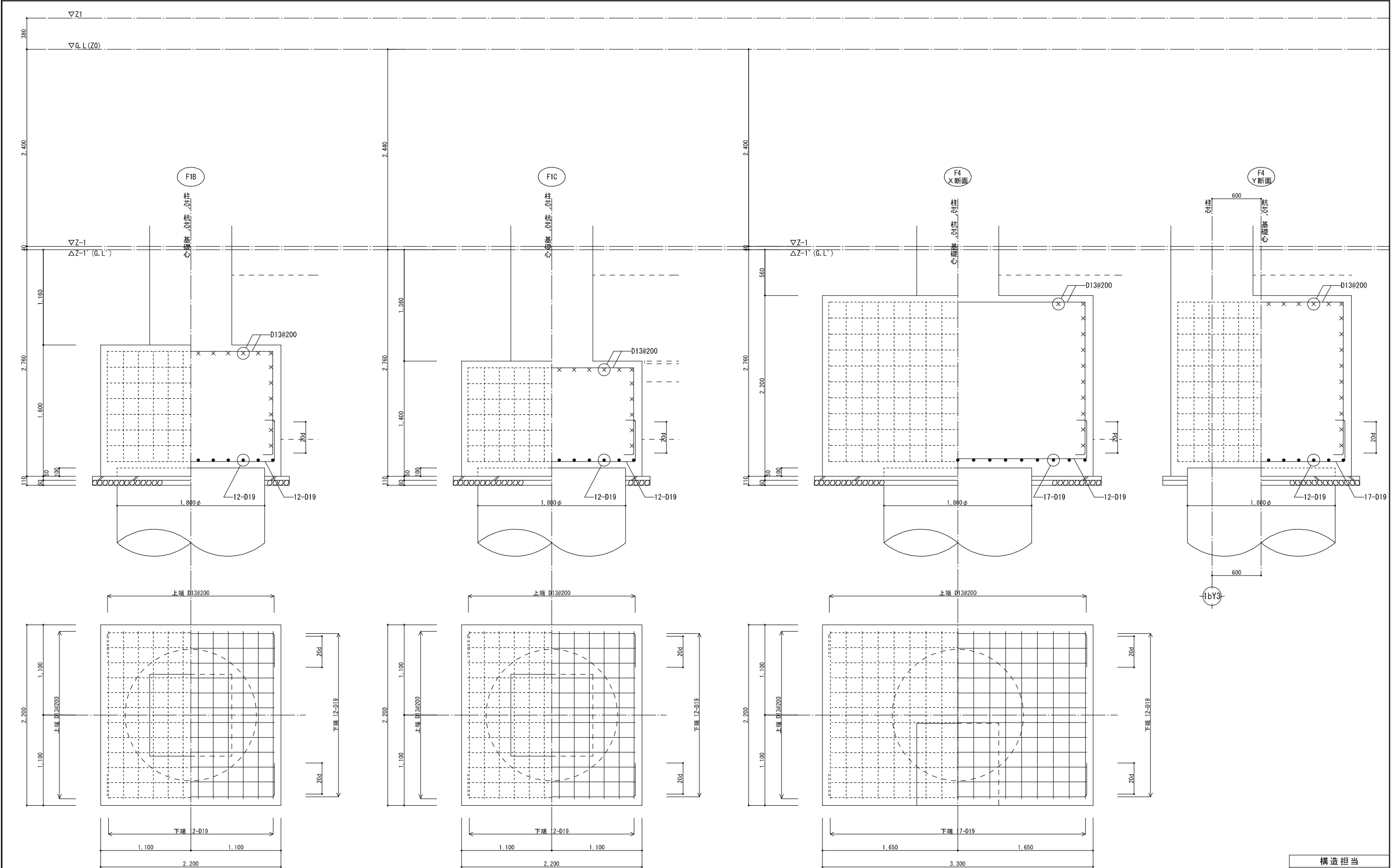
F3A



構造担当

(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

図 面 番 号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎
S-15	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	基礎リスト1	1：30	R6. 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	



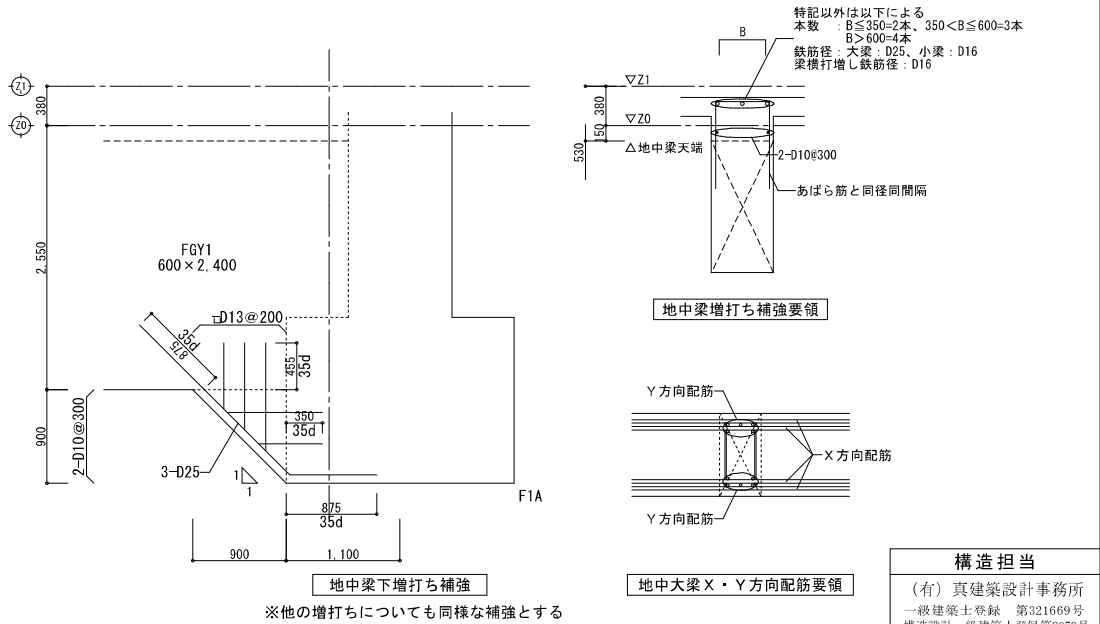
図面番号		工事名		図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号 有限会社 真建築設計事務所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋雄一郎	
S-16		島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事		基礎リスト2	1 : 3 0	R 6 . 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓		

地中大梁リスト 1:50 幅止め筋 D10@1,000以下
地業は捨コンクリート50mm、砕石60mm

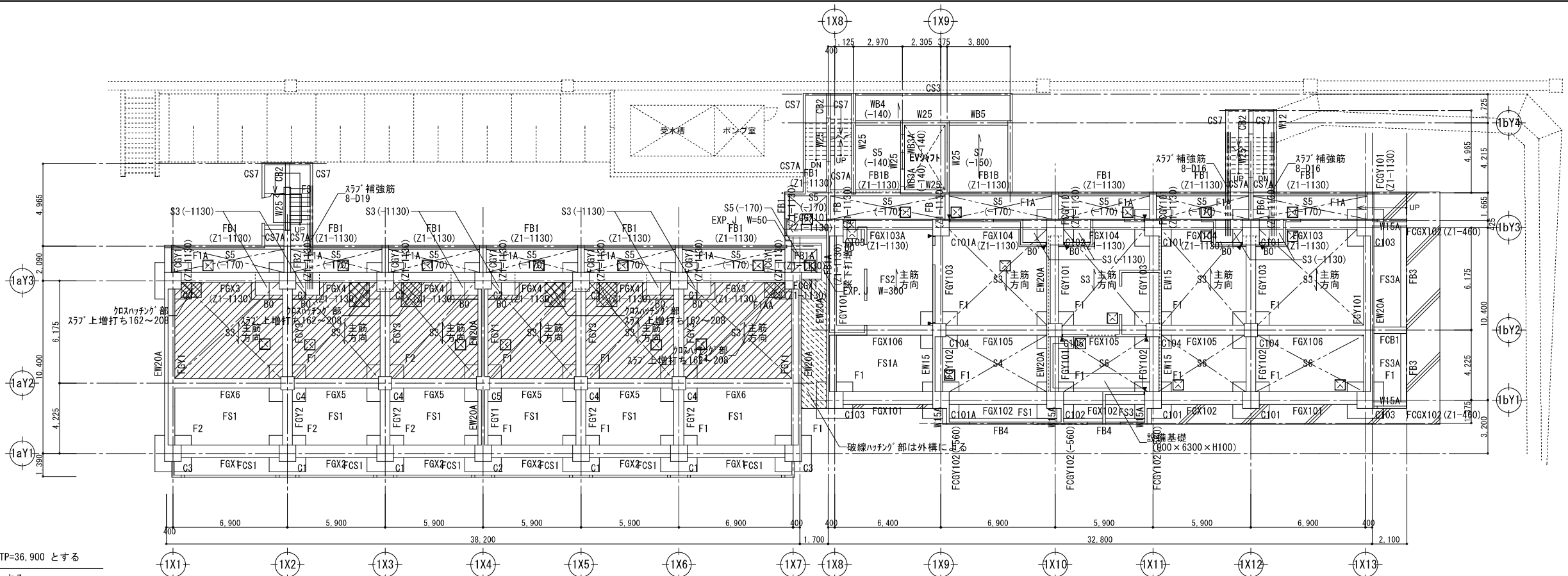
記 号	FGX1	FGX2	FGX3	FGX4	FGX5	FGX6		FGY1	FGY2	FGY3		FCGX1		FCGY1	
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面	全断面		全断面		全断面	
巾 × 成	750 × 2,400	750 × 2,400	600 × 2,400	600 × 2,400	600 × 2,400	600 × 2,400		600 × 2,400	600 × 2,400	600 × 2,400		400 × 2,000		400 × 2,000	
断 面															
上 端 筋	9-D35	6-D35	10-D35	5-D35	5-D35	5-D35		7-D35	9-D35	9-D35		4-D25		4-D25	
下 端 筋	9-D35	6-D35	10-D35	5-D35	4-D35	4-D35		6-D35	8-D35	8-D35		3-D25		3-D25	
S T P	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150		D13-□-@150	D13-□-@100	D13-□-@100		D13-□-@200		D13-□-@200	
腹 筋	12-D10	12-D10	12-D10	12-D10	12-D10	12-D10		12-D10	12-D10	12-D10		10-D10		10-D10	
記 号	FGX101	FGX102	FGX103、FGX103A	FGX104	FGX105	FGX106		FGY101	FGY102	FGY103		FCGX101	FCGX102	FCGY101	FCGY102
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面	全断面		全断面	全断面	全断面	全断面
巾 × 成	750 × 2,400	750 × 2,400	600 × 2,400(3,000)	600 × 2,400	600 × 2,400	600 × 2,400		600 × 2,400	600 × 2,400	600 × 2,400		400 × 800	400 × 1,100	400 × 2,000	400 × 1,100
断 面															
上 端 筋	9-D35	6-D35	10-D35	7-D35	5-D35	5-D35		7-D35	9-D35	9-D35		5-D25	4-D25	4-D25	5-D25
下 端 筋	9-D35	6-D35	10-D35	5-D35	4-D35	4-D35		6-D35	8-D35	8-D35		3-D25	3-D25	3-D25	3-D25
S T P	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150		D13-□-@150	D13-□-@100	D13-□-@100		D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200
腹 筋	12-D10	12-D10	12-D10 (16-D10)	12-D10	12-D10	12-D10		12-D10	12-D10	12-D10		10-D10	4-D10	10-D10	4-D10

地中小梁リスト 1:50 幅止め筋 D10@1,000以下
地業は捨コンクリート50mm、砕石60mm

記 号	FB1	FB1A	FB1B、FB	FB2	FB3	FB4	FB5	FB6	FCB1	FCB2	B0、B0'
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
巾 × 成	250 × 2,000	250 × 800	250 × 2,000	400 × 2,000	350 × 700	350 × 900	500 × 2,000	250 × 2,400~4,000	400 × 1,000	500 × 2,000	250 × 1,110(1,250)
断 面											
上 端 筋	3-D19	3-D19	4-D29	5-D35	3-D22	4-D22	8-D35	4-D29	8-D22	5-D35	2-D19
下 端 筋	3-D19	2-D19	4-D29	5-D35	3-D22	3-D22	8-D35	4-D29	3-D22	4-D35	4-D19
S T P	D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@150	D13-□-@100	D10-□-@200	D10-□-@200	D13-□-@100	D10-□-@150	D10-□-@150	D13-□-@200	D10-□-@200
腹 筋	10-D10	2-D10	10-D10	10-D10	2-D10	4-D10	10-D10	12~20-D10	4-D10	10-D10	2-D10



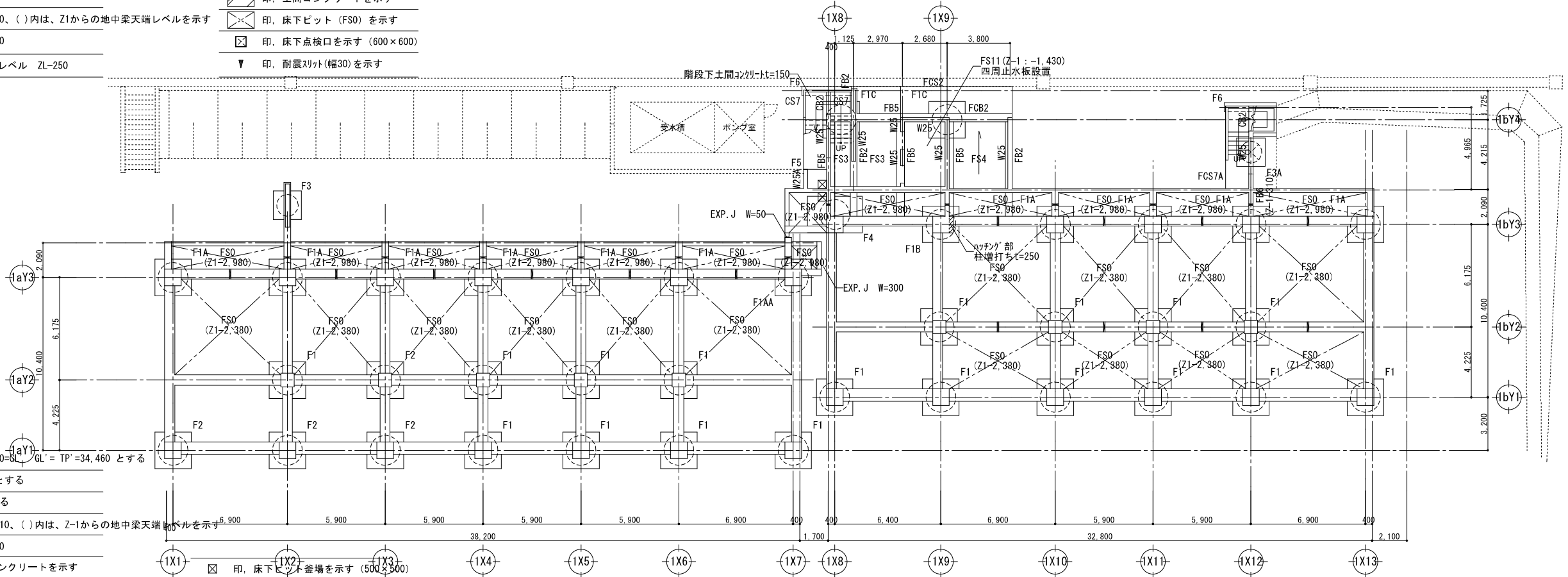
図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課	一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎
S-17	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	地中梁リスト	1 : 5 0	R 6 . 3				設 計 者 一級建築士登録第315752号 松 田 啓	



Z-1階柱・壁、基礎伏図 1:200

※設計GL (Z0) は、TP=36,900 とする
特記なき限り下記とする
壁符号は W15 とする
地中梁天端 Z1-530、()内は、Z1からの地中梁天端レベルを示す
スラブ天端 Z1-110
印、スラブレベル ZL-250

印、土間コンクリートを示す
印、床下ビット (FS0) を示す
印、床下点検口を示す (600×600)
印、耐震スリット(幅30)を示す

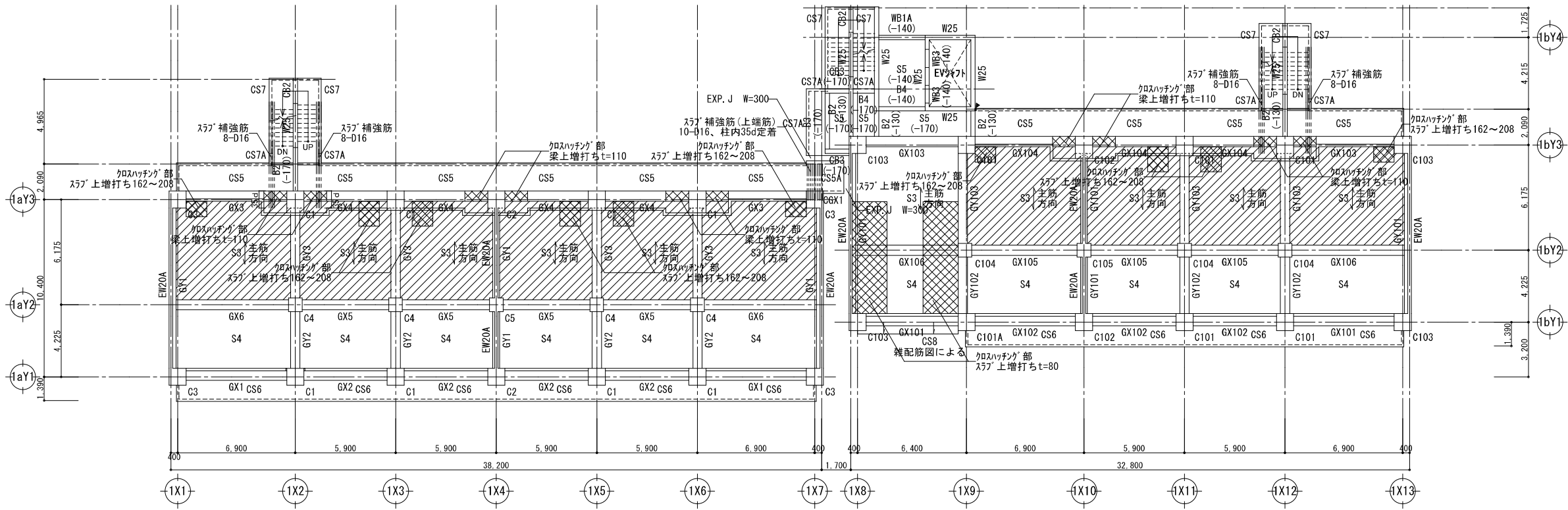


Z-1階基礎伏図 1:200

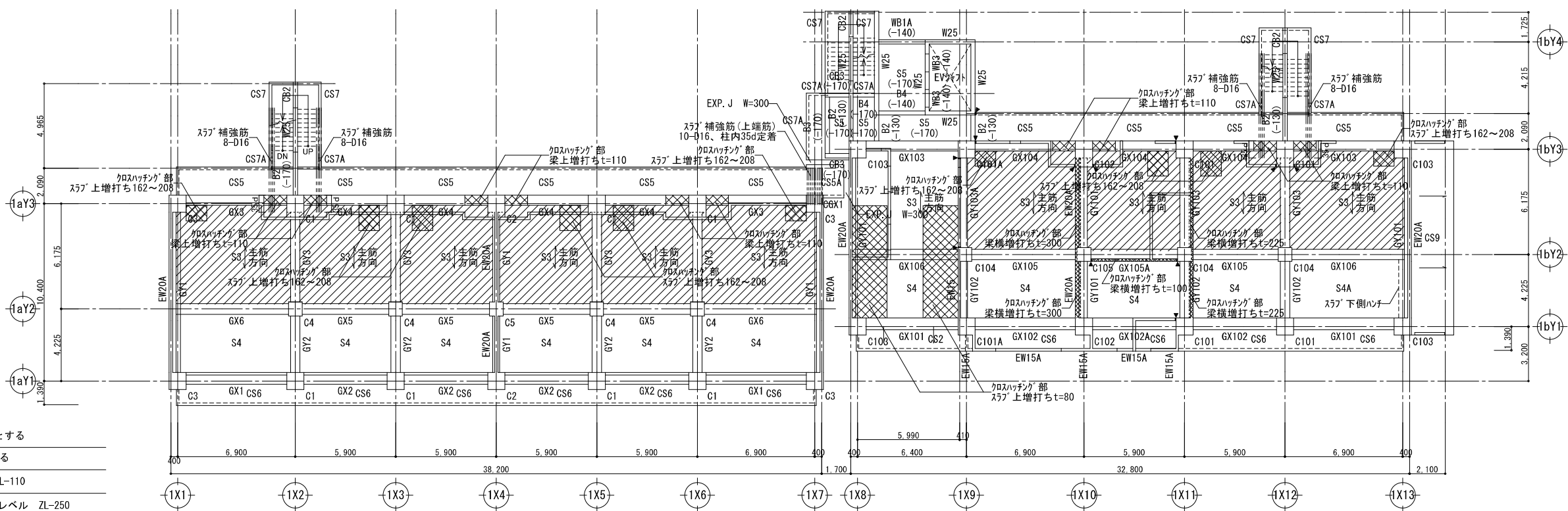
設計GL (Z0) = 2,440 mm、GL = TP = 34,460 とする
特記なき限り下記とする
壁符号は W15 とする
地中梁天端 Z-1-310、()内は、Z-1からの地中梁天端レベルを示す
スラブ天端 Z-1-60
印、土間コンクリートを示す
印、床下ビット (FS0) を示す
印、床下ビット梁貫通水パイプ (VP50) を示す
印、耐震スリット(幅30)を示す

構造担当
(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敦仁

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課	一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋雄一郎
S-18	島根県営住宅(松江市浜北台団地新1号棟)建設(建築)工事	Z-1階基礎伏図 Z-1階柱・壁、Z-1階基礎伏図	1:200	R6.3				設 計 者 一級建築士登録第315752号 松田 啓	



2階柱・壁、3階梁・床伏図 1：200

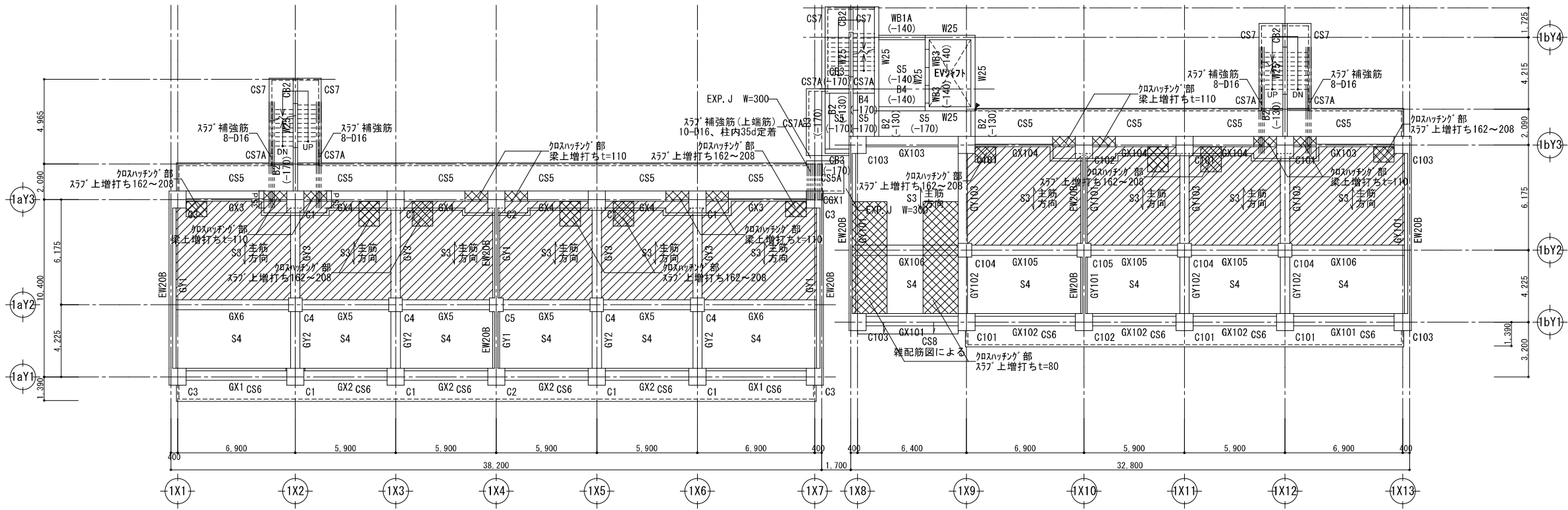


1階柱・壁、2階梁・床伏図 1：200

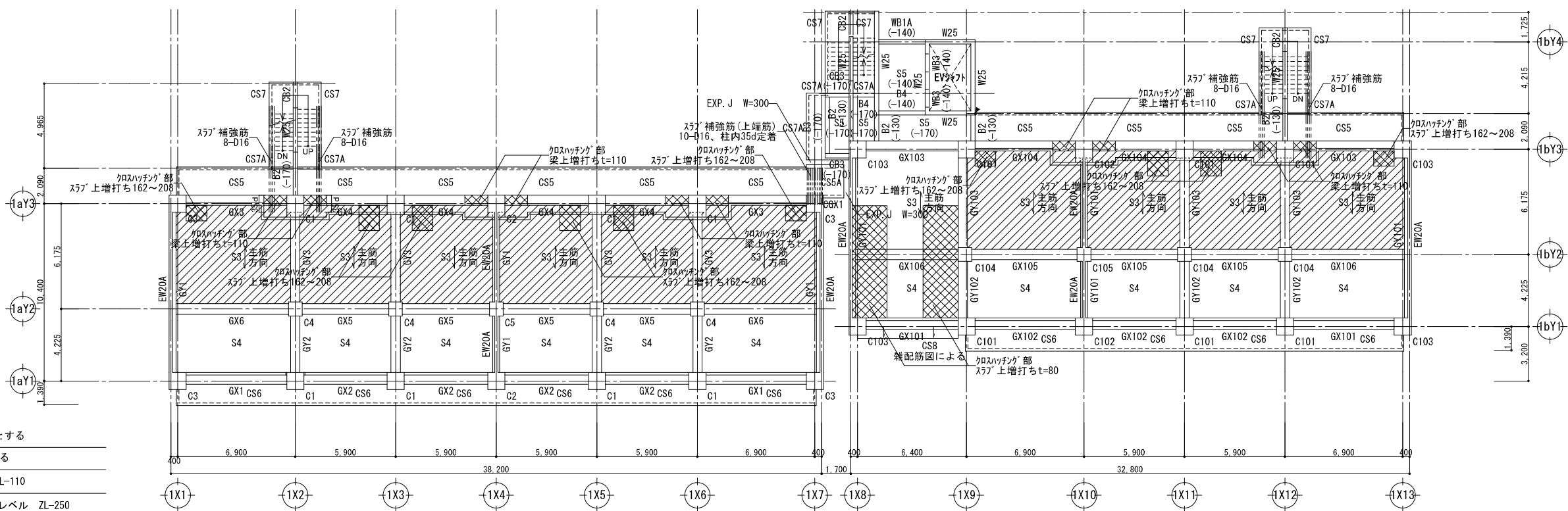
特記なき限り下記とする
壁符号は W15 とする
梁・スラブ天端 ZL-110
印、スラブレベル ZL-250
▼ 印、耐震スリット(幅30)を示す

構造担当
(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市権賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋雄一郎
S-19	島根県営住宅(松江市北台団地新1号棟)建設(建築)工事	1階柱壁・2階梁床伏図 2階柱壁・3階梁床伏図	1：200	R6.3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	



4階柱・壁、5階梁・床伏図 1：200

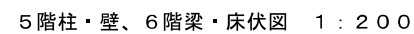
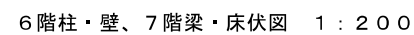


3階柱・壁、4階梁・床伏図 1：200

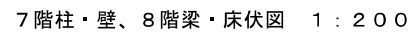
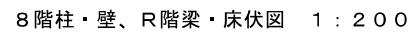
特記なき限り下記とする
壁符号は W15 とする
梁・スラブ天端 ZL-110
印、スラブレベル ZL-250
▼ 印、耐震スリット(幅30)を示す

構造担当
(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号	
S-20	島根県営住宅（松江市瀬北台団地新1号棟）建設（建築）工事	3階柱壁・4階梁床伏図	1：200	R6. 3				設計者		（有）真建築設計事務所	
		4階柱壁・5階梁床伏図						一級建築士登録第315752号 松田 啓		島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋 雄一郎	



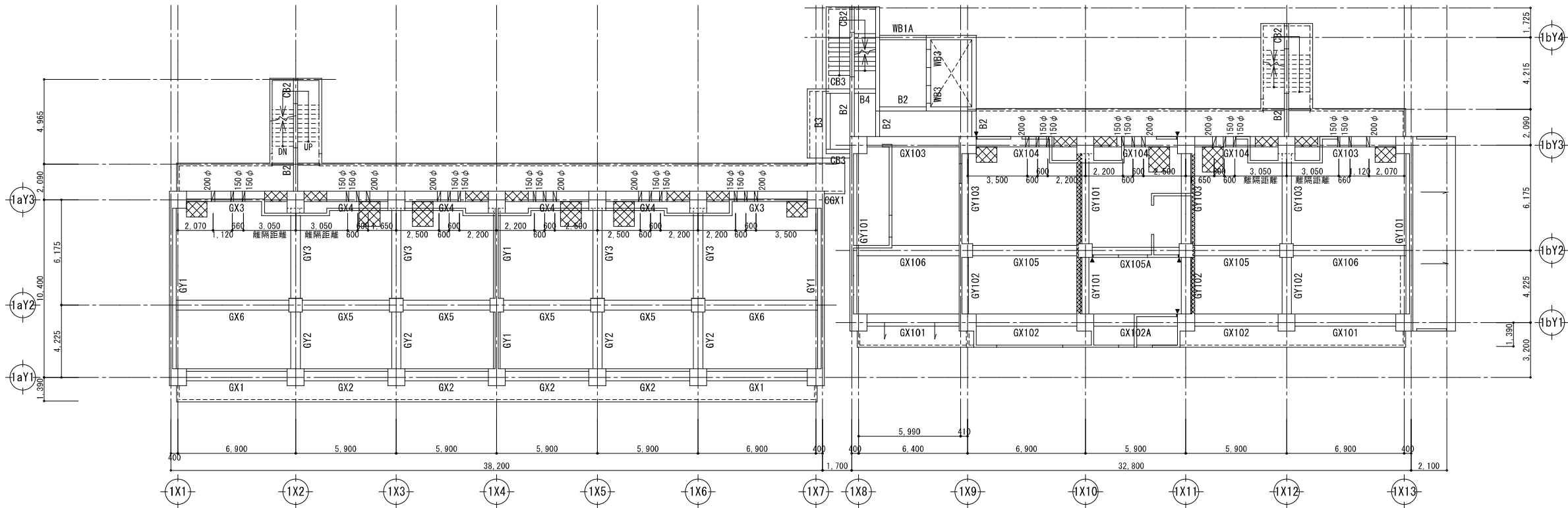
図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎
S-21	島根県営住宅（松江市湊北台団地新1号棟）建設（建築）工事	5階柱壁・6階梁床伏図 6階柱壁・7階梁床伏図	1：200	R 6. 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	



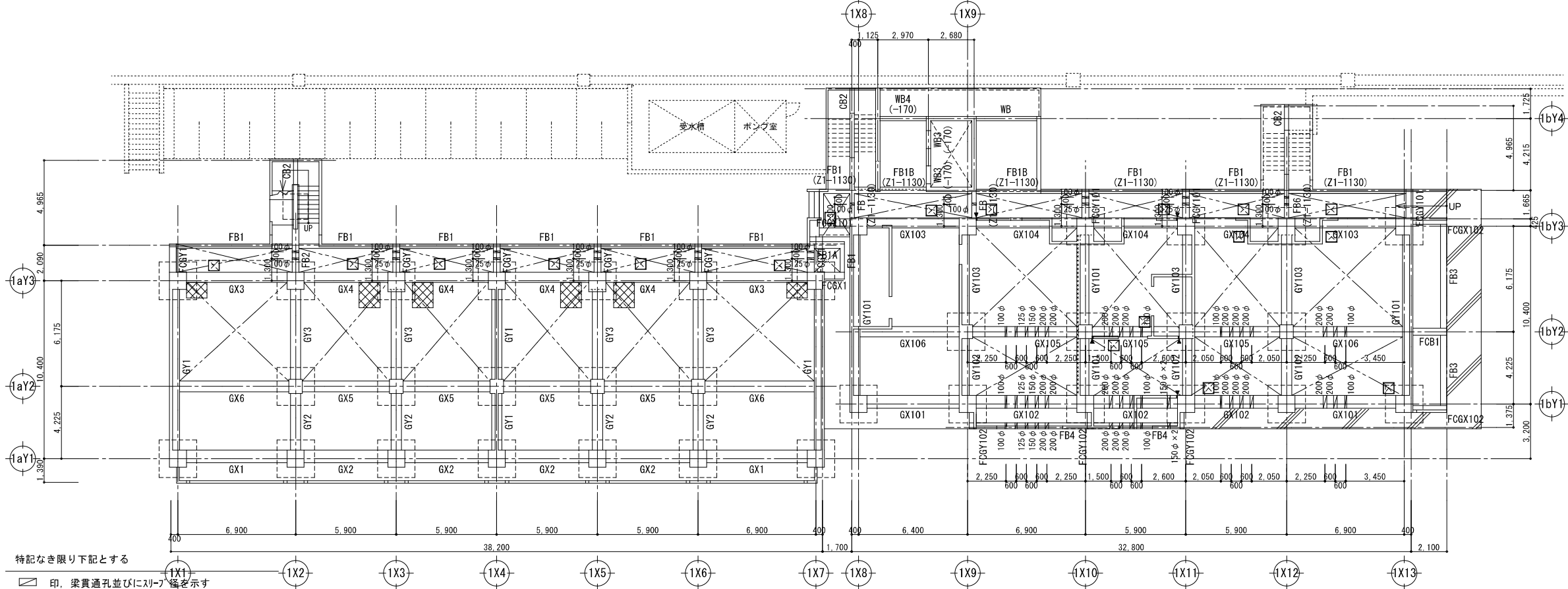
特記なき限り下記とする
壁符号は W15 とする
梁・スラブ天端 ZL-110
 印、スラブレベル ZL-250
▼ 印、耐震スリット(幅30)を示す

構造担当
(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎
S-22	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	7階柱壁・8階梁床伏図 8階柱壁・R階梁床伏図	1：200	R 6. 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	



1階柱・壁、2階梁・床伏図 1：200



Z-1階柱・壁、基礎伏図 1：200

特記なき限り下記とする

印、梁貫通孔並びにスリブ等を示す

※屋外階段等からの離隔距離は、意匠図を確認する事

梁貫通補強リスト ※梁貫通補強はダイヤレンNS同等品とする				
西 棟				
【梁符号】 (孔際STP) RecNo(ダイヤレンNS)	100φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	125φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	150φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	200φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数
【GX3】			2-4-D13 1-2R-2 4	2-4-D13 1-2R-2 2
【GX4】			2-4-D13 1-2R-2 8	2-4-D13 1-2R-2 4

東 棟				
【梁符号】 (孔際STP) RecNo(ダイヤレンNS)	100φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	125φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	150φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	200φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数
【GX103】			2-4-D13 1-2R-2 1	2-4-D13 1-2R-2 1
【GX104】			2-4-D13 1-2R-2 6	2-4-D13 1-2R-2 3

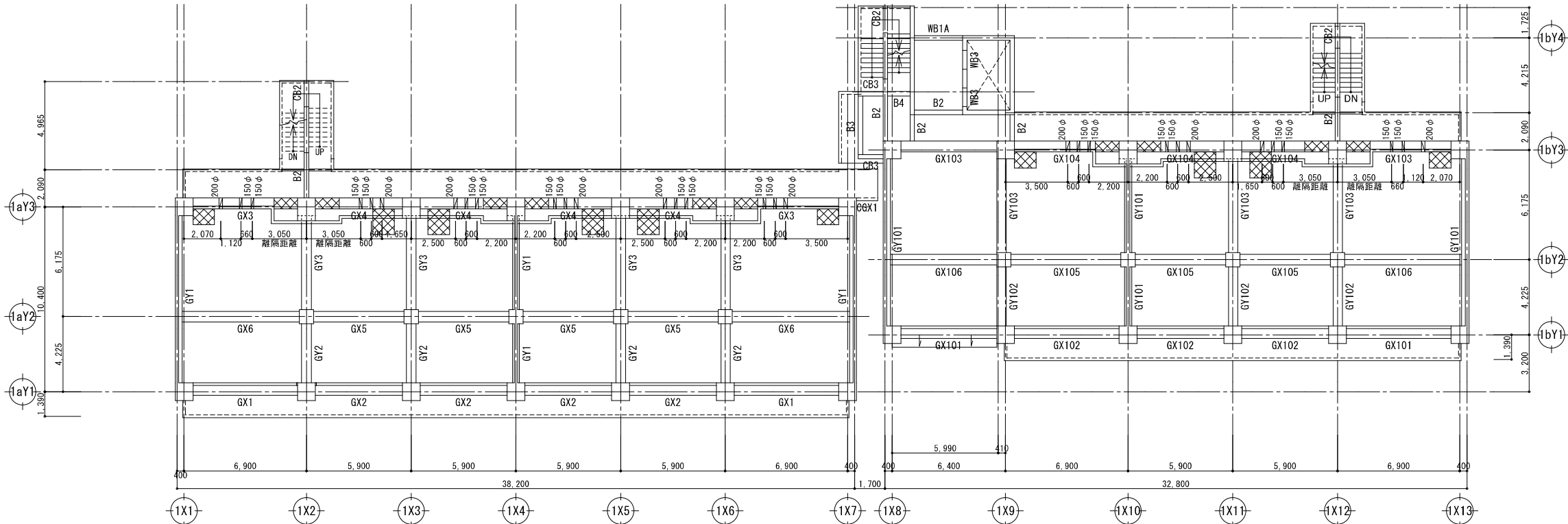
梁貫通補強リスト ※梁貫通補強はダイヤレンNS同等品とする				
西 棟				
【梁符号】 (孔際STP) RecNo(ダイヤレンNS)	100φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	125φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	150φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	200φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数
【FCGY1】	1-2-D13 1-2R-2 5	1-2-D13 1-2R-2 5		
【FB2】	1-3-D13 V-2R-3 2			

東 棟				
【梁符号】 (孔際STP) RecNo(ダイヤレンNS)	100φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	125φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	150φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	200φ 組-本数-径 型-R-枚数 箇所数
【FCGY101】	1-2-D13 1-2R-2 2	1-2-D13 1-2R-2 2		
【FGX101】	1-4-D13 1-2R-2 1			2-4-D13 1-2R-2 2
【FGX102】	1-2-D13 1-2R-2 3	1-2-D13 1-2R-2 1	2-2-D13 1-2R-2 3	2-2-D13 1-2R-2 8
【FGX105】	1-2-D13 1-2R-2 3	1-2-D13 1-2R-2 1	2-2-D13 1-2R-2 1	2-2-D13 1-2R-2 8
【FGX106】	1-2-D13 1-2R-2 1			2-2-D13 1-2R-2 2
【FB4】	1-2-D10 1-2R-2 2	1-2-D10 1-2R-2 1	2-2-D10 1-2R-2 3	2-2-D10 1-2R-2 5
【FB6】	1-2-D10 IV-2R-2 2			
【FB】	1-2-D10 IV-2R-2 2			

構造担当

(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敦仁

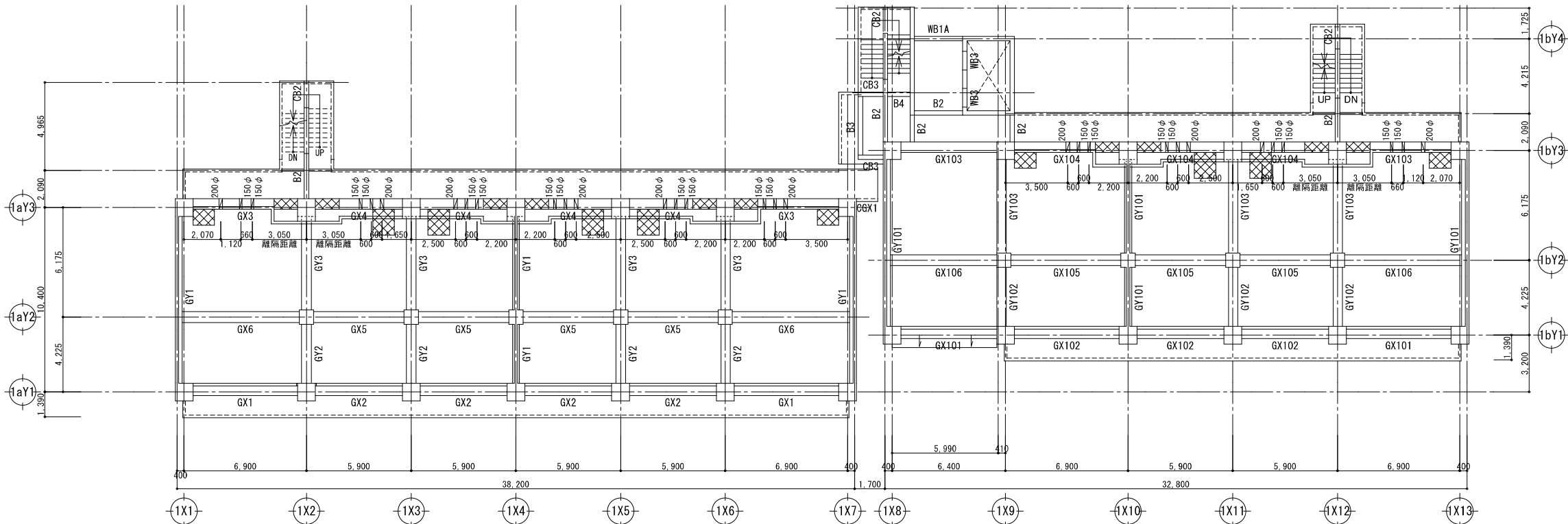
図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市榎實町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋雄一郎	
S-23	島根県営住宅（松江市北台団地新1号棟）建設（建築）工事	梁貫通孔 1階柱壁・2階梁床伏図 Z-1階柱・壁、Z-1階基礎伏図	1：200	R 6. 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓		



5階柱・壁・6階梁・床伏図 1：200
※6階柱・壁・7階梁・床伏図も同じ

梁貫通補強リスト ※梁貫通補強はダイヤレンS同等品とする				
西 様				
【梁符号】	100φ	125φ	150φ	200φ
(孔際STP) RecNo(ダイヤレンS)	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数
【 GX3 】			2-3-D13 1-2R-2 4	2-3-D13 1-2R-2 2
【 GX4 】			2-3-D13 1-2R-2 8	2-3-D13 1-2R-2 4

東 様				
【梁符号】	100φ	125φ	150φ	200φ
(孔際STP) RecNo(ダイヤレンS)	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数
【 GX103 】			2-3-D13 1-2R-2 2	2-3-D13 1-2R-2 2
【 GX104 】			2-3-D13 1-2R-2 6	2-3-D13 1-2R-2 3



2階柱・壁・3階梁・床伏図 1：200
※3～4階柱・壁・4～5階梁・床伏図も同じ

梁貫通補強リスト ※梁貫通補強はダイヤレンS同等品とする				
西 様				
【梁符号】	100φ	125φ	150φ	200φ
(孔際STP) RecNo(ダイヤレンS)	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数
【 GX3 】			2-4-D13 1-2R-2 4	2-4-D13 1-2R-2 2
【 GX4 】			2-4-D13 1-2R-2 8	2-4-D13 1-2R-2 4

東 様				
【梁符号】	100φ	125φ	150φ	200φ
(孔際STP) RecNo(ダイヤレンS)	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数
【 GX103 】			2-4-D13 1-2R-2 1	2-4-D13 1-2R-2 1
【 GX104 】			2-4-D13 1-2R-2 6	2-4-D13 1-2R-2 3

特記なき限り下記とする

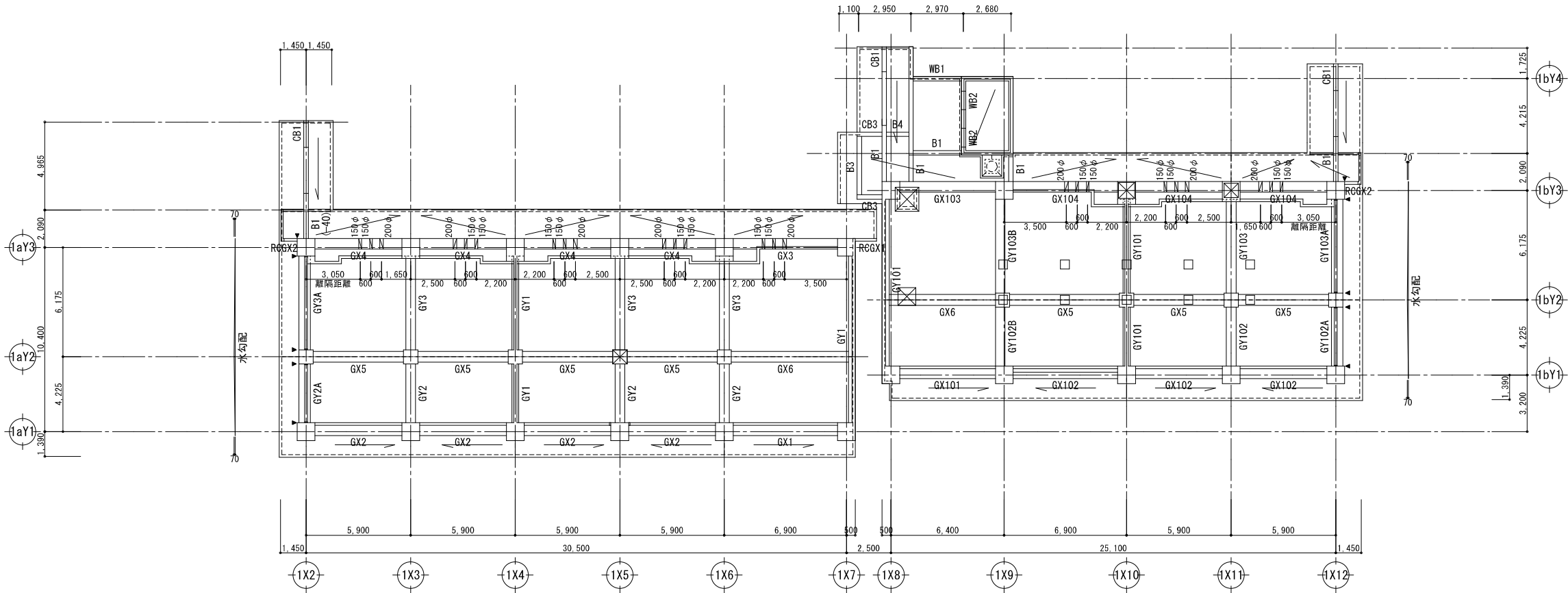
印、梁貫通孔並びにスリブ径を示す

※屋外階段等からの離隔距離は、意匠図を確認する事

構造担当

(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敦仁

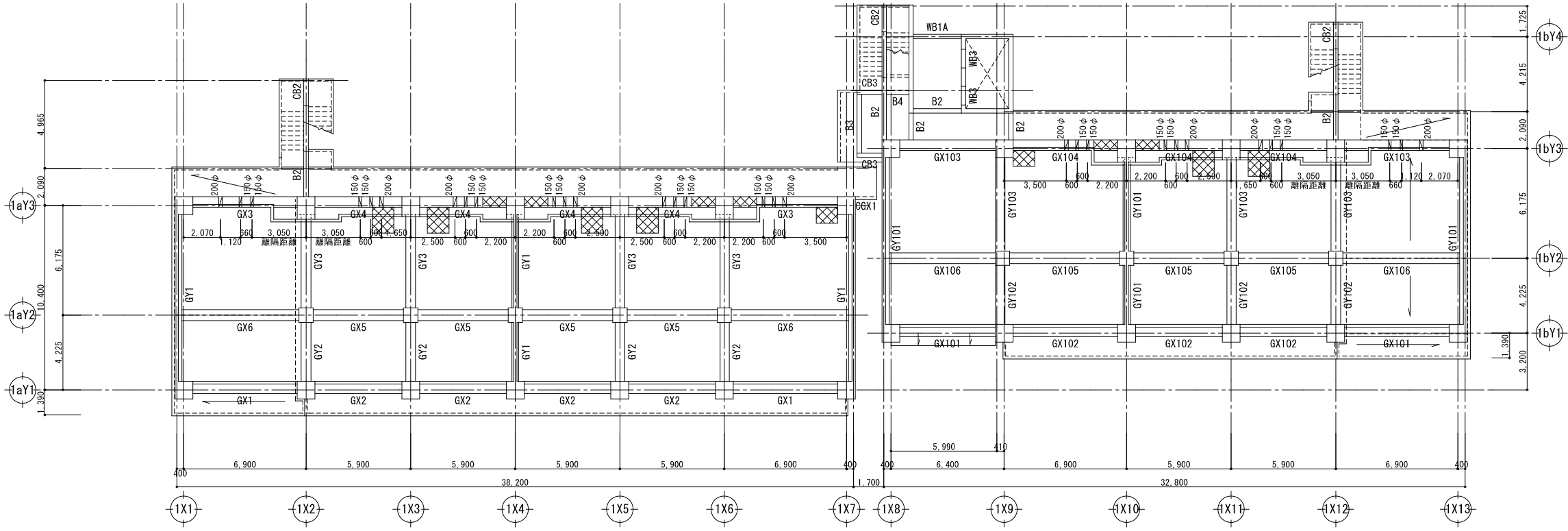
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号	
S-24	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	梁貫通孔 2階柱壁・3階梁床伏図 5階柱壁・6階梁床伏図	1：200	R6.3				設 計 者		一級建築士登録第315752号 松田 啓	
								島根県松江市雑賀町215		TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高橋 雄一郎	



8階柱・壁、R階梁・床伏図 1：200

梁貫通補強リスト ※梁貫通補強はダイヤレンNS同等品とする				
西 様				
【梁符号】	100φ	125φ	150φ	200φ
(孔際STP) RecNo(ダイヤレンNS)	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数
【 GX3 】			2-2-D13 1-2R-2 2	2-2-D13 1-2R-2 1
【 GX4 】			2-2-D13 1-2R-2 8	2-2-D13 1-2R-2 4

東 様				
【梁符号】	100φ	125φ	150φ	200φ
(孔際STP) RecNo(ダイヤレンNS)	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数
【 GX104 】			2-2-D13 1-2R-2 6	2-2-D13 1-2R-2 3



7階柱・壁、8階梁・床伏図 1：200

梁貫通補強リスト ※梁貫通補強はダイヤレンNS同等品とする				
西 様				
【梁符号】	100φ	125φ	150φ	200φ
(孔際STP) RecNo(ダイヤレンNS)	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数
【 GX3 】			2-2-D13 1-2R-2 4	2-2-D13 1-2R-2 2
【 GX4 】			2-2-D13 1-2R-2 8	2-2-D13 1-2R-2 4

東 様				
【梁符号】	100φ	125φ	150φ	200φ
(孔際STP) RecNo(ダイヤレンNS)	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数	組-本数-径 型-R-枚数 箇所数
【 GX103 】			2-2-D13 1-2R-2 2	2-2-D13 1-2R-2 1
【 GX104 】			2-2-D13 1-2R-2 6	2-2-D13 1-2R-2 3

特記なき限り下記とする

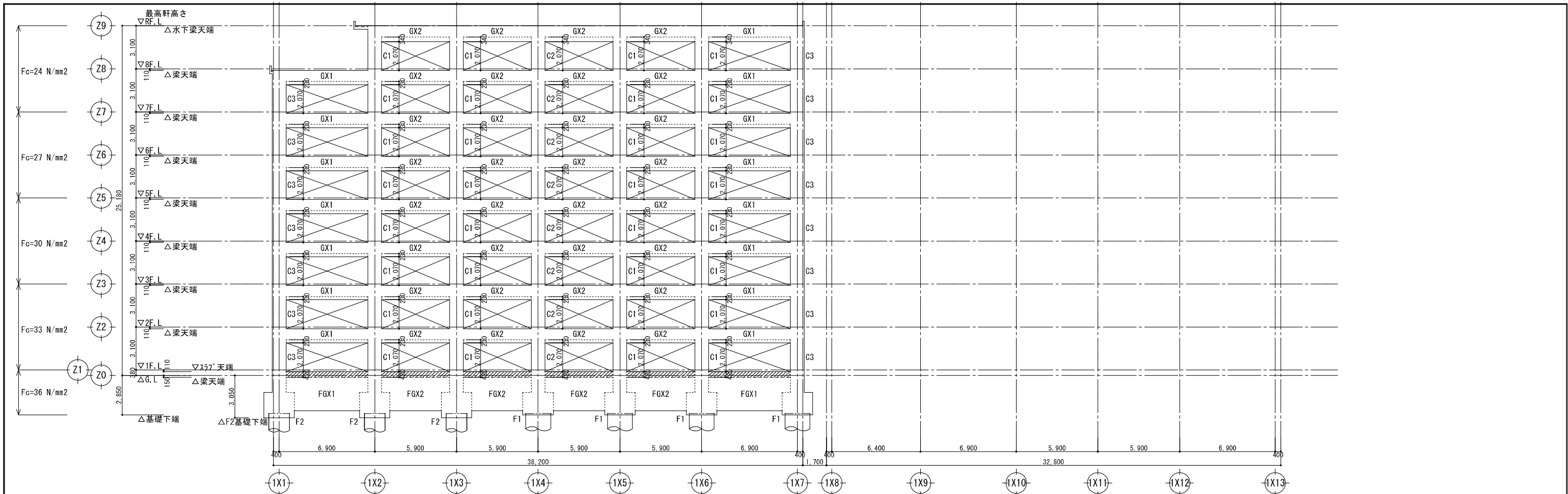
印、梁貫通孔並びにスリ-径を示す

※屋外階段等からの離隔距離は、意匠図を確認する事

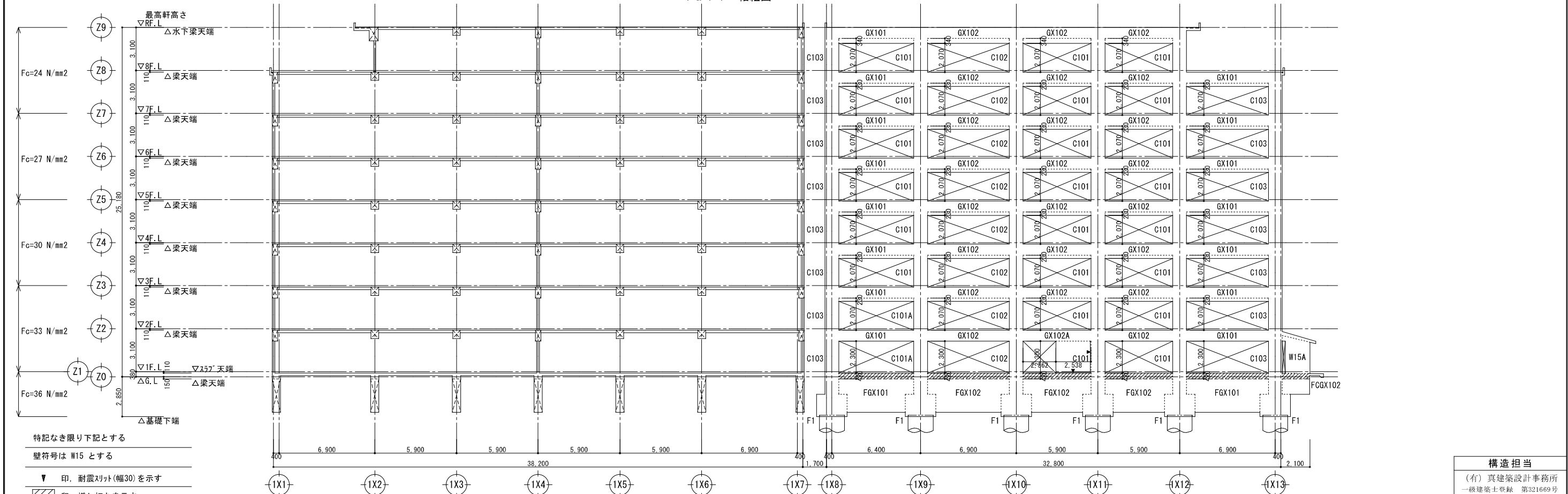
構造担当

(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号	
S-25	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	梁貫通孔 7階柱壁・8階梁床伏図	1：200	R6.3				設 計 者		真建築設計事務所	
		8階柱壁・R階梁床伏図						一級建築士登録第315752号 松田 啓		島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高橋 雄一郎	

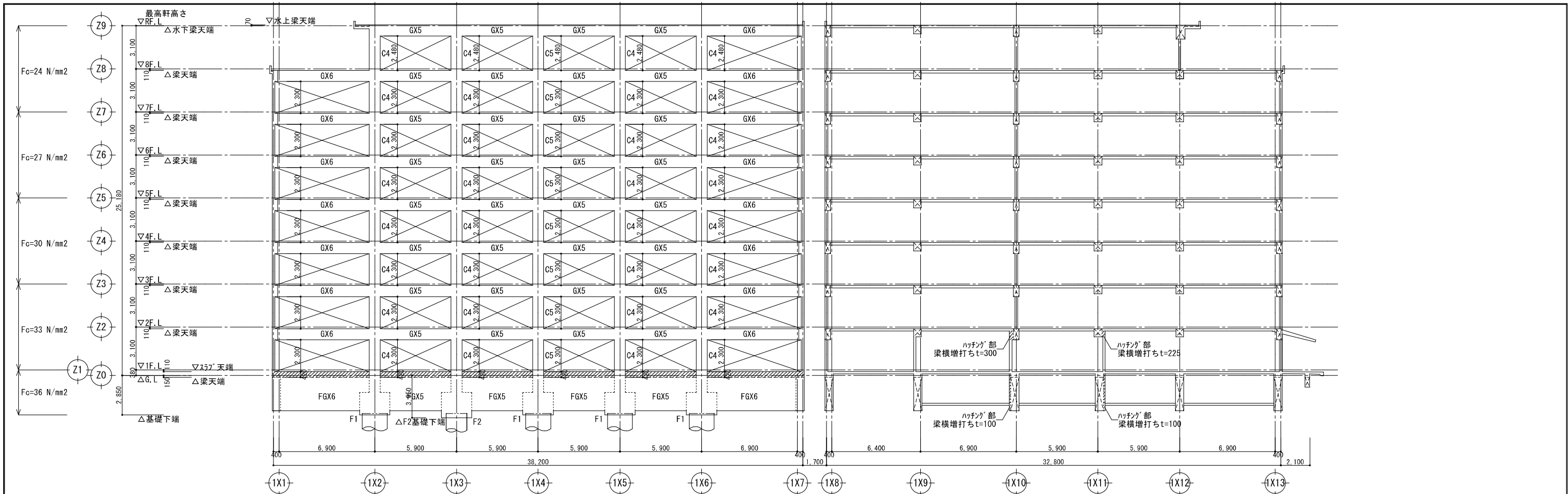


1 a Y 1 軸組図

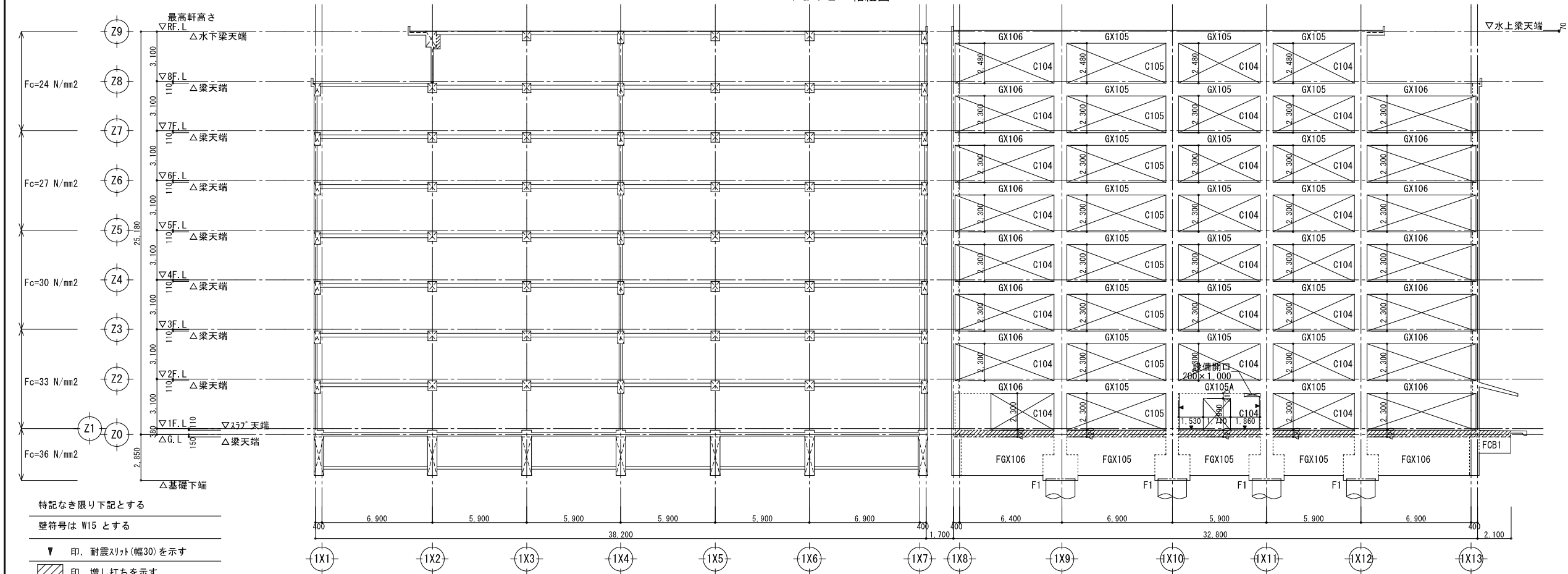


1 b Y 1 軸組図

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号 有限会社 真建築設計事務所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋 雄一郎	
S-26	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	軸組図 1	1 : 200	R 6 . 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓		

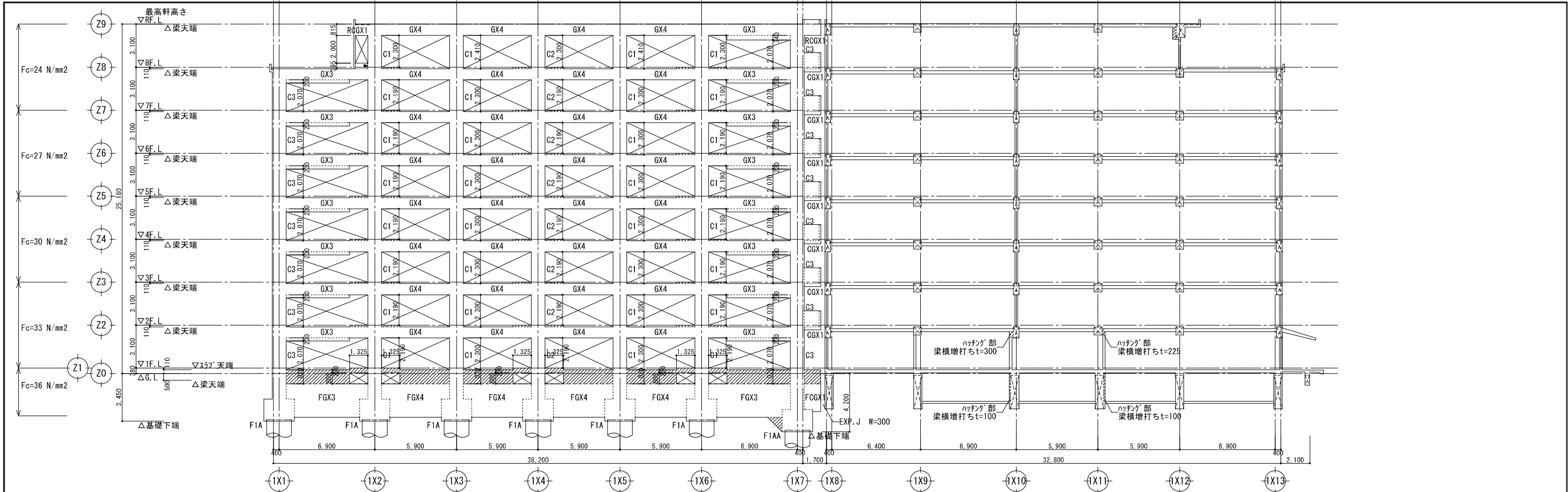


1 a Y 2 軸組図

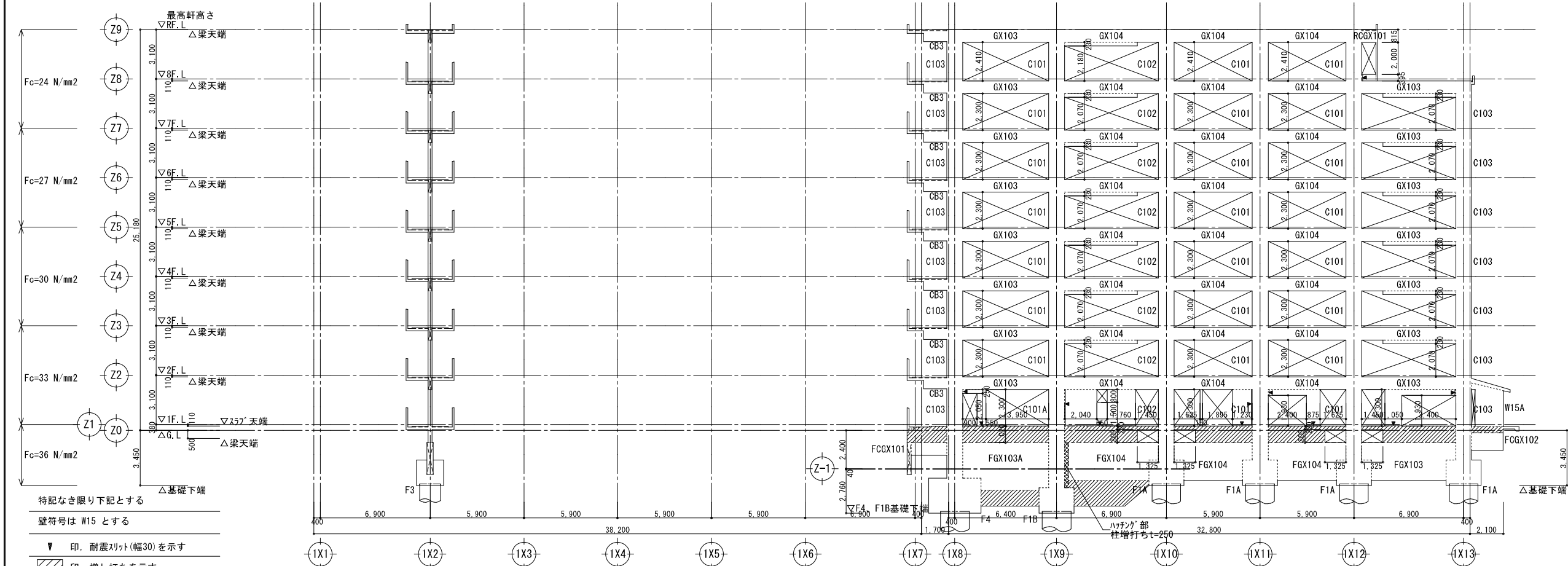


1 b Y 2 軸組図

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号	
S-27	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	軸組図2	1：200	R6.3				設計者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	（有）真建築設計事務所	
										一級建築士登録第90401号 設計 高橋 雄一郎	

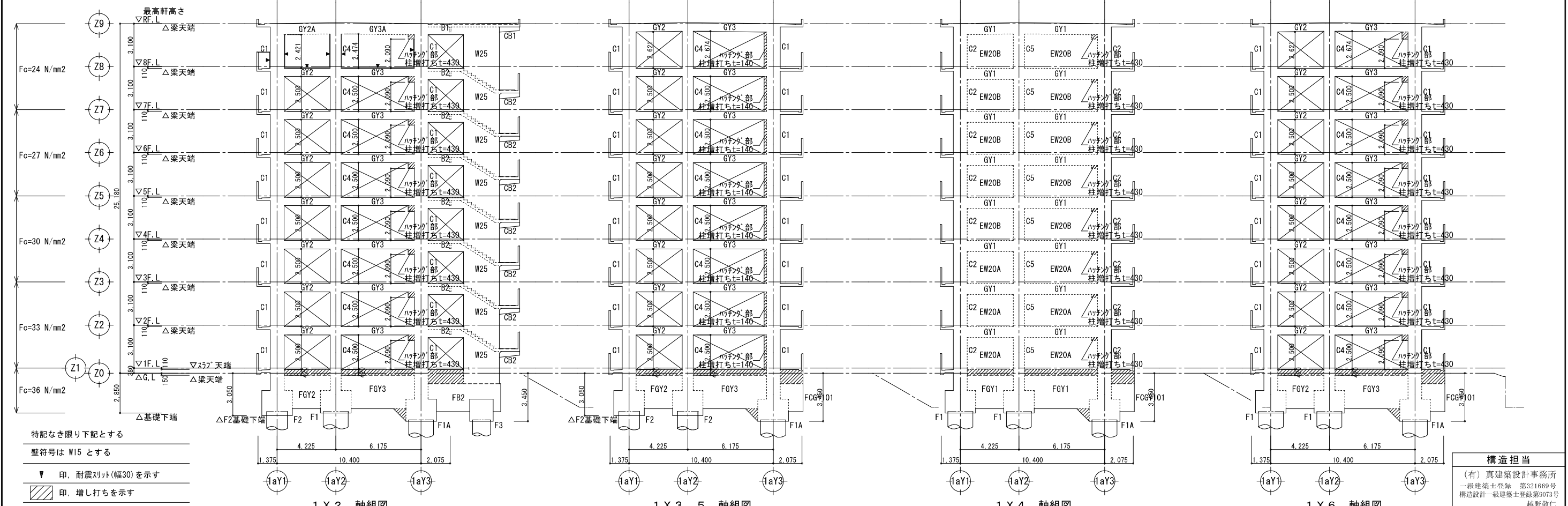
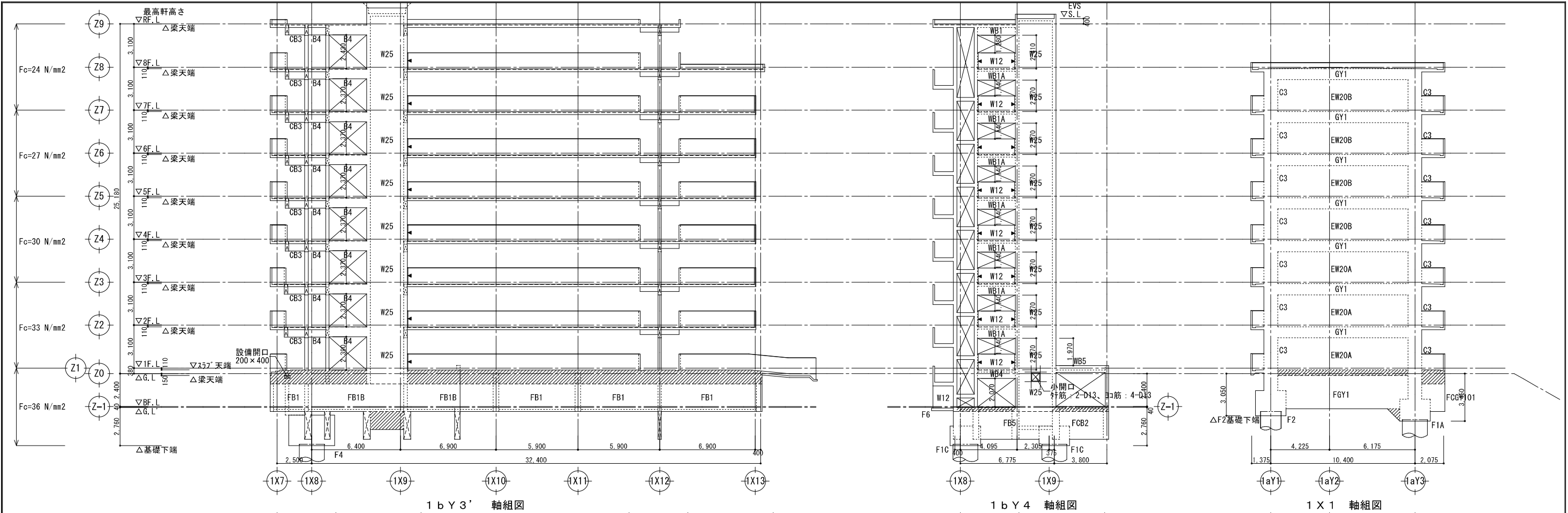


1 a Y 3 軸組図

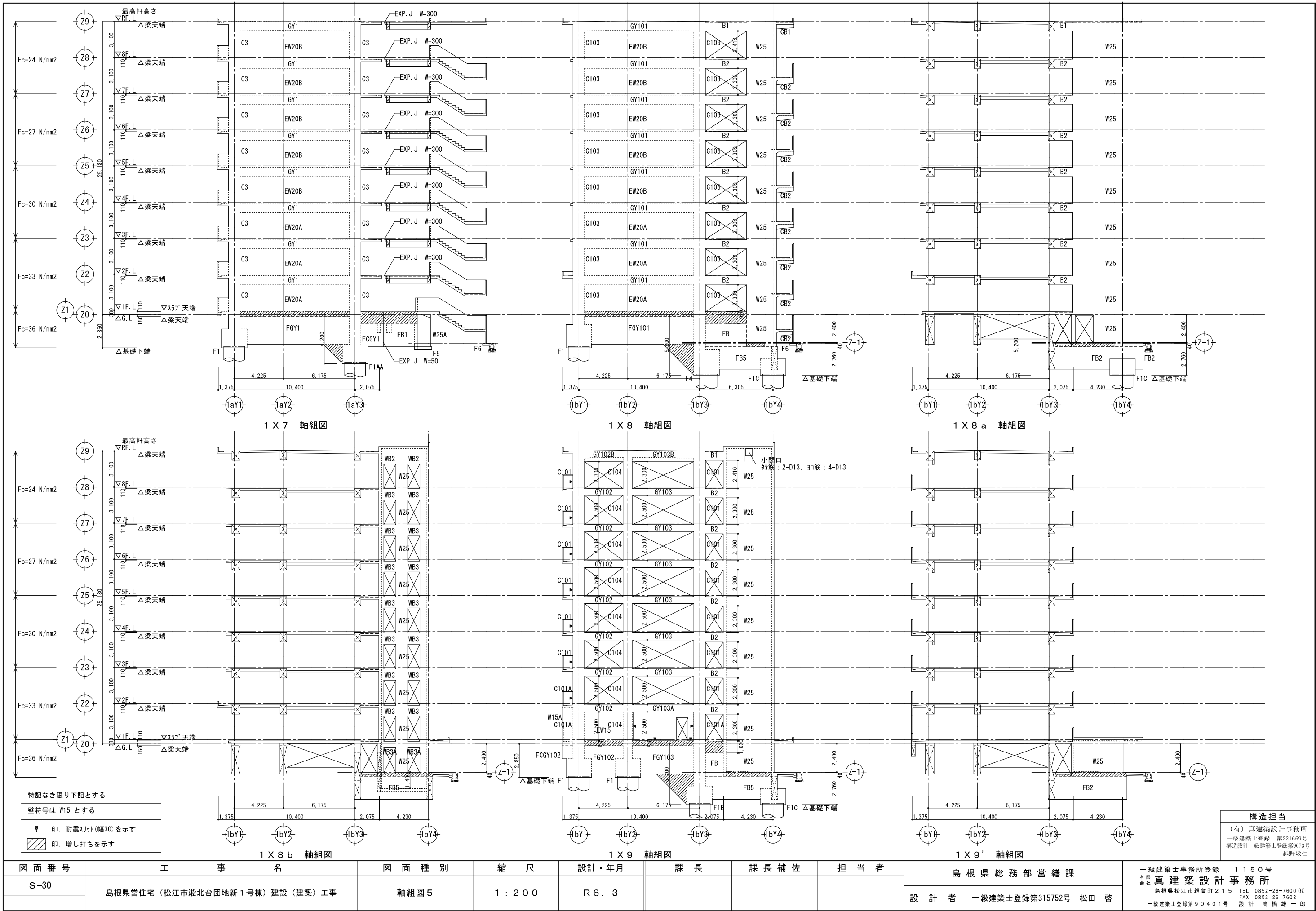


1 b Y 3 軸組図

図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号
S-28	島根県営住宅（松江市湊北台団地新1号棟）建設（建築）工事	軸組図3	1：200	R6.3				設 計 者		（有）真建築設計事務所 島根県松江市雄賀町215 TEL 0852-26-7600（代） FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋 雄一郎
								一級建築士登録第315752号 松田 啓		

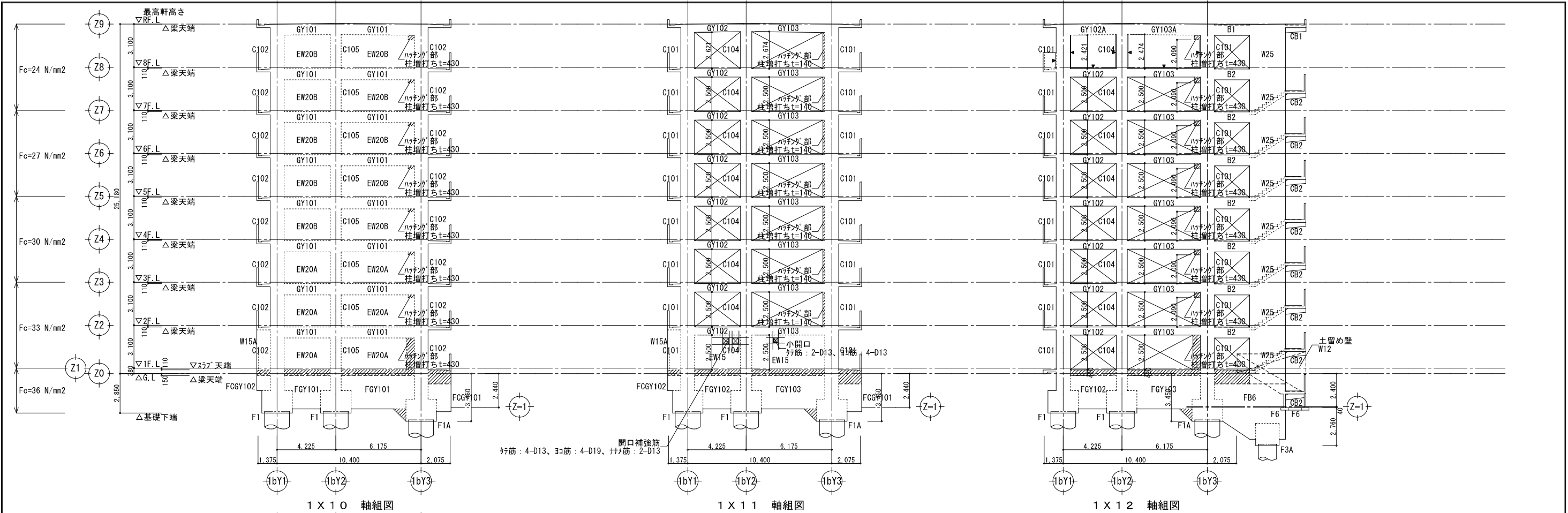


図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋 雄一郎
S-29	島根県営住宅（松江市北台団地新1号棟）建設（建築）工事	軸組図4	1：200	R6. 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	

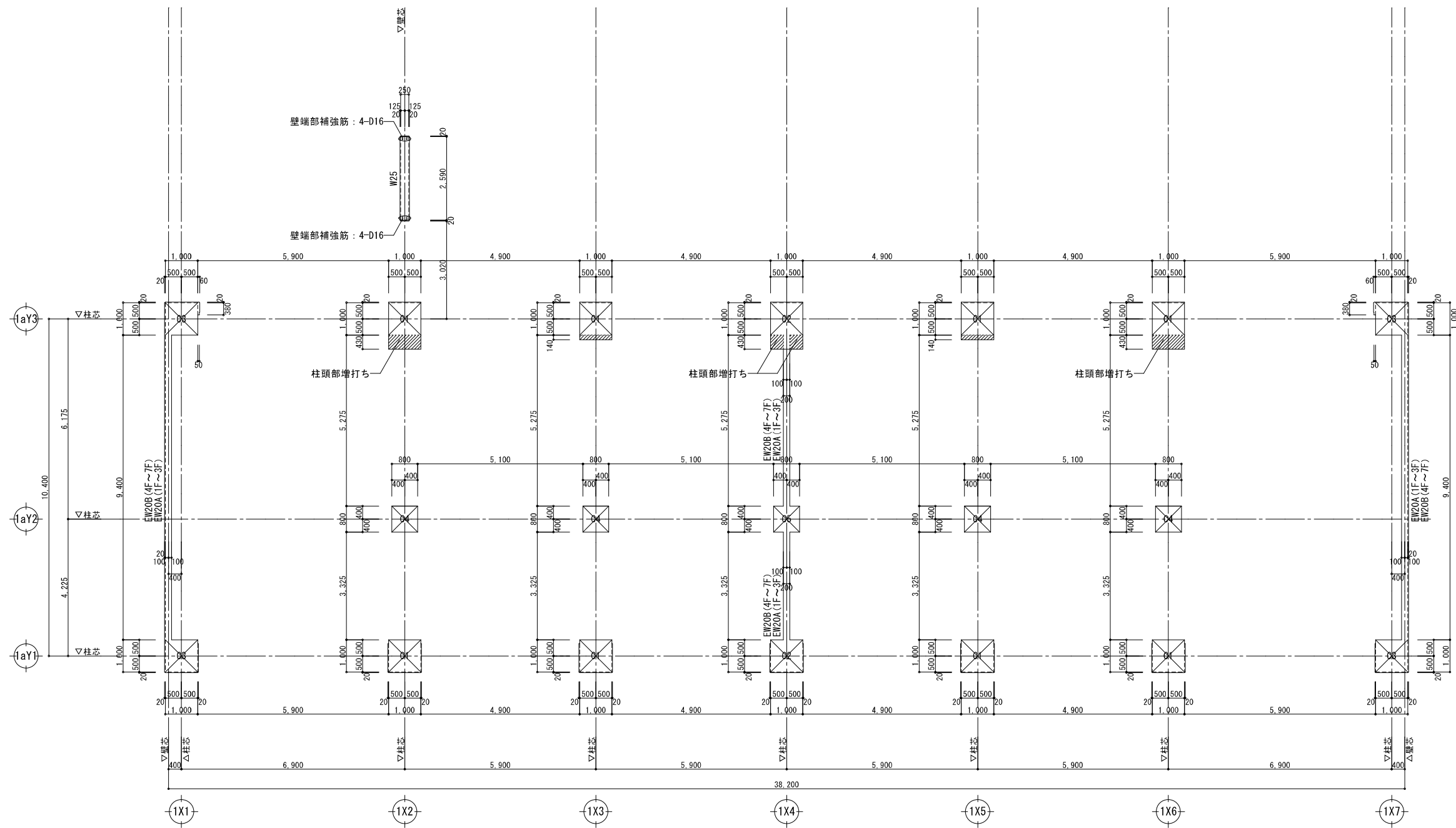


構造担当
(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号	
S-30	島根県営住宅(松江市淞北台団地新1号棟)建設(建築)工事	軸組図5	1:200	R6.3				設計者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	有限会社 真建築設計事務所	
										島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代)	
										FAX 0852-26-7602	
										一級建築士登録第90401号 設計 高橋 雄一郎	

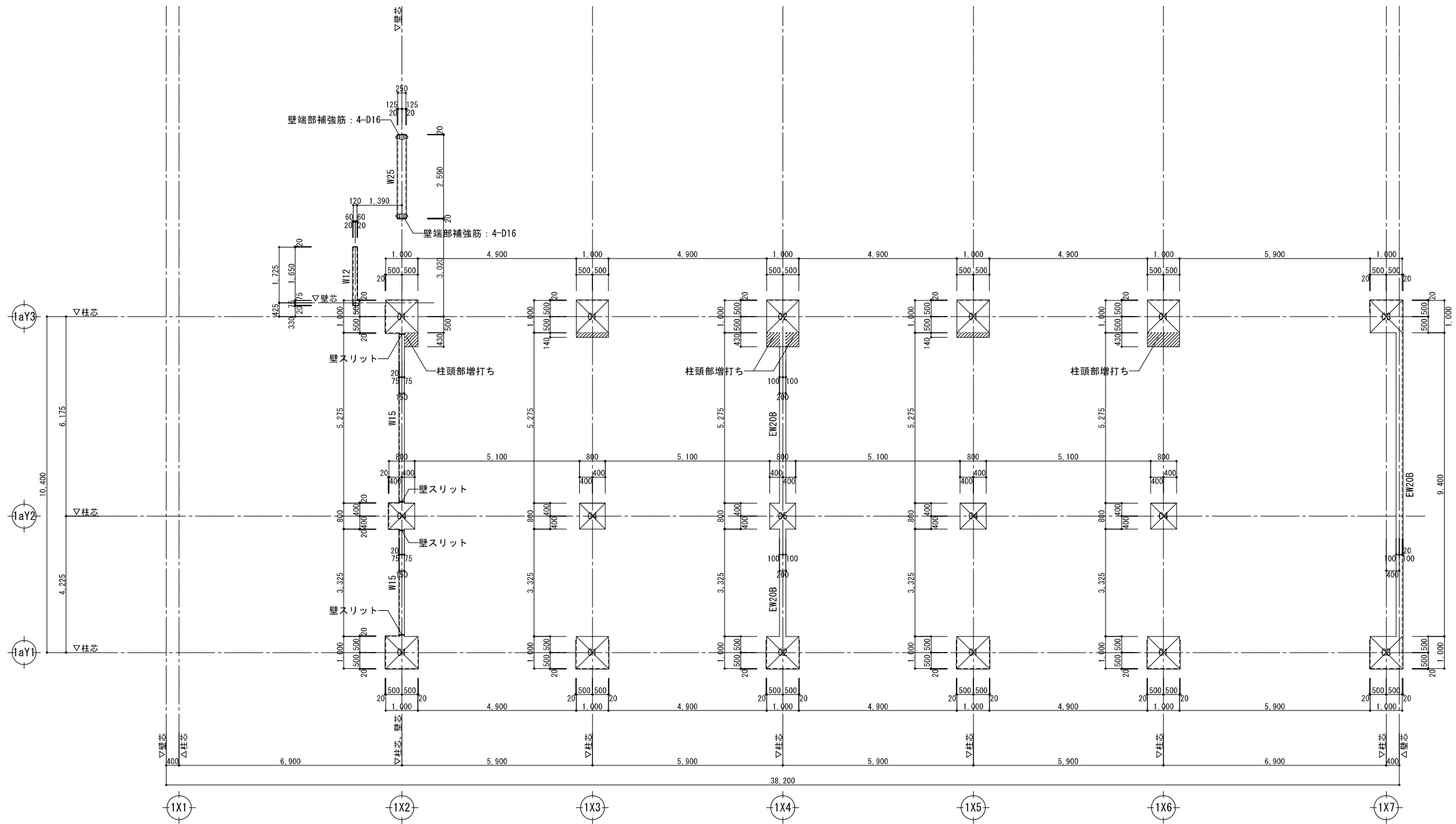


図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号 有限会社 真建築設計事務所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋雄一郎
S-31	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	軸組図6	1：200	R6.3				設計者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	



1階～7階柱芯線図 1 : 100

構造担当										
(有) 真建築設計事務所 一級建築士登録 第321669号 構造設計一級建築士登録第9073号 越野敬仁										
図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号
S-32	島根県営住宅（松江市淞北台団地新1号棟）建設（建築）工事	1階～7階 柱芯線図（西棟）	1：100	R 6. 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市桂賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎

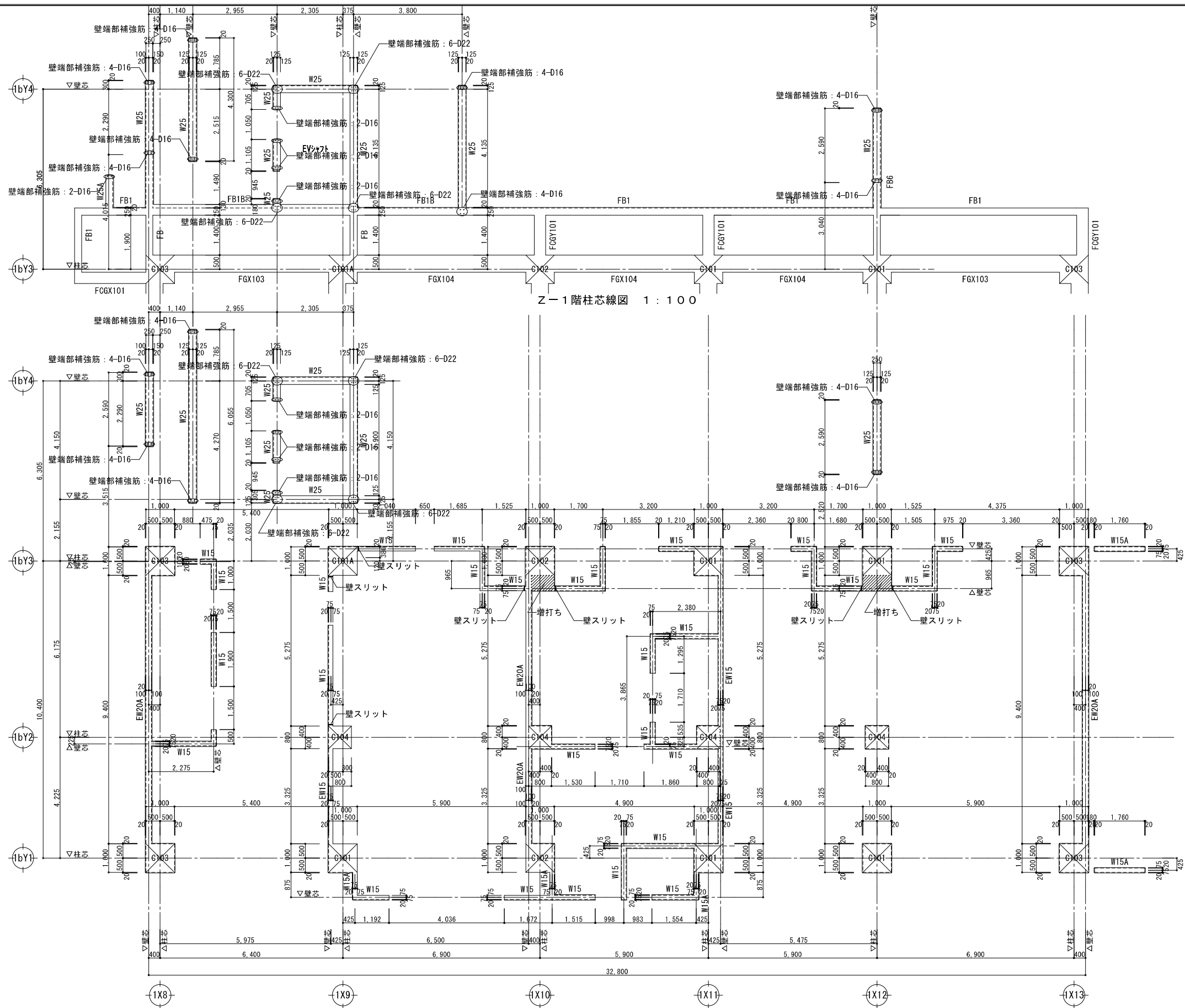


8階柱芯線図 1 : 100

図面番号		工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市桂賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎
									設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	
S-33		島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	8階 柱芯線図（西棟）	1 : 100	R 6 . 3						

構造担当

(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

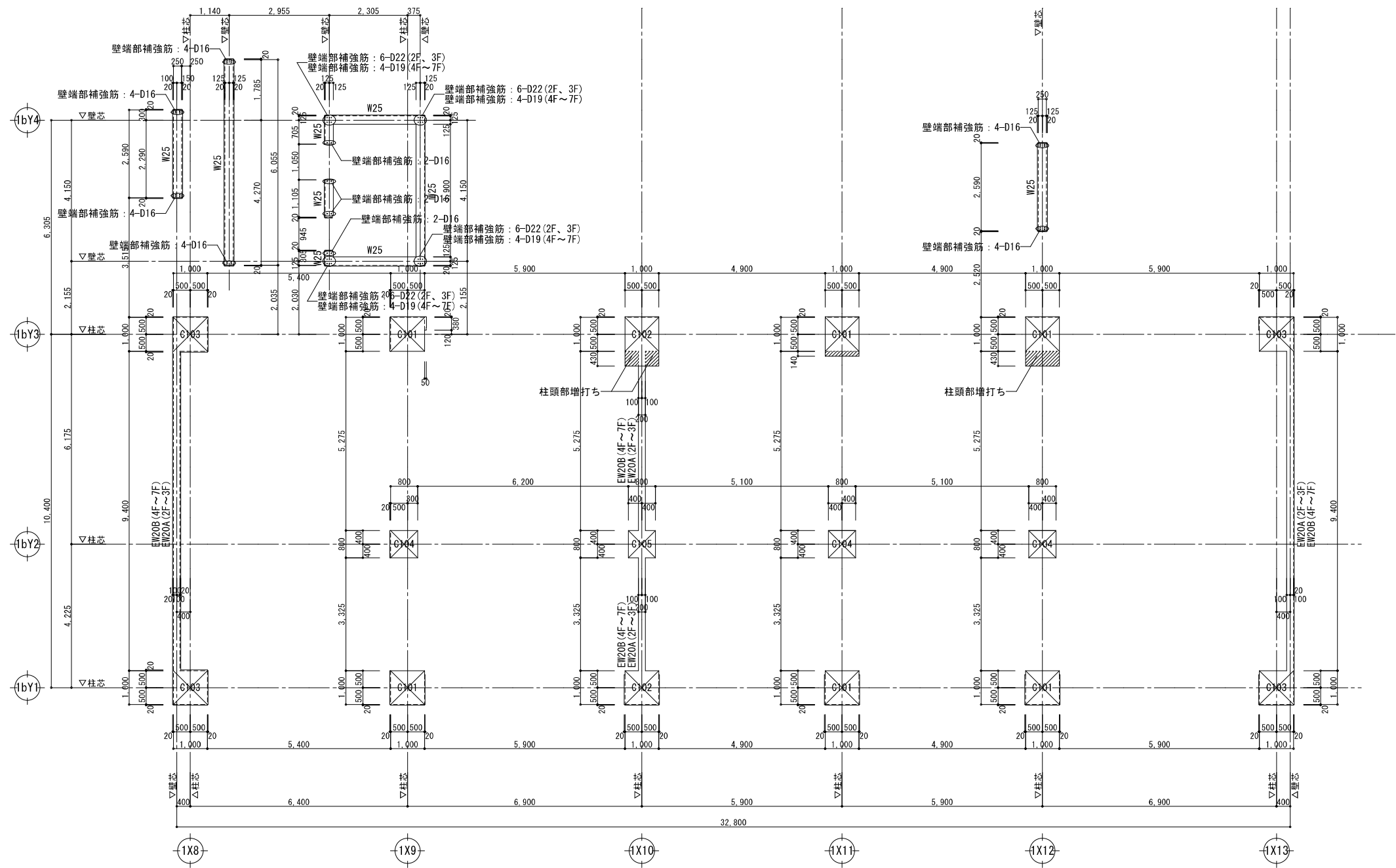


1階柱芯線図 1 : 100

構造担当

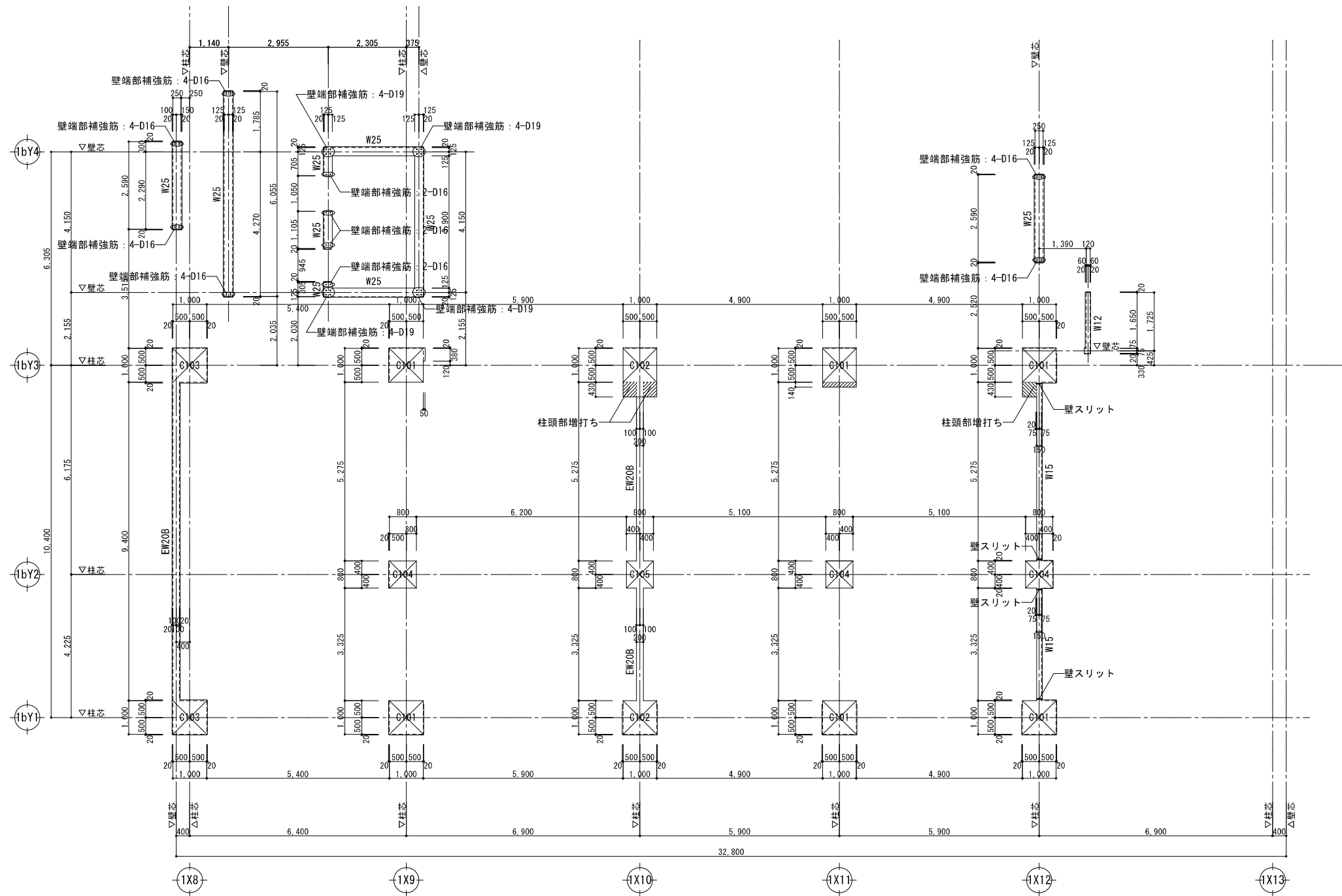
(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋 雄 一 郎
S-34	島根県営住宅（松江市淞北台団地新1号棟）建設（建築）工事	1階 柱芯線図（東棟）	1：200	R 6. 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	



2階～7階柱芯線図 1：200

										構造担当		
										(有) 真建築設計事務所 一級建築士登録 第021669号 構造設計一級建築士登録第9073号 越野敬仁		
図面番号	工 事 名			図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号
S-35	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事			2階～7階 柱芯線図（東棟）	1：200	R6. 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	有限会社 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎



8階柱芯線図 1 : 200

										構造担当	
										(有) 真建築設計事務所 一級建築士登録 第321669号 構造設計一級建築士登録第9073号 越野敬仁	
図面番号	工 事 名		図面種別	縮 尺	設計・年月	課 長	課長補佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号
S-36	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事		8階 柱芯線図（東棟）	1：200	R 6. 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	有限 会社 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市権賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎

柱リスト【西棟】 1:50

・フープの\$符号は、高強度せん断補強筋（KSS785：溶接閉鎖型）を示す
・梁せいの内フープ：□-D16@125以下とする。

階	記号	C1	C2	C3	C4	C5
4階 Fc=30	断面					
	主筋	18-D29	16-D29	16-D29	12-D29	12-D29
	フープ	S13-田-@100	S13-田-@100	S13-□-@100	S13-田-@100	S13-日-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm
3階 Fc=30	断面					
	主筋	18-D29	16-D29	16-D29	14-D29	14-D29
	フープ	S13-田-@100	S13-田-@100	S13-□-@100	S13-田-@100	S13-日-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm
2階 Fc=33	断面					
	主筋	18-D29	16-D29	16-D29	14-D29	14-D29
	フープ	S13-田-@100	S13-田-@100	S13-□-@100	S13-田-@100	S13-日-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm
1階 Fc=33	断面					
	主筋	18-D29	16-D29	16-D29	14-D29	14-D29
	フープ	S13-田-@100	S13-田-@100	S13-□-@100	S13-田-@100	S13-日-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm

壁リスト

・幅止筋 D10@1000 とする。 (W：一般壁 EW：耐震壁)

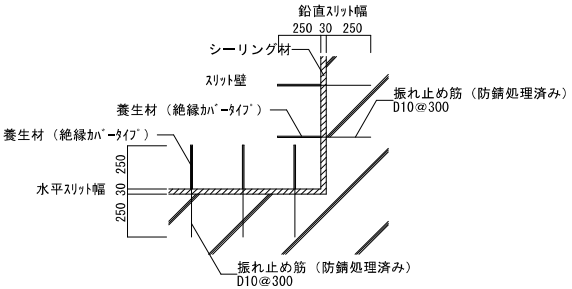
符 号	W12	W15	EW15、W15A	EW20A	EW20B	W25	W25A
断面							
壁厚	120	150	150	200	200	250	250
タテ筋	D10@200 シングル	D10@150 シングル	D10@200 ダブル	D13@100 ダブル	D13@150 ダブル	D13@150 ダブル	D13@150 ダブル
ヨコ筋	D10@200 シングル	D10@150 シングル	D10@200 ダブル	D13@100 ダブル	D13@150 ダブル	D13@125 ダブル	D13@150 ダブル
開口補強	タテ筋	1-D13	端部補強筋2-D13	2-D13	2-D13	端部補強筋による	端部補強筋2-D16
	ヨコ筋	1-D13	2-D13	2-D13	2-D13	—	—
	斜 筋	1-D13	2-D13	2-D13	2-D13	—	—
備 考			斜トリ配筋			階段受け	

階	記号	C1	C2	C3	C4	C5
8階 Fc=24	断面					
	主筋	18-D25	16-D25	16-D25	12-D25	12-D25
	フープ	D13-日-@100	D13-日-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm
7階 Fc=24	断面					
	主筋	18-D25	16-D25	16-D25	12-D25	12-D25
	フープ	D13-日-@100	D13-日-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm
6階 Fc=27	断面					
	主筋	18-D29	16-D29	16-D29	12-D29	12-D29
	フープ	D13-日-@100	D13-日-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm
5階 Fc=27	断面					
	主筋	18-D29	16-D29	16-D29	12-D29	12-D29
	フープ	D13-日-@100	D13-日-@100	D13-□-@100	D13-日-@100	D13-日-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm

外部階段支持壁、E Vシャット壁 端部補強筋 ※配置等は柱芯線図による

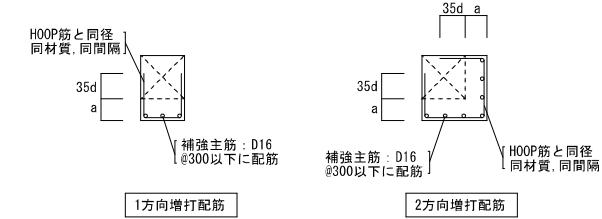
屋外階段 W25	E V 廻り W25	
全階	1～3階	4～8階
※横筋フープ形状	※横筋フープ形状	※横筋フープ形状
	出入口開口補強筋：2-D16 車寄せ端部補強筋：4-D16	

壁スリット要領



注) 壁スリットは完全スリットとし、耐火(2時間)・防水仕様(複合タイプ)とする。
補壁、垂れ壁長が200mm未満の場合はスリット省略可。
スリット幅は鉛直・水平共30mmとする。
水平スリットは、外壁：段差型、内壁：フラット型とする。

柱増打ち補強要領



構造担当

(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敦仁

図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎
S-37	島根県営住宅(松江市淞北台団地新1号棟)建設(建築)工事	柱リスト1【西棟】 壁リスト	1 : 5 0	R 6 . 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松 田 啓	

柱リスト【東棟】 1:50

・フープの\$符号は、高強度せん断補強筋（KSS785：溶接閉鎖型）を示す
・梁せい内フープ：□-D16@125以下とする。

階	記号	C101	C101A	C102	C103	C104	C105
4階 Fc=30	断面						
	主筋	18-D29		16-D29	16-D29	12-D29	12-D29
	フープ	S13-田-@100		S13-目-@100	S13-□-@100	S13-田-@100	S13-日-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm		かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm
3階 Fc=30	断面						
	主筋	18-D29		16-D29	16-D29	14-D29	14-D29
	フープ	S13-田-@100		S13-目-@100	S13-□-@100	S13-田-@100	S13-日-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm		かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm
2階 Fc=33	断面						
	主筋	18-D29	20-D29	16-D29	16-D29	14-D29	14-D29
	フープ	S13-田-@100	S13-田-@100	S13-目-@100	S13-□-@100	S13-田-@100	S13-日-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm
1階 Fc=33	断面						
	主筋	18-D29	20-D29	16-D29	18-D29	14-D29	14-D29
	フープ	S13-田-@100	S13-田-@80	S13-目-@100	S13-□-@100	S13-田-@100	S13-日-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm

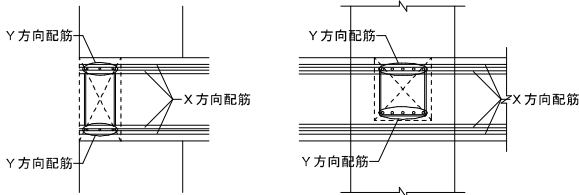
階	記号	C101	C101A	C102	C103	C104	C105
8階 Fc=24	断面						
	主筋	18-D25		16-D25	16-D25	12-D25	12-D25
	フープ	D13-日-@100		D13-日-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm		かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm
7階 Fc=24	断面						
	主筋	18-D25		16-D25	16-D25	12-D25	12-D25
	フープ	D13-日-@100		D13-日-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm		かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm
6階 Fc=27	断面						
	主筋	18-D29		16-D29	16-D29	12-D29	12-D29
	フープ	D13-日-@100		D13-日-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm		かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm
5階 Fc=27	断面						
	主筋	18-D29		16-D29	16-D29	12-D29	12-D29
	フープ	D13-目-@100		D13-目-@100	D13-□-@100	D13-日-@100	D13-日-@100
	備考	かぶり厚さ:50mm		かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm	かぶり厚さ:50mm

構造担当

(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号
S-38	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	柱リスト2【東棟】	1：50	R6. 3				設計者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所
										島根県松江市桂賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋 雄一郎

階	記 号	GX1	GX2	GX3	GX4	GX5	GX6		GY1	GY2	GY2A	GY3	GY3A
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面		全断面	
5 階 Fc=30	巾 × 成	700 × 800	700 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800		400 × 800	550 × 600		550 × 600	
	断 面												
	上 端 筋	7-D32	7-D32	5-D32	5-D32	5-D32	5-D32		3-D25	6-D25		6-D25	
	下 端 筋	7-D32	7-D32	4-D32	4-D32	4-D32	4-D32		3-D25	4-D25		4-D25	
	S T P	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@200	D13-Ⅲ-@200		D13-Ⅲ-@200	D13-Ⅲ-@150		D13-Ⅲ-@150	
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10		2-D10	
4 階 Fc=30	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面		全断面	
	巾 × 成	700 × 800	700 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800		400 × 800	550 × 600		550 × 600	
	断 面												
	上 端 筋	8-D32	9-D32	6-D32	6-D32	5-D32	5-D32		3-D25	7-D25		7-D25	
	下 端 筋	8-D32	9-D32	4-D32	4-D32	4-D32	4-D32		3-D25	5-D25		5-D25	
	S T P	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@200	D13-Ⅲ-@200		D13-Ⅲ-@200	D13-Ⅲ-@150		D13-Ⅲ-@150	
3 階 Fc=33	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面		全断面	
	巾 × 成	700 × 800	700 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800		400 × 800	550 × 600		550 × 600	
	断 面												
	上 端 筋	8-D32	9-D32	6-D32	6-D32	5-D32	5-D32		3-D25	8-D25		8-D25	
	下 端 筋	8-D32	9-D32	4-D32	4-D32	4-D32	4-D32		3-D25	5-D25		5-D25	
	S T P	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@200	D13-Ⅲ-@200		D13-Ⅲ-@200	D13-Ⅲ-@125		D13-Ⅲ-@125	
2 階 Fc=33	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面		全断面	
	巾 × 成	700 × 800	700 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800		400 × 800	550 × 600		550 × 600	
	断 面												
	上 端 筋	8-D32	9-D32	6-D32	6-D32	5-D32	5-D32		3-D25	8-D25		8-D25	
	下 端 筋	8-D32	9-D32	4-D32	4-D32	4-D32	4-D32		3-D25	5-D25		5-D25	
	S T P	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@150	D13-Ⅲ-@200	D13-Ⅲ-@200		D13-Ⅲ-@200	D13-Ⅲ-@125		D13-Ⅲ-@125	
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10		2-D10	



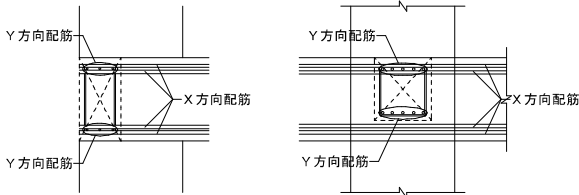
大梁 X・Y方向配筋要領

構造担当

(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎	
S-39	島根県営住宅（松江市淞北台団地新1号棟）建設（建築）工事	大梁リスト1【西棟】	1：50	R 6 . 3				設 計 者 一級建築士登録第315752号 松田 啓			

階	記 号	GX1	GX2	GX3	GX4	GX5	GX6		GY1	GY2	GY2A	GY3	GY3A
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
R 階 Fc=24	巾 × 成	700 × 800	700 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800		400 × 800	550 × 600	650 × 800	550 × 600	650 × 800
	断 面												
	上 端 筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25		3-D25	5-D25	6-D25	5-D25	6-D25
	下 端 筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25		3-D25	4-D25	6-D25	4-D25	6-D25
	S T P	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200		D13-□-@200	D13-□-@150	D13-□-@200	D13-□-@150	D13-□-@200
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	4-D10	2-D10	4-D10
8 階 Fc=24	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面		全断面	
	巾 × 成	700 × 800	700 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800		400 × 800	550 × 600		550 × 600	
	断 面												
	上 端 筋	6-D25	6-D25	5-D25	6-D25	5-D25	5-D25		3-D25	6-D25		6-D25	
	下 端 筋	6-D25	6-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25		3-D25	4-D25		4-D25	
	S T P	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200		D13-□-@200	D13-□-@125		D13-□-@125	
7 階 Fc=27	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面		全断面	
	巾 × 成	700 × 800	700 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800		400 × 800	550 × 600		550 × 600	
	断 面												
	上 端 筋	6-D29	6-D29	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29		3-D25	6-D25		6-D25	
	下 端 筋	6-D29	6-D29	4-D29	4-D29	4-D29	4-D29		3-D25	4-D25		4-D25	
	S T P	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@200	D13-□-@200		D13-□-@200	D13-□-@150		D13-□-@150	
6 階 Fc=27	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面		全断面	
	巾 × 成	700 × 800	700 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800		400 × 800	550 × 600		550 × 600	
	断 面												
	上 端 筋	7-D29	7-D29	6-D29	6-D29	5-D29	5-D29		3-D25	6-D25		6-D25	
	下 端 筋	7-D29	7-D29	4-D29	4-D29	4-D29	4-D29		3-D25	4-D25		4-D25	
	S T P	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@200	D13-□-@200		D13-□-@200	D13-□-@150		D13-□-@150	
6 階 Fc=27	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10		2-D10	



大梁 X・Y方向配筋要領

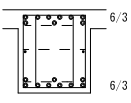
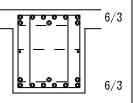
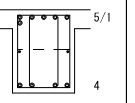
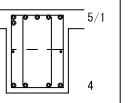
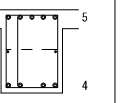
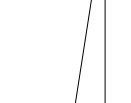
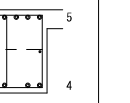
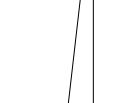
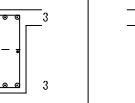
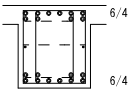
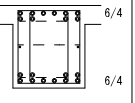
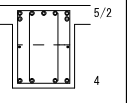
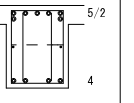
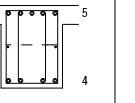
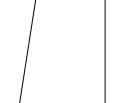
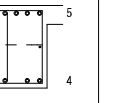
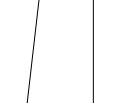
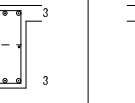
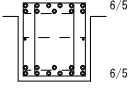
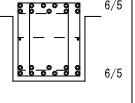
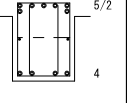
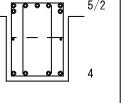
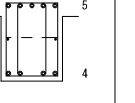
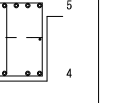
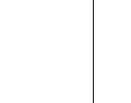
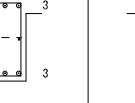
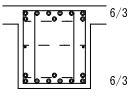
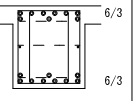
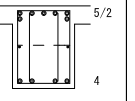
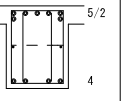
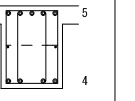
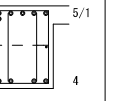
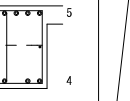
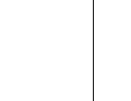
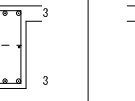
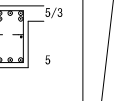
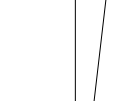
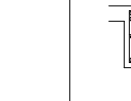
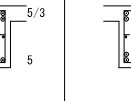
構造担当

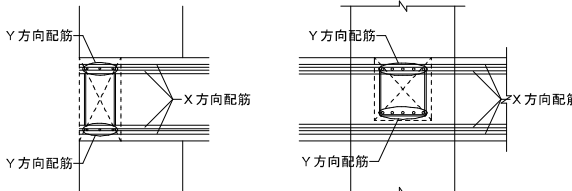
(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎	
S-40	島根県営住宅（松江市淞北台団地新1号棟）建設（建築）工事	大梁リスト2【西棟】	1：50	R 6 . 3				設 計 者 一級建築士登録第315752号 松 田 啓			

大梁リスト 1 【東棟】

幅止め筋 D10@1,000以下、かぶり厚さ:50mm

5 階 F _c =30	記 号	GX101	GX102、102A	GX103	GX104	GX105	GX105A	GX106		GY101	GY102	GY102A	GY102B	GY103	GY103A	GY103B	
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面		全断面	全断面			全断面			
	巾 × 成	700 × 800	700 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800		600 × 800		400 × 800	550 × 600			550 × 600			
	断 面																
	上 端 筋	9-D32	9-D32	6-D32	6-D32	5-D32		5-D32		3-D25	6-D25			6-D25			
	下 端 筋	9-D32	9-D32	4-D32	4-D32	4-D32		4-D32		3-D25	4-D25			4-D25			
	S T P	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@200		D13-□-@200		D13-□-@200	D13-□-@150			D13-□-@150			
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10		2-D10	2-D10			2-D10			
	4 階 F _c =30	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面		全断面	全断面			全断面		
巾 × 成		700 × 800	700 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800		600 × 800		400 × 800	550 × 600			550 × 600			
断 面																	
上 端 筋		10-D32	10-D32	7-D32	7-D32	5-D32		5-D32		3-D25	7-D25			7-D25			
下 端 筋		10-D32	10-D32	4-D32	4-D32	4-D32		4-D32		3-D25	5-D25			5-D25			
S T P		D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@200		D13-□-@200		D13-□-@200	D13-□-@150			D13-□-@150			
腹 筋		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10		2-D10	2-D10			2-D10			
位 置		全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面		全断面	全断面			全断面			
巾 × 成		700 × 800	700 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800		600 × 800		400 × 800	550 × 600			550 × 600			
3 階 F _c =33		断 面															
	上 端 筋	11-D32	11-D32	7-D32	7-D32	5-D32		5-D32		3-D25	8-D25			8-D25			
	下 端 筋	11-D32	11-D32	4-D32	4-D32	4-D32		4-D32		3-D25	5-D25			5-D25			
	S T P	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@200		D13-□-@200		D13-□-@200	D13-□-@125			D13-□-@125			
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10		2-D10	2-D10			2-D10			
	2 階 F _c =33	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面			全断面	全断面	
		巾 × 成	700 × 800	700 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800	600 × 800		400 × 800	550 × 600			550 × 600	550 × 600	
断 面																	
上 端 筋		9-D32	9-D32	7-D32	7-D32	5-D32	6-D32	5-D32		3-D25	8-D25			8-D25	6-D25		
下 端 筋		9-D32	9-D32	4-D32	4-D32	4-D32	4-D32	4-D32		3-D25	5-D25			5-D25	6-D25		
S T P		D13-□-@125	D13-□-@125(≒100)	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@200	D13-□-@100	D13-□-@200		D13-□-@200	D13-□-@125			D13-□-@125	D13-□-@150		
腹 筋		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10			2-D10	2-D10		

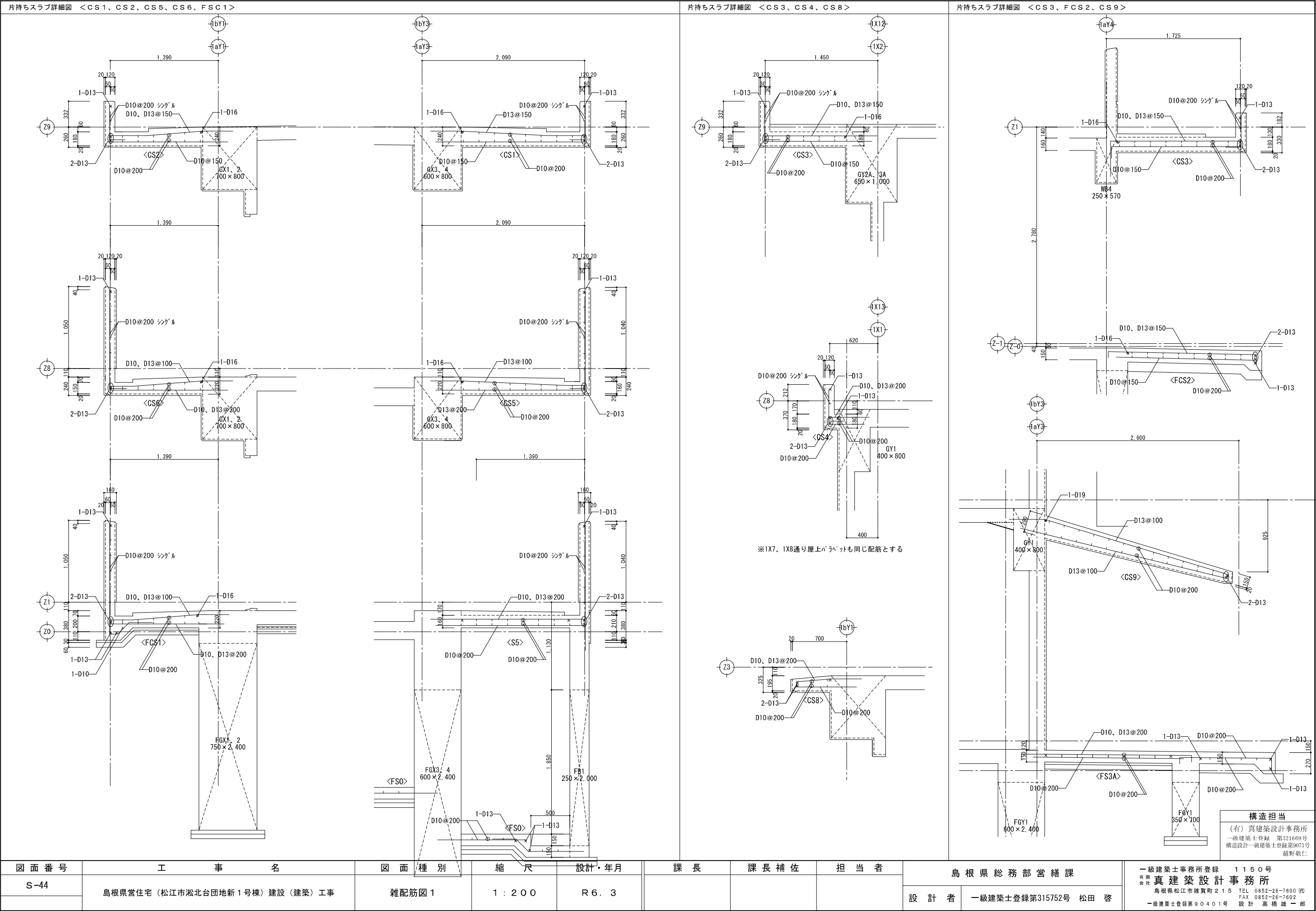


大梁 X、Y 方向配筋要領

構造担当

(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
岐阜県岐阜市

図 面 番 号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎
S-41	島根県営住宅（松江市湍北台団地新1号棟）建設（建築）工事	大梁リスト3【東棟】	1：50	R6.3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	

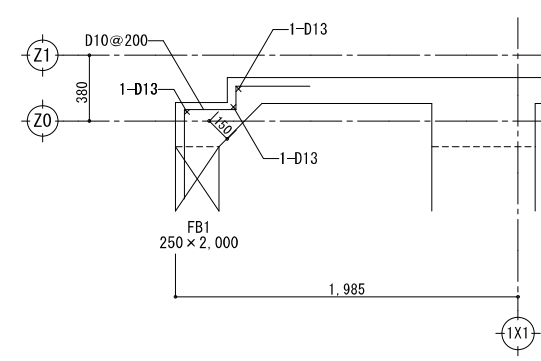
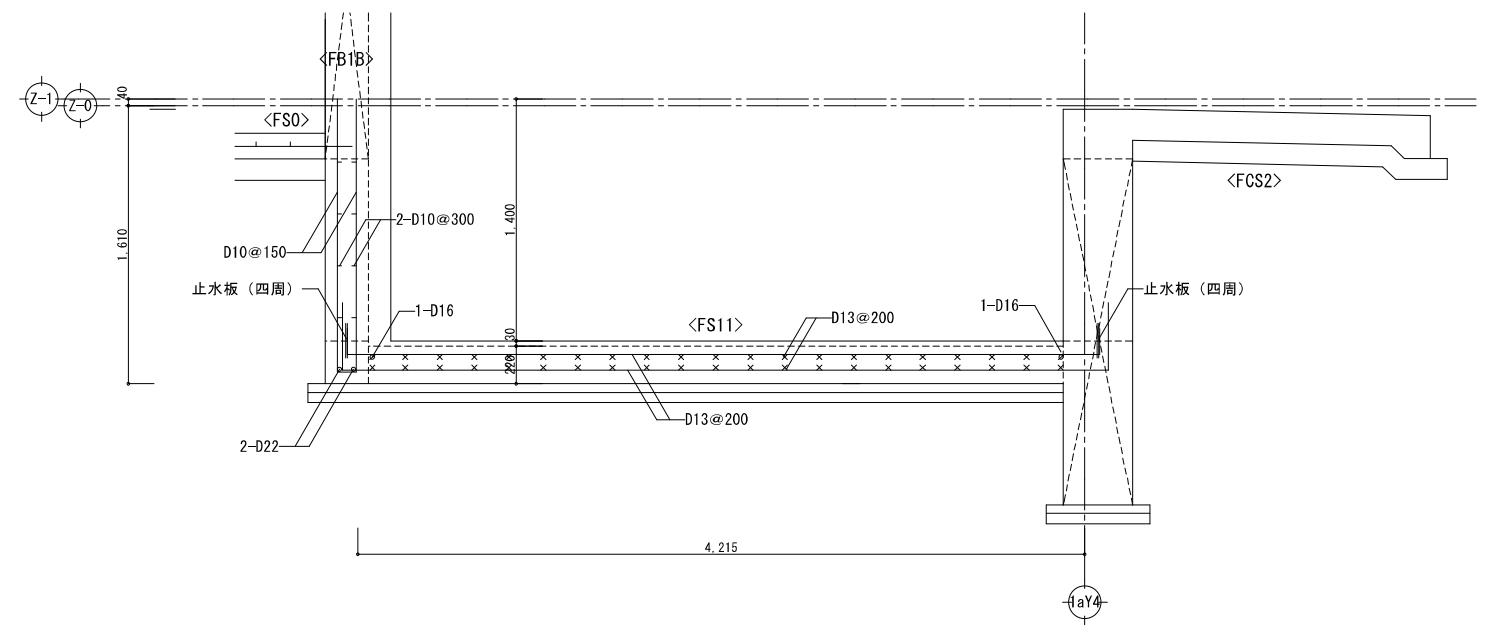
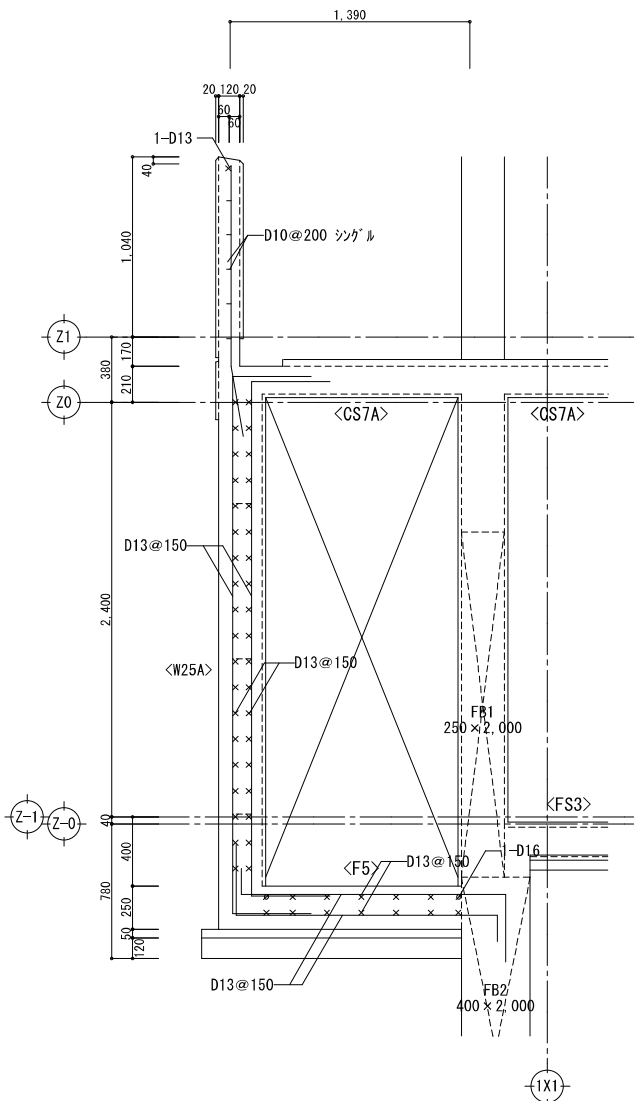
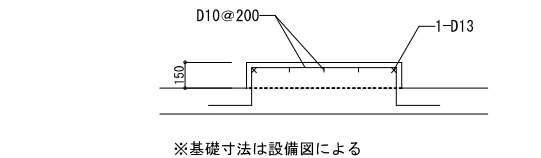
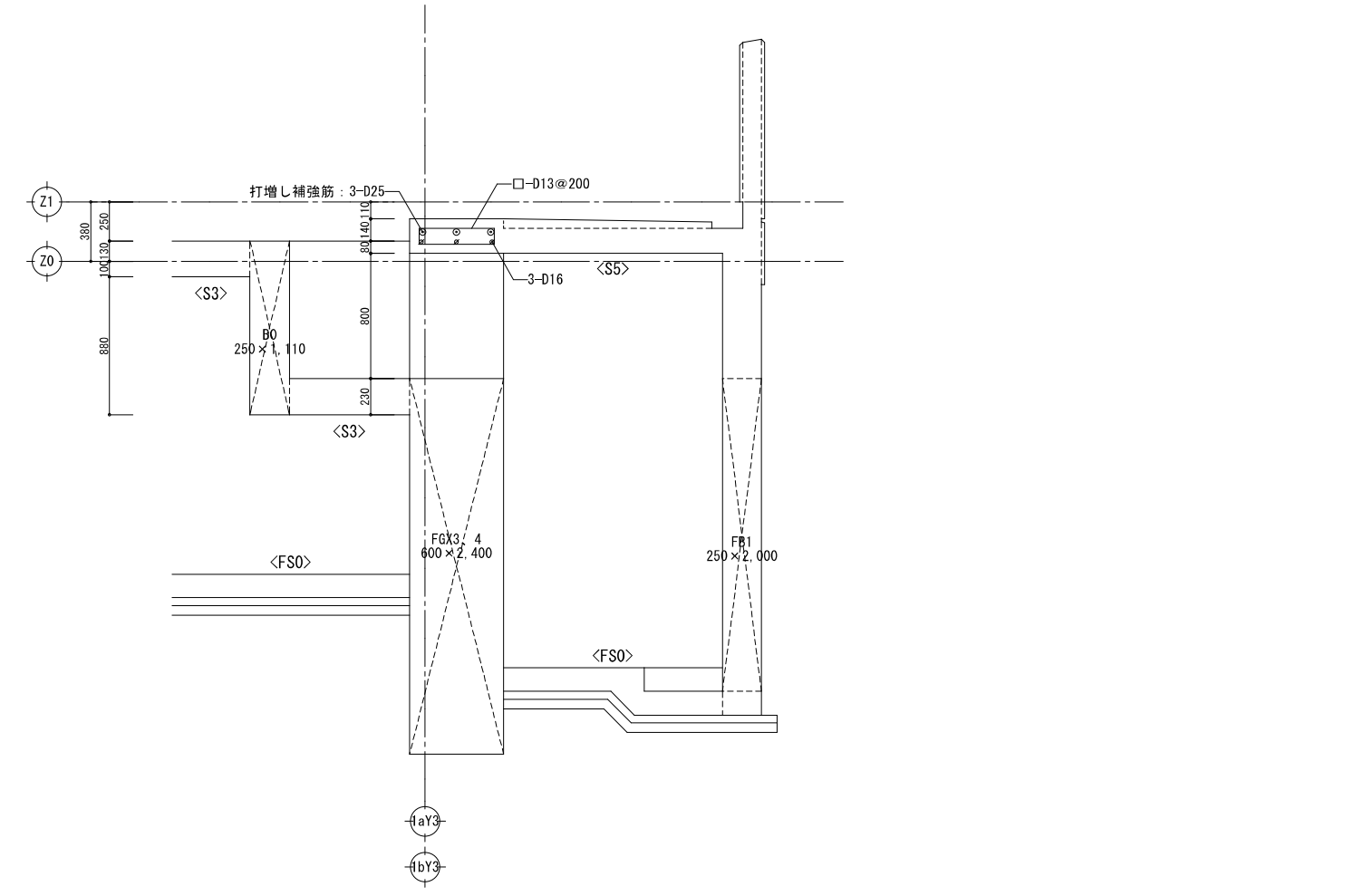
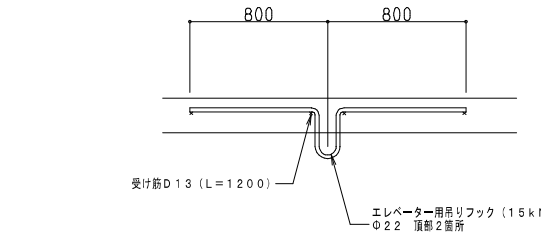


図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 有限会社 眞 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高 橋 雄 一 郎
S-44	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	雑配筋図1	1：200	R6.3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	

Architectural drawing showing the detailed reinforcement layout for the exterior stairs and foundation of a building. The drawing includes multiple cross-sections (Z0, Z1, Z7, Z8, Z9) and a plan view (F6). It details the placement of reinforcement bars (D10, D13, D16) and concrete (CS) for the stairs and foundation. Dimensions are provided for various components, including stair width (1.450m), stair depth (1.050m), and foundation width (2.090m, 4.980m). The drawing is signed by the structural engineer, 越野敬仁 (Koji Nozaki), and includes the company name, (有) 真建築設計事務所 (Ma Kenchiku Seiki Gosei Kaisha, Ltd.).

(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設 計 高 橋 雄 一 郎
S-45	島根県営住宅（松江市淞北台団地新1号棟）建設（建築）工事	雑配筋図2	1：200	R6. 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	

外廊下階段詳細図		EVビット <FS11>					屋外階段2 F5基礎詳細図				
											
電気借室 設備基礎詳細図 ※屋上設備基礎については、意匠部分詳細図を参照の事		床下ビットーP・S廻り詳細図									
											
エレベーター吊上げ用フック											
											
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	課長	課長補佐	担当者	島根県総務部営繕課		一級建築士事務所登録 1150号 有限会社 真建築設計事務所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600 (代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋雄一郎	
S-46	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	雑配筋図3	1：200	R6.3				設計者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	構造担当 (有) 真建築設計事務所 一級建築士登録 第321669号 構造設計一級建築士登録第9073号 越野敬仁	



Technical drawing of a bridge structure showing the relationship between the new pier (新設杭) and the existing pier (既存杭). The drawing includes dimensions for the pier height (10,000 mm), the existing pier height (8,000 mm), and the clearance (クリアランス) of 500 mm. The design ground level (設計G.L.) is indicated at the top. The drawing also shows the pier diameter (φ8D/2) and the pier spacing (900 mm).

特記なき限り下記とする

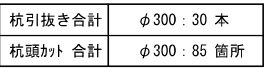
-  印、新設部所打ちコンクリート杭（直杭）を示す
-  印、床下ビット（FS0）を示す
- ・新設杭と干渉する既存杭は、縁切引抜き工法（ケーシング使用）により撤去する。
- 抜き跡の充填材は、質配合セメントミルクを注入する。
- 質配合セメントミルクの配合は、水・セメント比350%程度を計画するが、
- 現地の土質等を確認して配合計画を作成し監督員と協議の上配合を決定の事。
- ・新設躯体（基礎梁、床下ビット）に干渉する既存杭は、杭頭カットとする
- 杭頭カット高さは、新設躯体の下端から500mmの範囲内をカットする。
- ・新設杭並びに新設躯体に干渉しない既存杭については残置とする。
- ・旧6号棟 既存杭径及び杭長（推定）は以下による。杭頭レベルは残置杭表による
 - 既存RC杭：300φ、杭長＝9,000
 - ◇ 既存RC杭：250φ、杭長＝9,000
- ・● ● 既存杭の引抜き・撤去並びに杭頭カットを示す
- 既存杭の引抜き対象範囲（新設杭径の1.8D）を示す

既存杭の杭頭レベルは、再度確認する事。

杭No.	杭径 (φ)	杭レべℓ(設計G.Lより) (mm)	備考	杭No.	杭径 (φ)	杭レべℓ(設計G.Lより) (mm)	備考	杭No.	杭径 (φ)	杭レべℓ(設計G.Lより) (mm)	備考	杭No.	杭径 (φ)	杭レべℓ(設計G.Lより) (mm)	備考
1	300	-2,095		21	300	-1,515	杭頭カット	41	300	-1,590	杭頭カット	61	250	-2,200	杭頭カット
2	300	-2,100		22	300	-1,635	杭頭カット	42	300	-1,945	杭頭カット	62	300	-1,650	杭頭カット
3	300	-2,120		23	300	-1,795	杭頭カット	43	300	-2,030	杭頭カット	63	250	-1,590	杭頭カット
4	300	-1,980	杭頭カット	24	300	-1,650	杭頭カット	44	300	-1,875	杭頭カット	64	250	-1,280	杭頭カット
5	300	-1,695		25	300	-1,495	杭頭カット	45	300	-1,210	杭頭カット	65	250	-1,850	杭頭カット
6	300	-1,685		26	300	-1,335	杭頭カット	46	250	-1,795	杭頭カット	66	300	-1,420	杭引抜き
7	300	-2,360		27	300	-1,420	杭頭カット	47	300	-1,820	杭頭カット	67	250	-1,720	杭引抜き
8	300	-1,750		28	300	-1,680	杭頭カット	48	300	-2,220	杭頭カット	68	300	-2,465	杭頭カット
9	300	-1,575		29	300	-1,655	杭頭カット	49	300	-1,370	杭頭カット	69	300	-2,500	杭頭カット
10	300	-1,770		30	300	-1,640	杭頭カット	50	300	-2,220	杭頭カット	70	300	-3,015	杭頭カット
11	300	-1,490	杭引抜き	31	300	-1,365	杭頭カット	51	300	-1,105	杭引抜き				
12	300	-2,000	杭引抜き	32	300	-1,445	杭頭カット	52	250	-1,610	杭引抜き				
13	300	-1,730	杭頭カット	33	300	-1,610	杭頭カット	53	300	-1,915	杭引抜き				
14	300	-1,380	杭引抜き	34	300	-1,360	杭引抜き	54	250	-1,910	杭頭カット				
15	300	-1,520	杭頭カット	35	300	-1,785	杭引抜き	55	250	-2,000	杭頭カット				
16	300	-1,680	杭頭カット	36	300	-1,805	杭引抜き	56	250	-1,580	杭頭カット				
17	300	-1,730	杭引抜き	37	300	-1,275	杭引抜き	57	250	-2,050	杭頭カット				
18	300	-1,680	杭引抜き	38	300	-1,525	杭頭カット	58	300	-1,760	杭頭カット				
19	300	-1,665	杭頭カット	39	300	-1,315	杭頭カット	59	250	-2,050	杭頭カット	杭引抜き合計 φ300：12 本 φ250：2 本			
20	300	-1,270	杭頭カット	40	300	-1,885	杭頭カット	60	250	-2,100	杭頭カット	杭頭カット 合計 φ300：36 箇所 φ250：11 本			

構造担当
(有) 真建築設計事務所
一級建築士登録 第321669号
構造設計一級建築士登録第9073号
越野敬仁

図 面 番 号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 有 限 公 司 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雑賀町215 TEL 0852-26-7600(代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高 橋 雄 一 郎
S-47	島根県営住宅（松江市浜北台団地新1号棟）建設（建築）工事	既存杭撤去図 （旧6号棟）	1：200	R6.3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	



図面番号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計・年月	課 長	課 長 補 佐	担 当 者	島 根 県 総 務 部 営 繕 課		一級建築士事務所登録 1150号 有限 会社 真 建 築 設 計 事 務 所 島根県松江市雄賀町215 TEL 0852-26-7600(代) FAX 0852-26-7602 一級建築士登録第90401号 設計 高橋 雄一郎
S-48	島根県営住宅（松江市湊北台団地新1号棟）建設（建築）工事	既存杭撤去図 （旧7号棟）	1：200	R6. 3				設 計 者	一級建築士登録第315752号 松田 啓	